JAPAN GAMES

昭和100年

2026 AOMORI

青の煌(きら)めきあおもり国スポ



公式マスコット
「アップリート君」

第80回国民スポーツ大会

スポーツクライミング競技会

会　期　10.11㊐ - 13㊋

会　場　盛運輸アリーナ

主　催　公益財団法人日本スポーツ協会・文部科学省・青森県 公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会・青森市

2026 AOMORI

第80回国民スポーツ大会
The 80th JAPAN GAMES

国民スポーツ大会（国スポ）は、都道府県対抗で毎年開催される国内最大のスポーツの祭典です。本県での開催は、前回のあすなろ国体(※)以来49年ぶりであり、前回同様、冬季大会と本大会を同一県で開催する「完全国スポ」です。

※2024年から「国民体育大会」の名称が「国民スポーツ大会」に変わりました。

あすなろ国体とは？

昭和52年、青森県で国体史上初となる完全国体（冬・夏・秋と3季にわたり行われる大会を同一県で実施した国体）として、第32回国民体育大会（あすなろ国体）が県内各地で華々しく開催され、本県は天皇杯を獲得しました。



■ 大会愛称

青の煌(きら)めきあおもり国スポ

青い空、青い海や湖、青い山並みなど美しく豊かな自然に恵まれた青森県で、あおもり国スポに参加する全ての人々が、交流を深め、感動を創出し、いきいきと煌めくような大会を目指します。

■ スローガン

翔けろ未来へ縄文の風に乗って

縄文時代の遺跡が数多く存在する青森から、新たな歴史と感動を全国に向けて発信し、未来につなげていきたいという願いを込めています。

■ イメージソング「翔けろ未来へ」



作詞：井元 仁江
作曲：T.Mikami
編曲：多田 慎也、島田 尚
歌唱：りんご娘
（ピンクレディ、スターキングデリシャス、はつ恋ぐりん、金星）

■ ダンス「青の煌(きら)めきダンス」



イメージソング「翔けろ未来へ」にあわせ、振付けに青森県を表現するポーズやねぶたの跳人の動き、手話による表現などを盛り込んだ、青森らしいユニバーサルデザインダンスです。

■ 公式マスコット



「アップリート君」

特徴ある県の形と、ハチマキの中央にある「りんご」で青森県を表現しています。

LINEスタンプも販売！

最新情報は公式アプリ・HP・SNSで！

公式アプリ

2026 AOMORI

Download on the App Store　GET IT ON Google Play

あおもり国スポ　検索

今すぐ無料ダウンロード！

公式HP　X　Instagram　YouTube

目次

あいさつ

公益財団法人日本スポーツ協会会長　遠 藤 利 明 …… 1

文部科学大臣　松 本 洋 平 …… 2

公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会
会長　町 田 幸 男 …… 3

歓迎のことば

青の煌めきあおもり国スポ・障スポ実行委員会会長
青森県知事　宮 下 宗一郎 …… 4

青の煌めきあおもり国スポ・障スポ青森市実行委員会会長
青森市長　西 秀 記 …… 5

青森県山岳連盟　会長　服 部 一 雄 …… 6

国民スポーツ大会天皇杯・皇后杯授与規程 …… 7

国民スポーツ大会会長トロフィー授与規程 …… 8

大会役員 …… 9

競技会役員 …… 13

競技役員 …… 15

競技補助員・競技会係員・競技会補助員 …… 17

総　則 …… 18

実施要項 …… 37

競技日程 …… 41

大会会長トロフィー返還式・監督会議 …… 42

種目別表彰式・総合表彰式 …… 43

競技の見方

リード競技 …… 44

ボルダー競技 …… 45

種目別編成表 …… 46

都道府県別参加人員一覧表 …… 47

種目別組合せ表（競技順） …… 48

参加選手・監督一覧表 …… 52

総合成績決定方法と手順 …… 56

種目得点表 …… 57

総合成績一覧表 …… 59

過去の成績一覧表（天皇杯・皇后杯順位） …… 60

過去の成績一覧表（種別・種目別順位） …… 62

関係機関連絡先（青森市） …… 65

競技会場周辺地図 …… 66

スポーツクライミング競技会場図 …… 67



あ い さ つ

公益財団法人日本スポーツ協会
会 長　遠 藤 利 明

はじめに、本年 7 月 28 日に発生した令和 8 年熊本地震により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。また、同地震及び昨年 12 月 8 日に発生した青森県東方沖地震により被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げ、一日も早い復興と皆様のご健康を心からお祈りいたします。

第８０回国民スポーツ大会は、本年 1 月から 2 月に行われた冬季大会と併せ、「完全国スポ」として開催いたします。

第 71 回岩手大会以来、10 年ぶりとなる「完全国スポ」を締めくくる本大会が、縄文の時代から育まれてきた歴史と文化を有し、豊かな風土に恵まれた本州最北の地、ここ青森県において開催されますことは、誠に意義深いことであります。

本年は、第２５回オリンピック冬季競技大会（ミラノ・コルティナ）、サッカーFIFA ワールドカップ 2026、第２０回アジア競技大会（愛知・名古屋）などの大規模な国際総合競技大会が開催され、多くのアスリートの目覚ましい活躍が、私たちに大きな勇気を届けています。

本大会が「翔けろ未来へ縄文の風に乗って」というスローガンの通り、出場するアスリートの皆様にとって、世界へ羽ばたく契機となることを切に願っています。

さて、日本スポーツ協会では、「有識者会議」からの提言に基づき、令和 7 年 7 月、改革を具体的に進める組織として、「国スポ改革タスクフォース」を設置しました。

今後、現状と課題を分析し、国民スポーツ大会が競技性・祝祭性・社会性・文化性を掛け合わせた、「トップアスリートと地域スポーツの好循環　～人と地域の未来を創る～」という理念を具現化できる大会となるよう、検討を進めているところです。

結びに、地震からの復旧に取り組みながら、本大会の開催にあたり諸準備にご尽力いただきました　青森県をはじめ、関係の皆様方のご支援、ご協力に対し心から深く感謝申し上げます。



あ い さ つ

文部科学大臣
松　本　　洋　平

はじめに、令和８年熊本地震によりお亡くなりになられた方々に哀悼の意を表するとともに、被災された全ての方々に心からお見舞い申し上げます。

文部科学省としては、被災された熊本県をはじめとする自治体への支援に全力を挙げて取り組んでまいります。

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、ここ青森県において昭和１００年記念 第８０回国民スポーツ大会「青の煌めきあおもり国スポ」が盛大に開催されますことを、誠に喜ばしく存じます。

青森県は、世界自然遺産の「白神山地」、四季折々の表情を見せる「八甲田山」や「岩木山」など豊かな自然の魅力にあふれ、世界文化遺産である「北海道・北東北の縄文遺跡群」や重要無形民俗文化財である「青森のねぶた」など、自然と文化が息づく県です。

昭和５２年のあすなろ国体以来４９年ぶりの青森県での開催となり、「翔けろ未来へ縄文の風に乗って」をスローガンに、県全域を舞台に熱戦が繰り広げられます。

本大会は、史上初となる総合開会式・閉会式の屋内開催に加え、大会公式アプリによる競技情報や結果速報の提供、デジタルチケットの活用などデジタル技術の活用により、選手と観客双方に配慮した大会運営となっています。「青の煌めきあおもり国スポ」が、国民に夢と感動を与え、青森県の魅力発信と活性化につながる大会となりますことを心から願っております。

郷土の代表として参加される選手の皆さんが、積み重ねてこられた練習の成果を思う存分発揮され、我が国の国際競技力の向上が図られるとともに、この機会に全国の仲間や青森県民の皆さんとの交流を通じて、思い出に残る大会となりますことを期待しております。

昨年度は、東京２０２５世界陸上競技選手権大会、第２５回夏季デフリンピック競技大会東京２０２５、ミラノ・コルティナ２０２６冬季オリンピック・パラリンピック競技大会が、今年度は、愛知・名古屋において、第２０回アジア競技大会、第５回アジアパラ競技大会が開催され、国民のスポーツへの関心はますます高まっているところです。

文部科学省としましても、アスリートや子供たちの活動の機会を確保し、スポーツの持つ力やすばらしさが社会の活力につながるよう、関係の皆様と一丸となって取組を進めてまいります。

結びに、「青の煌めきあおもり国スポ」の開催に当たり御尽力いただいた地元青森県、会場となる各市町村をはじめとする関係の皆様の御支援、御協力に対し、心から敬意と感謝の意を表しまして、御挨拶といたします。

（令和８年７月３１日現在）



あ い さ つ

公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会
会長　　町田 幸男

第８０回国民スポーツ大会「青の煌めきあおもり国スポ」スポーツクライミング競技会が、ここ青森県青森市の盛運輸アリーナ（青森県営スケート場）において開催されますことに、深く感謝申し上げます。

４９年前に国民体育大会「あすなろ国体」登山競技会がここ青森県で開催されました。当時は公開種目として八甲田山を舞台に縦走を主とした大会が開催され、私も選手として大会に参加したのを昨日のように思い出します。時代とともに「国民スポーツ大会」と名称を新たにし、スポーツクライミング競技会としてこの地に帰ってまいりました。

国民スポーツ大会は全国のアスリートが一堂に会し、その技を競い合う我が国最大級のスポーツの祭典です。第８０回という節目の大会が、豊かな自然と文化に恵まれた青森の地で開催されますことは、誠に意義深く主催者として大きな喜びを感じております。

国スポ・スポーツクライミング競技は、２００８年（平成 20 年）にボルダー、リード２種目を種別ごと選手２人の団体戦として始まり、現在に至っています。この間、スポーツクライミング競技は、2020 年東京オリンピックで採用されたことで認知度が飛躍的に高まりを見せ、その後の 2024 年パリオリンピックでさらなる進化を遂げました。今は 2028 年ロサンゼルスオリンピック、2032 年ブリスベンオリンピックへと続く重要な時期を迎えています。こうした中、国スポ・スポーツクライミング競技は、選手にとって最高の競技経験の場となっています。

今大会においてもボルダー、リードの２種目において熱戦が繰り広げられます。課題を攻略する思考力と瞬発力が問われるボルダー、高さへの挑戦と持久力が試されるリード、それぞれの種目で全国の精鋭たちが頂点を目指して競い合います。また、年齢を超えた成年・少年の選手が同じ舞台で競うことは、次世代の選手にとって大きな刺激となりクライミング界全体の底上げにもつながるものと確信しています。

全国各地から集まった選手の皆さんが日頃の鍛錬の成果を存分に発揮し、互いに競い高め合う熱い戦いを繰り広げてくれることを期待しております。ご観覧の皆様には選手への温かいご声援をお願い申し上げます。

結びに、数年前から準備に携わっていただきました実行委員会の皆様、青森県、青森市、そして青森県山岳連盟をはじめとする大会運営にご尽力いただきますスタッフの皆様に厚く御礼申し上げます。

皆様の心に残る素晴らしい大会となることをご祈念申し上げまして挨拶とさせていただきます。

歓迎のことば



青森県知事　宮下宗一郎（みやした そういちろう）

はじめに、令和８年熊本地震によってお亡くなりになられた方々に、深く追悼の意を表しますとともに、御遺族と被害に遭われた方々に心からお見舞い申し上げます。

昭和１００年記念青の煌（きら）めきあおもり国スポ「第８０回国民スポーツ大会」が昭和元年（１９２６年）から起算して満１００年の節目となる年に、天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、青森県において開催されますことをお喜び申し上げます。そして、全国各地からお越しくださいました選手及び関係者の皆様を、県民を代表して心から歓迎いたします。

「青の煌（きら）めきあおもり国スポ」は、史上初の完全国体である「あすなろ国体」以来４９年ぶりとなる青森県での開催であり、国民体育大会から国民スポーツ大会に大会名称が変更されてから、初の“完全国スポ”となります。

「翔けろ未来へ縄文の風に乗って」のスローガンのもと、美しく豊かな自然の恵みを受けながら、一万年以上にわたり縄文文化が営まれていたこの青森の地で生まれる新たな歴史と感動、そしてこれを希望ある未来へつなげていきます。

“スポーツで青森県が一つ”に、“私たち県民の心がスポーツで一つ”になる、「青森新時代」の大会を目指し、県民総参加で青森県を青の煌（きら）めき一色に染め上げ、スポーツの祭典を盛り上げたいと考えています。

選手の皆様には、日々の練習で培ったパフォーマンスを存分に発揮されますとともに、感動と温かい交流にあふれ、皆様の心に残る最高の大会となることを願っています。

結びに、今大会の開催に御尽力されました関係者の皆様に心から感謝を申し上げるとともに、今大会の成功と選手の皆様の御健闘をお祈りし、歓迎のことばといたします。



歓迎のことば

青の煌めきあおもり国スポ・障スポ青森市実行委員会会長
青森市長　　西　秀 記

第８０回国民スポーツ大会「青の煌めきあおもり国スポ」の歓迎のあいさつに先立ち、このたびの令和８年熊本地震及び令和８年８月千葉豪雨により亡くなられた方に深く哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に対し、心よりお見舞いを申し上げます。本大会において選手の皆様がひたむきに競技に臨む姿が、多くの方々に感動と希望を届け、被災地の一日も早い復旧・復興への力となりますことを切に願っております。

第８０回国民スポーツ大会「青の煌めきあおもり国スポ」は、昭和５２年の「あすなろ国体」以来、青森県で４９年ぶり２度目の開催となります。国体から国スポへの名称変更後、初の完全国スポとなる大会であり、青森市にてスポーツクライミング競技をはじめとする１４競技１９種目の正式競技を開催できますことを大変嬉しく思います。また、全国各地からお越しいただく選手や監督、関係者の皆様を、青森市民を代表して心より歓迎いたします。

本市では、スポーツを通じた交流人口の拡大により地域活性化を図る取組を進めており、青森駅周辺の歓迎装飾や各競技会場の応援のぼり旗など、全国から来訪される方々を青森らしい心のこもったおもてなしでお迎えできるよう、市民一丸となって準備してまいりました。

出場される選手の皆様におかれましては、これまで積み重ねてきた努力の成果を存分に発揮し、最高のパフォーマンスを披露されますことを期待しております。

また、大会期間中には、子どもたちがスポーツの楽しさや素晴らしさを体感できる機会づくりを進めることとしており、本大会が多くの方にとって心に残る実り多き大会となることを願っております。

さて、青森市には、静穏な陸奥湾、雄大な八甲田連峰などの豊かな自然のほか、日本を代表する火祭り「青森ねぶた祭」の歴史や魅力を体感できる「ねぶたの家ワ・ラッセ」や、世界遺産にも登録された「三内丸山遺跡」、「小牧野遺跡」など、文化や歴史を感じられる施設が数多くあります。また、全国的にも有名なりんごや新鮮な海の幸など、豊富な食材にも恵まれております。ぜひこの機会に本市の多彩な魅力を堪能していただければ幸いです。

結びに、本大会の開催に当たり御尽力いただいた関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、選手の皆様の御活躍を心より祈念いたしまして、歓迎のことばといたします。

歓迎のことば



青森県山岳連盟
会長　服部　一雄

第８０回国民スポーツ大会「青の煌めきあおもり国スポ　スポーツクライミング競技会」に参加の選手・監督そして役員の皆様、ようこそ青森へお越しくださいました。心より歓迎申し上げます。今回の会場は昨年の滋賀大会と同様にリード、ボルダーともに天候に左右されない屋内で行われます。ベストパフォーマンスを目指してください。

競技会は、出場される選手・監督の皆さんが主役です。私共、役員一同は皆さんがベストを尽くせるよう準備してまいりました。皆さんの競技に対する熱い思いや努力する姿を目の当たりにして、私たちも元気をもらい今後に活かせることも多いと信じております。そうした多くの熱き思いが、この会場いっぱいになることと思っております。

青森市は青森県のほぼ中央部にあり、北にむつ湾、南には八甲田山があり自然の豊かな地です。8 月に開催されるねぶた祭りは、全国的にも有名で大勢の観光客が訪れます。

この大会が開催される 10 月は、八甲田山の紅葉の時期になっております。大会終了後は、是非、八甲田山の紅葉を楽しんでいただきたいと思っております。

主管団体である青森県山岳連盟は 1954 年(昭和 29 年)3 月に発足をしております。1977 年(昭和 52 年)にあすなろ国体開催を主管して以来、49 年振りの大会です。その当時は加盟団体が 20 団体以上ありましたが、現在は６団体まで減少しおります。そのような状況のなか、国民スポーツ大会を主管するというで、加盟団体の会員のほかに県内の関連団体、東北各県の皆さんから多大なご協力を得ております。ともに手を携え、選手の皆さんが存分に持てる力を発揮いただけるよう、運営してまいりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

最後になりますが、今大会の開催にあたり、ご指導を賜りました公益社団法人日本山岳･スポーツクライミング協会をはじめ、青森県並びに青森市実行委員会の皆さんに感謝申し上げます。

この国スポには、成功に向けて準備してきた関係者の熱い思いがたくさん詰まっています。選手の皆さんにはその思いを十分に感じていただき、持てる力を存分に発揮して悔いのないパフォーマンスをしてください。青森県山岳連盟の会長として心よりご祈念申し上げ、歓迎のことばといたします。



天皇杯　　皇后杯

国民スポーツ大会天皇杯・皇后杯授与規程

第１条　国民スポーツ大会開催基準要項第 11 項に基づき、天皇杯は、男女総合成績第１位の都道府県、皇后杯は、女子総合成績第１位の都道府県に授与する。

２　第１位が２都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

第２条　天皇杯及び皇后杯は、総合閉会式に授与し、次回の総合開会式において返還する。

第３条　天皇杯又は皇后杯を授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

(1)　信託会社又は確実な金庫に保管する。

(2)　破損、紛失等の場合は、当該都道府県の責任とする。

(3)　公益財団法人日本スポーツ協会が優勝都道府県名刻印のため又はその他の必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

第４条　本規程の改廃は、国民スポーツ大会委員会の決議を経て行う。

附　則　本規程は、昭和 41 年４月　１日制定
昭和 45 年１月 22 日一部改定
昭和 48 年７月 10 日一部改定
昭和 54 年５月　９日一部改定
平成 17 年６月 16 日一部改定
平成 22 年３月 17 日一部改定

本規程は、公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日（平成 23 年４月１日）から施行する。
平成 30 年４月　１日一部改定
令和　６年１月　１日一部改定



大会会長トロフィー

国民スポーツ大会会長トロフィー授与規程

第１条　国民スポーツ大会開催基準要項第 11 項に基づき、国民スポーツ大会会長トロフィー(以下「大会会長トロフィー」という。)は、正式競技別男女総合成績第１位の都道府県に授与する。

２　第１位が２都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

第２条　大会会長トロフィーは、競技会表彰式に授与し、次回競技会において返還する。

第３条　大会会長トロフィーを授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

(1)　責任をもって保管する。

(2)　破損、紛失等の場合は当該都道府県の責任とする。

(3)　優勝の刻印を次回大会までに行なうものとする。ただし､第１条第２項の場合は､当該都道府県で協議して決めるものとする。

(4)　公益財団法人日本スポーツ協会が必要により一時返還を求めた場合は､これに応じなければならない。

第４条　本規程の改廃は、国民スポーツ大会委員会の決議を経て行う。

附　則　本規程は、昭和 41 年４月　１日制定
昭和 45 年１月 22 日一部改定
昭和 48 年７月 10 日一部改定
昭和 54 年５月　９日一部改定
平成 17 年６月 16 日一部改定

本規程は、公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日（平成 23 年４月１日）から施行する。
平成 30 年４月　１日一部改定
令和　６年１月　１日一部改定

大 会 役 員

2026年7月31日現在
（順不同・敬称略）

名誉会長	松本　洋平			
会長	遠藤　利明			
副会長	益子　直美	田中　不二夫	三宮　恵利子	森岡　裕策
	河合　純一	宮下　宗一郎		
顧問	森　喜朗	安西　孝之	岡崎　助一	越川　均
	坂元　要	勝田　隆	飯塚　悟	池田　めぐみ
	石井　砂織	植田　実	浦　美奈子	笠師　久美子
	鹿島　丈博	木平　芳定	工藤　保子	久保　正美
	小寺　洋	櫻井　由香	中嶋　実	橋本　聖子
	村松　さやか	室伏　由佳	湯川　和之	吉岡　成子
	久保　直生	藤田　裕司	藤原　誠	室城　信之
	金子　日出澄	貝瀬　智洋	森　晃	土橋　登志久
	石丸　元国	多氣　洋平	井﨑　洋志	鬼頭　有紀子
	長谷川　洋子	吉田　長寿	齋木　尚子	多賀　恒雄
	安藤　淳	上治　丈太郎	湧永　寛仁	三宅　秀一郎
	佐藤　健司	馬場　美香	堺　充廣	南　和文
	宮永　美寿津	千田　健一	中里　壮也	岡本　友章
	大野　淳	永谷　喜一郎	田村　恒彦	蒔田　実
	山﨑　勝洋	浅見　敬子	山口　徹正	田中　伸周
	村田　利衛	建部　彰弘	市野　保己	丸石　博
	中村　ゆり子	齋藤　良太郎	谷田部　和彦	木村　博美
	井上　弘	今川　啓一	近藤　重和	池谷　正成
	大澤　明美	古城　資久	小野　賢二	園山　和夫
	中山　俊行	田中　徹	知念　かおる	出口　弘之
	田邊　哲人	城門　政文	前川　恵	園田　義宜
	布村　幸彦	川原　元則	生島　典明	大沢　陽子
	谷藤　節雄	中村　伸彦	千葉　玲佳	奥山　雅信
	酒井　祐一	藤田　知巳	北條　俊明	田子　昌之
	新井　彰	山﨑　成夫	塩見　清仁	田名部　高雄
	井出　仁	今西　博一	中村　宏平	新保　暢
	森山　喜博	横山　幹夫	花崎　武彦	髙橋　繁浩
	山本　健次	増田　和伯	藤堂　寛	山本　誠三
	松本　恭幸	東　直也	奥田　晃	横尾　英治
	小西　慎太郎	近藤　一幸	堂本　ひさ美	河村　祐一

渡邊浩三　田中稔　高岡晃仁　青木章泰
城戸英敏　小柳勝彦　辛木秀子　宮成康蔵
若林繁幸　岩元幸成　平良朝治　藤原正樹
新宮領毅　川上隆弘　佐藤廣子　奈良隆
小菅司　宇津木妙子　菊幸一　小林久美
寺澤正孝　山口純子　中村裕之　小林茂樹
清水真人　福田かおる　増子宏　矢野和彦
柿田恭良　茂里毅　浅野敦行　津島淳
神田潤一　木村次郎　江渡聡徳　田名部匡代
福士珠美　山中泉　工藤慎康　風張知子
横町俊明　西秀記　濱舘豊光　尾﨑寿一
鈴木進　三本木温　有森裕子　鈴木大地
宮本恒靖　深澤祐二　坂田東一　三須和泰
川合俊一　藤田直志　島田慎二　富山英明
馬場益弘　三宅義行　金丸恭文　安道光二
河田正也　豊田章男　後藤正幸　中村真一
河合満　村井満　真砂威　土田雅人
町田幸男　大野正次　世耕弘成　笹川善弘
納冨中　土居淳　久保素子　丹羽秀樹
津賀一宏　岩城光英　北村聡　荒川裕生
達増拓也　鶴田有司　吉村美栄子　北村清士
大井川和彦　福田富一　遠藤祐司　大野元裕
熊谷俊人　小谷実可子　岡田伸浩　花角英世
新田八朗　山野之義　石田嵩人　髙野剛
阿部守一　田口義隆　中谷多加二　大村秀章
伊藤蔵恭　高橋祥二郎　西脇隆俊　髙橋知史
斎藤元彦　福谷健夫　宮﨑泉　林昭男
丸山達也　越宗孝昌　迫谷章　村岡嗣政
後藤田正純　綾田裕次郎　大塚岩男　今城純子
服部誠太郎　宮原耕史　平田研　木村敬
麻生益直　日隈俊郎　塩田康一　玉城デニー

参　与	籾井圭子	大杉住子	中村宇一	廣田美香
	阿部祐己	安藤晴美	伊吹信一	井本貴之
	蛯沢正勝	大崎光明	大澤祥宏	大澤敏彦
	大平陽子	小笠原大佑	川村悟	菊池勲
	北向由樹	木明和人	櫛引ユキ子	工藤兼光
	工藤悠平	後藤清安	小比類巻正規	今博
	斉藤孝昭	齊藤爾	鹿内博	清水悦郎
	高橋修一	高畑紀子	田中順造	田名部定男
	田端深雪	鶴賀谷貴	寺田達也	夏坂修
	夏堀嘉一郎	夏堀浩一	成田陽光	花田栄介
	福士直治	丸井裕	三橋一三	森内之保留
	山田知	山谷清文	吉田ゆかり	吉俣洋
	和田寛司	奥田忠雄	大田圭	平間恵美
	安田博	松本史晴	中野博之	久慈美穂
	三浦猛史	千葉雄文	後村文子	細谷健司
	舩木久義	豊島信幸	秋野桂	上沢謙一
	工藤泰正	栗林豊	新屋孝文	簗田潮
	佐藤剛	安田貴司	小谷知也	東山国男
	大山力	山本恒太	津田英一	米内正明
	小山内修	堤静子	橋場保人	目澤伸一
	山口龍城	高杉勝彦	工藤裕司	中居敬子
	川浪泰浩	宮野孝晶	田村琢哉	中川伸吾
	里村智彦	佐藤忠全	倉橋純造	一戸善正
	櫛引利貞	七尾嘉信	佐藤健一	岡島裕史
	工藤智久	三上千春	高木伸也	高杉金之助
	小関幸一	外崎れい子		
委員長	山本浩			
副委員長	岩田史昭	石田裕美	出﨑和夫	
総務委員	松永敬子	三宅宏美	稲垣公雄	笠野英弘
	関口直樹	菅原哲朗	田﨑博道	松田基子
	三ヶ田礼一	山澤文裕	福田一稔	宇野武
	二宮智浩	小竹喜也	田内慎也	秋田勝行
	中尾慶一郎	下條伸彦	江橋千晴	宮本忠
	小澤大樹	小笠原忠儀	髙井和紀	

委　　員	平　野　　了	髙　橋　聖　一	永　井　雅　史	神　山　康　洋
	福　士　幸　洋	栗　原　　崇	竹ノ脇　智　秋	鈴　木　克　宜
	葛　西　玲　広	濱　野　　勉	寺　澤　　淳	黒　川　重　男
	舟　喜　信　生	福　島　亮　一	中　梶　秀　則	堀　越　　浩
	加　藤　憲　二	宮　川　良　輔	鈴　木　章　広	川　口　　巖
	山　口　俊　昭	岡　泉　　茂	朝　倉　康　善	木　塚　鉄　也
	平　井　宏　治	濱　﨑　　滿	岸　川　剛　之	西原　斗司男
	山　口　鉄　正	菅　原　正　幸	伊　東　毅　嗣	長　南　哲　生
	衛　藤　敬　輔	上　久　保　僚	中段　亜由美	鈴　木　信　吾
	内　田　淳　二	関　根　明　子	中　山　二三男	﨑　村　尚　人
	吉　田　由美子	杉　本　好　二	國　重　さゆり	髙　梨　治　紀
	川　口　雅　三	田　邊　賢　一	山　口　　剛	富　澤　佑　也
	政　岡　航　大	坊　　百　花	井　澤　貫　太	田　口　雅　紀
	寺　垣　佑　介	柿　﨑　繁　信	橋　口　真　夕	田　中　遥　太
	町　屋　毅　博	山　本　高　史	松　橋　伸　哉	長谷川　光昭
	白　幡　博　久	田　畑　幸　浩	加　藤　雄　樹	小　林　健　也
	幸　田　和　洋	大　貫　大　輔	小　池　則　之	今　井　隆　元
	三　浦　　理	舟　木　雅　美	阿　部　哲　也	片　岡　英　史
	福　居　久　志	三　武　紀　子	長　坂　嘉　久	井　澤　克　行
	林　　剛　史	稲　葉　晴　伸	森　島　哲　也	和　田　吉　史
	中　野　真　吾	佐々木　智　也	木　原　哲　也	越　智　敏　文
	小　林　　悟	中　嶋　純　也	前　田　康　博	松　本　守　正
	松　本　綾　子	中　田　健　治	石　津　雅　之	加　藤　　泰
	高　田　孝　行	日　野　　剛	前　田　義　朗	笠　井　康　行
	尾　鷲　一　成	川　端　利　行	濱　本　昌　宏	吉野　賢一郎
	都　甲　尚　生	山　元　尚　史	黒　田　裕　史	髙　野　瑞　洋
	遠　藤　信　哉	角　屋　憲　正	千　葉　雅　也	菅　間　裕　晃
	岡　崎　正　彦	角　田　真　司	加藤木　紳　克	柄　澤　宏　之
	杉　田　　聡	塩　田　憲　司	藤　丸　伸　和	河　野　公　紀
	碓　井　　稔	武　田　知　己	井　上　　哲	今　後　元　彦
	沼　田　守　弘	田部　長右衛門	松　井　　守	吉　岡　直　彦
	髙　岡　晃　仁	葛　目　憲　昭	寺　崎　雅　巳	田　島　祥　嗣
	荒　木　健　治	平　江　公　一	黒木　淳一郎	城　間　敏　生
	丹　羽　浩　彰			

競 技 会 役 員

（順不同・敬称略）

大会名誉会長	西　秀記			
大会会長	町田幸男			
大会副会長	廣川健太郎	畑中　渉	服部一雄	柿崎泰明
	工藤　拓実			
顧　問	田中文男	望月啓治	赤尾浩一	小田部拓
	石井昭彦	吉田春彦	舘内　潤	三浦一衛
	菅野享一	平子吉政	西内　博	佐久間利美
	吉田直人	加藤富之	岩崎喜司	眞島類治
	水島彰治	望月啓治	渡辺　茂	杉田浩康
	小竹靖高	宮本周司	渋谷好司	木ノ内高嘉
	伊藤智彦	加藤正之	小木曽昭文	片岡幸一
	安田範明	小畑和人	古賀英年	藤本直民
	寺谷　敦	小坂秀己	世良清美	山本　譲
	山田雅昭	古林喜明	木村康男	原　秀樹
	峯本典寛	西岡義之	寺崎良夫	宮原敏明
	前川文雄	西本安幸	原　勇人	新原祐治
	川添秀男	細川　浩	伊藤　学	奈良岡　隆
	工藤　裕司			
参　与	木村義男	川端　満	幸山敏克	佐々木邦年
	境　久孝	土屋正昭	赤平　勇人	小豆畑　緑
	天内慎也	蛯名和子	大矢　保	小熊ひと美
	小倉尚裕	柿崎孝治	軽米智雅子	木戸喜美男
	木下　靖	木村淳司	工藤　健	工藤夕介
	里村誠悦	澁谷洋子	関　貴光	相馬純子
	竹山美虎	舘山善也	中田靖人	中村美津緒
	奈良祥孝	長谷川章悦	花田明仁	藤田　誠
	万徳なお子	村川みどり	山田千里	山本武朝
	渡部伸広	天内博康	川村　仁	齋藤美鈴
	土岐志麻	松浦　淳	赤坂　寛	横山英大
	横内　修	舘山　新	小野正貴	金谷浩光
	千葉康伸	齋藤賢剛	中村　敦	白戸高史
	大久保綾子	佐藤秀彦	横内信満	工藤拓実
	大久保文人	木村颯希	土岐政温	奈良英文

	今　国弘	佐々木 正幸	泉　宏明	角田　毅
	太田 直樹	遠嶋 祥剛	船橋 正明	舘山　公
	髙野 雅子	齊藤 寿一	佐々木 和人	里村 誠悦
	倉橋 純造	一戸 善正	山本 知也	前田　済
	津島　淳	大瀬 良一	諏訪 正徳	今井 正樹
	河野　満	井戸端 隆雄	中村 雅彦	大矢　保
	服部 一雄	澁谷 洋子	正部家 淳司	高橋 修一
	菅原 文子	中嶋 與志久	長尾　信	川浪 泰浩
	相馬 克典	黒丸 健吾	中川 伸吾	今　卓也
	花田　惇	髙橋 秀親	佐藤 健一	盛　健一
	中村 紀徳	白鳥 晶司	小形 峰雄	工藤 智久
	大西 透信	北畠 滋郎	福田 真奈美	成田 幾末
	佐々木 重光	森　隆	工藤 拓実	
大会委員長	原　勇人			
大会副委員長	石岡 卓彦	田澤 康治	中田 真紀子	
大会委員	西原 斗司男	成田 純也	樋口 寿昭	野呂 静穂
	村上 弘光	玉利 成昌	高橋 修一	打谷 桂子

競 技 役 員

（順不同･敬称略）

競技会会長	町 田 幸 男			
競技会副会長	畑 中　涉	服 部　一 雄		
競技委員長	原　勇 人			
競技副委員長	土 屋 正 昭	幸 山　敏 克		
総務委員	山 本 和 幸	赤 松 久 宇	羽鎌田直人	木 村　義 男
	浦 山　沢 樹	遠 藤　敏 英		
審判長	杉 山　将 崇			
副審判長	片 山　健 太	尾 形　保 充		
審判員	大 湯　篤 志	佐々木 敏 子	山 名　陽 子	大 川　慎 哉
	廣 田　元 和	西 村　玲	茜 谷　和 宏	佐 藤　誠
	松 谷　征 二	寺 内 宏 普	山 本　悠 太	川 村　景 子
	河 竹　康 之	川 合　健 史	長 井　洋 子	石 井　昭 彦
ビレイヤー	大 友　理 沙	小 松　史 乃	伊 藤　圭	菊 池　進 悟
	小 松　貴 志	梁 田　睦	櫻田 絵里子	佐 藤 幸 枝
	堀内 かおる	宇 沼　純 輝	工 藤　晋 矢	菅 野　富 寿
	三 角　浩 司	熊 谷　千 秋	細 川　純 子	相 内　一 彦
	濵 谷　優 子	玉 利　成 昌		
＜リード種目＞				
L 主任審判員	戸 田　大 輔	河 野　陽 子		
L チーフルートセッター	岡 野　寛			
L ルートセッター	徳 永　潤 一	伊 藤 剛 史	中 島 雅 志	北 江 優 弥
	松 島 暁 人			
＜ボルダリング種目＞				
B 主任審判員	佐 藤　豊	篠 原　大 太		
B チーフルートセッター	藤 原　佑 樹			
B ルートセッター	徳 永　一 也	古 畑 和 音	吉 井 玲 雄	
＜医務員＞				
医師	小 木　浩 孝	中 島　隆 之		

＜総務部＞

総務部長	石岡　卓彦			
総務副部長	渡辺　嘉次	津島　　節		
経理	泉山　睦典	福地　貞一		
通信･連絡員	笹森　節子	中村　重明		
記録報道	一戸　良二	鈴木　幹二		
受付接待	萩野　幸江			
会議式典	村上　弘光	西村　高士		

＜競技部＞

競技部長	川端　　満			
競技副部長	野呂　静穂	大竹　千尋		
L アイソレーション				
L 監視誘導	佐々木 邦年	竹山　祥子		
L 選手受付	吉田　直正			
L コールゾーン監視･誘導	新松　みどり	今　　昭子		
L 公式記録 VTR	小清水 吉弘	菊池　真紀	菊池　郁夫	
L チーム名表示	鶴ヶ﨑 春彦			
L 物品運搬	樋口　寿昭			
L 計時	阿保 彰司	須々田 秀美	山田　秀樹	中山　慶治
L 成績集計･入力	北野　拓磨			
L アナウンス	横田　　智昭			

B アイソレーション				
B 監視誘導	吉田　　稔	相川かすみ		
B 選手受付	前田　千織	大澤　さき子		
B クリーニング	鈴木　泰成	盛　　輝子		
B 計時	中村　雅昭			
B コールゾーン監視･誘導	成田　茂則	阿部　浩一		
B 公式記録 VTR	上明戸 親志	扇田　　守		
B チーム名表示	小倉　キシ	神　　紀子		
B 物品運搬	竹林　幸二			
B 成績集計･入力	森川　楓希			

＜輸送宿泊部＞

輸送宿泊部長	中村　　勉			
輸送･宿泊副部長	白戸　秀俊			
輸送･宿泊部員	中村　敦子	村田　信子	吉田　洋子	米田　ゆき子
	東　　一洋			

競 技 補 助 員

青森県立青森工業高校、青森明の星高等学校

競 技 会 係 員

青の煌めきあおもり国スポ・障スポ青森市実施本部職員

競 技 会 補 助 員(ボランティア)

運営ボランティアの皆様

第８０回国民スポーツ大会　本大会実施要項総則

開 催 の 趣 旨

国民スポーツ大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの推進と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとする国内最大のスポーツの祭典である。

青森県で開催する第80回国民スポーツ大会「青の煌(きら)めきあおもり国スポ」は、「翔けろ未来へ縄文の風に乗って」をスローガンに掲げ、スポーツによる感動や交流の輪が広がるとともに、本県のあらゆる魅力を発信するなど、県民総参加による青森県らしさあふれる大会を目指して開催する。

実　施　方　針

１　実施競技

⑴　正式競技（37 競技）

陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ローイング、ホッケー、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、クレー射撃、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン

⑵　公開競技（７競技）

綱引、ゲートボール、武術太極拳、パワーリフティング、グラウンド・ゴルフ、バウンドテニス、エアロビック

⑶　デモンストレーションスポーツ（39 競技）

いきいき太極拳、インディアカ、ウオーキング、ウォークビンゴ、エンジョイ！グラウンド・ゴルフ、オリエンテーリング、カーリング、空道、女子ソフトボール、スポーツウエルネス吹矢、スポーツチャンバラ、ソフトバレーボール、ターゲット・バードゴルフ、ダンススポーツ、ドッジボール、年齢別ソフトテニス、年齢別テニス、年齢別バドミントン、ノルディックウォーキング、パークゴルフ、パラグライディング、ビリヤード、ビーチサッカー、ファイン・ボール、フライングディスク、ふれあいゲートボール、ふれあいソフトボール、ふれあいボウリング、フロアボール、ペタンク、マスターズスイミング、マスターズ陸上競技、マラソン、マラソン＆ウォーキング、モルック、ユニカール、ユニバーサルホッケー、ラージボール卓球、Let’s Enjoy バウンドテニス

⑷　特別競技（１競技）

高等学校野球

２　会期及び会場地

⑴　正式競技・特別競技（11 市、11 町、2 村：計 24 市町村）

会　　期	会　場　地
2026年10月10日（土） ～10月20日（火） 〔11日間〕	青森市、弘前市、八戸市、黒石市、五所川原市、十和田市、三沢市、むつ市、つがる市、平川市、西目屋村、藤崎町、七戸町、六戸町、東北町、六ヶ所村、おいらせ町、五戸町、南部町、階上町、山梨県北杜市
2026年９月３日（木） ～９月13日（日） 〔11日間〕	青森市、弘前市、十和田市、三沢市、むつ市、平内町、西目屋村、野辺地町、六ヶ所村、宮城県利府町 ※　水泳、ローイング、ホッケー、バレーボール（ビーチバレーボール）、体操、セーリング、ハンドボール、相撲、ライフル射撃、カヌー（スラローム・ワイルドウォーター）、クレー射撃、ゴルフ、トライアスロン競技会は上記会場地で実施
2026年10月２日（金） ～10月７日（水） 〔６日間〕	青森市、弘前市 ※　アーチェリー、高等学校野球競技会は上記会場地で実施

⑵　公開競技（３市２町：計５市町）

会　　期	会　場　地
2026年８月８日（土） ～10月４日（日）	十和田市、三沢市、平川市、平内町、藤崎町

⑶　デモンストレーションスポーツ（７市、16 町、６村：計 29 市町村）

会　　期	会　場　地
2026年５月10日（日） ～10月４日（日）	青森市、弘前市、八戸市、十和田市、三沢市、むつ市、平川市、今別町、蓬田村、外ヶ浜町、鰺ヶ沢町、深浦町、藤崎町、大鰐町、田舎館村、板柳町、鶴田町、中泊町、横浜町、東北町、おいらせ町、大間町、東通村、風間浦村、佐井村、三戸町、田子町、階上町、新郷村

⑷　文化プログラム

文化プログラムの実施については、「文化プログラム実施基準」に基づき、2026 年１月１日から 2026 年 12 月 31 日までの期間で、原則として、県内市町村で開催する。

３　競技方法

各競技別実施要項に示す方法とし、正式競技は都道府県対抗で実施する。

４　ドーピング検査の実施

大会におけるアンチ・ドーピング活動（ドーピング検査及びアンチ・ドーピング教育活動）は、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構が定める「日本アンチ・ドーピング規程」及び別に定める「国民スポーツ大会アンチ・ドーピング活動に関するガイドライン」に基づき実施する。

なお、治療の目的で禁止物質・禁止方法を用いる必要がある場合は、事前に「治療使用特例」（TUE）の手続きを行うこと。

各都道府県の代表選手は、大会期間中は常に「国民スポーツ大会ドーピング検査同意書」を所持しなければならない。選手が 18 歳未満の場合、本人の署名及び親権者の署名がある同意書を所持すること。

５　参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

選手及び監督の参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準は、次のとおりとする。

なお、参加資格については、「第 80 回国民スポーツ大会参加資格、所属都道府県及び年齢基準等の解釈・説明」を併せて確認すること。

【　公益財団法人日本スポーツ協会ホームページ　https://www.japan-sports.or.jp/　】

⑴　参加資格

ア　日本国籍を有する者であることとするが、選手及び監督のうち、次の者については、日本国籍を有しない者であっても、大会に参加することができる。

(ｱ)　「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち「永住者」(「日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法」に定める「特別永住者」を含む。)

(ｲ)　少年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a　「学校教育法」第１条に規定する学校に在籍する学生又は生徒で、「８　参加申込方法」で定めた本戦参加申込締切時に１年以上在籍していること。

b　「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち、「留学」、「家族滞在」又は「定住者」に該当していること。

(ｳ)　成年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a　少年種別年齢域にあった時点において前号(ｲ)に該当していた者であること。

b　「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち、大会参加時から終了時まで「留学」に該当しないこと。

［注］　上記(ｳ)b について、大学及び専修学校等に在籍する成年種別の年齢域に該当する者は、「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」以外の在留資格を有する場合も「留学」と同等に扱う。

イ　選手及び監督は、所属都道府県の当該競技団体会長（代表者）とスポーツ協会会長（代表者）が代表として認め、選抜した者であること。

ウ　第 78 回又は第 79 回大会（都道府県大会及びブロック大会を含む）において選手又は監督として参加した者は、次の場合を除き、第 78 回又は第 79 回大会と異なる都道府県から参加することはできない。

(ｱ)　成年種別

a　「学校教育法」第１条に規定する学校を卒業した者

b　結婚又は離婚に係る者

［注］　a 及び b は当該要件発生後、初めて参加するものに限る。

c　ふるさと選手制度を活用する者（別記１「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」による。）

［注］　別記３「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

d　東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者（別記５「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

e　令和６年能登半島地震に係る参加資格特例措置を活用する者（別記６「令和６年能登

半島地震に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

（ｲ）　少年種別

ａ　「学校教育法」第１条に規定する学校を卒業した者

ｂ　結婚又は離婚に係る者

ｃ　一家転住に係る者（別記２「『一家転住等』に伴う特例措置」による。）

［注］　ａからｃは当該要件発生後、初めて参加するものに限る。

ｄ　JOC エリートアカデミーに在籍する者（別記３「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」による。）

ｅ　東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者（別記５「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

ｆ　令和６年能登半島地震に係る参加資格特別措置を活用する者（別記６「令和６年能登半島地震に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

エ　選手と監督の兼任は、同一種別内に限る。

オ　選手及び監督は、回数を同じくする大会において、冬季大会及び本大会にそれぞれ１競技に限り参加できる。

カ　選手及び監督は、回数を同じくする大会において、異なる都道府県から参加することはできない。

キ　選手、監督並びに本部役員帯同のスポーツドクター及びアスレティックトレーナーは、大会参加前の１年以内に公益財団法人日本スポーツ協会（以下「日本スポーツ協会」という。）が指定するアンチ・ドーピング教育を受講し、「国スポ本戦出場前のアンチ・ドーピング教育履歴」に記載した者であること。

ク　上記のほか、選手については次のとおりとする。

（ｱ）　都道府県大会及びブロック大会に参加し、これを通過した者であること。

（ｲ）　健康診断を受け、競技会への参加に支障がない者であること。

（ｳ）　ドーピング検査対象に選定された場合は、検査を受けなければならない。

ケ　上記のほか、監督については日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく競技別指導者資格を有する者とし、監督が不在の場合選手は参加することができない。各競技における対象資格については当該競技実施要項によるものとする。

⑵　所属都道府県

所属都道府県は、当該競技団体が限定する場合を除き、次のいずれかが属する都道府県から選択することができる。

ア　成年種別

（ｱ）　居住地を示す現住所

（ｲ）　勤務地

（ｳ）　ふるさと（別記１「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」による。）

［注］　別記３「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受けふるさと選手として参加する者を含む。

イ　少年種別

（ｱ）　居住地を示す現住所

（ｲ）　「学校教育法」第１条に規定する学校の所在地（以下「学校所在地」という。）

（ｳ）　勤務地

（ｴ）　別記３「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」に定める小学校の所在地

※　「居住地を示す現住所」、「勤務地」、「学校所在地」のいずれかから参加する場合は、2026年４月30日以前から本大会終了時（2026年10月20日）まで、引き続き当該地に、それぞれ居住、勤務、又は通学していなければならない。ただし、次の者はこの限りではない。

［成年種別］

a　別記４「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

b　別記５「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

c　別記６「令和６年能登半島地震に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

［少年種別］

a　別記２「『一家転住等』に伴う特例措置」の適用を受ける者

b　別記４「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

c　別記５「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

d　別記６「令和６年能登半島地震に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

⑶　選手の年齢基準

ア　選手の年齢基準については、下記を原則とする。

(ｱ)　成年種別に参加する者は、2008年４月１日以前に生まれた者とする。

(ｲ)　少年種別に参加する者は､2008年４月２日から2011年４月１日までに生まれた者とする。

(ｳ)　年齢を区分している種別へ参加する者の年齢計算は、2026年４月１日を基準とする。

イ　日本スポーツ協会が特に認める場合は、上記アにかかわらず、競技ごとに年齢区分を設定することができる。ただし、年齢の下限は中学３年生（2011年４月２日から2012年４月１日までに生まれた者）とする。

⑷　前記の各事項に疑義のあるときは、日本スポーツ協会及び当該競技団体が調査・審議の上、日本スポーツ協会がその可否を決定する

６　各正式競技の総合成績決定方法

各正式競技の総合成績決定方法は次のとおりとする。

⑴　次のア、イの得点を合計したものを男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）とする。

ア　競技得点

競技得点は、各種別、種目などの第１位から第８位までの都道府県に与え、次のとおりとする。ただし、同順位の場合は、次の順位のものを加え、当該都道府県で等分し、割り切れない場合は、小数第３位以下を切り捨てる。

		１位	２位	３位	４位	５位	６位	７位	８位
種別	４人以下	24点	21点	18点	15点	12点	９点	６点	３点
	５人以上７人以下	40点	35点	30点	25点	20点	15点	10点	５点
	８人以上	64点	56点	48点	40点	32点	24点	16点	８点
種目	――――――	８点	７点	６点	５点	４点	３点	２点	１点

［注］　「種別」：種別などに与える競技得点　　「種目」：種目などに与える競技得点

イ　参加得点

参加得点は 10 点とし、大会（ブロック大会を含む。）に参加した都道府県に与える。

ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

⑵　各競技の総合成績は、当該競技団体が決定する。

ただし、天候その他の事情により一部競技が中止になった場合は、当該競技団体と大会総務委員会が協議する。

⑶　参加資格違反等に関わる得点等の取り扱いについては、「国民スポーツ大会における違反に対する処分に関する規程」によるものとする。

7　表彰

⑴　冬季大会及び本大会で実施した全正式競技の男女総合成績第１位の都道府県に天皇杯を、同じく女子総合成績第１位の都道府県に皇后杯をそれぞれ授与する。

⑵　冬季大会及び本大会で実施した全正式競技の男女総合成績及び女子総合成績の第１位から第８位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。

⑶　各正式競技の男女総合成績第１位の都道府県に、国民スポーツ大会会長トロフィーを授与する。

⑷　各正式競技の男女総合成績及び女子総合成績の第１位から第８位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。

⑸　各競技の各種別及び各種目などの第１位から第８位までに賞状を授与する。団体競技の場合は、その都道府県名とチーム全員（監督を含む）の氏名を記載したものを都道府県用に１枚、さらにその都道府県名と個人名を記載したもの、又は都道府県名とチーム全員（監督を含む）の氏名を記載したものをチーム全員に授与する。

⑹　各正式競技及び特別競技の第１位から第３位までの選手にメダルを授与する。

8　参加申込方法

⑴　参加申込

都道府県スポーツ協会会長（代表者）及び競技団体会長（代表者）は、連署の上、都道府県大会又はブロック大会において選抜された者及び公益財団法人日本高等学校野球連盟が選出したチームを、大会会長宛てに申込むものとする。

⑵　参加申込締切

参加申込は、定められた締切日時までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。

なお、各競技別実施要項の「参加申込方法」を併せて確認すること。

⑶　参加申込締切日時

締切日時	競　　技
2026 年 ８月 13 日（木） 午後５時 【15 競技】	水泳、ローイング、ホッケー、バレーボール（ビーチバレーボール）、体操、セーリング、ハンドボール、自転車、相撲、ライフル射撃、カヌー、クレー射撃、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン

2026 年 ９月３日（木） 午後５時 【24 競技】	陸上競技、サッカー、テニス、バレーボール（６人制）、バスケットボール、レスリング、ウエイトリフティング、ソフトテニス、卓球、軟式野球、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、アーチェリー、空手道、銃剣道、なぎなた、高等学校野球

⑷　参加申込様式

参加申込様式は、日本スポーツ協会が実施競技団体と協議の上、作成する。

⑸　公開競技の参加申込

公開競技については、別途当該中央競技団体が定める所定の手続きにより行う。

⑹　選手の交代

参加申込締切後の選手の交代は、特別な事情がない限り認めない。特別な事情で選手を交代する場合は、所定の様式、方法により次のア～ウ宛てに届け出なければならない。

ア　全国を統轄する各中央競技団体事務局

イ　青の煌(きら)めきあおもり国スポ・障スポ実行委員会事務局

ウ　青の煌(きら)めきあおもり国スポ・障スポ各競技会場地市町村実行委員会事務局

なお、日本スポーツ協会に対しては、大会終了後、所定の手続きにより参加申込情報を修正すること。

９　棄権手続

参加申込締切後から競技初戦までの間において、特別な事情で選手が競技会を棄権する場合には、所定の棄権手続きをとらなければならない。

なお、棄権手続きに係る届出については選手交代届と同じ様式を用いること。

10　大会参加負担金

⑴　大会に参加選手団（視察員を除く）を派遣する都道府県スポーツ協会は、大会参加負担金を納入する。一人あたりの大会参加負担金の額は下記のとおりとする。

区　　分	負　担　金
少年の種別に参加する選手	３，０００円
上記以外の者（本部役員、監督、成年の種別に参加する選手等）	６，０００円

［注］　地震、風水害、感染症及びその他主催者の責によらない事由により大会を中止した場合、大会参加負担金の返金は行わない。

⑵　大会参加負担金は、都道府県スポーツ協会で取りまとめ、次のとおり納入する。

ア　納入期限　2026 年９月４日（金）

イ　納 入 先　みずほ銀行　渋谷支店　普通預金口座　513729

公益財団法人日本スポーツ協会

11　宿泊申込

大会参加者は、青の煌(きら)めきあおもり国スポ・障スポ実行委員会が指定した所定の様式により、定められた締切日までに申込む。

12　都道府県選手団本部役員編成

⑴　都道府県選手団本部役員は、次のとおりとする。

ア　参加選手 500 名以上の場合は、団長、総監督及び総務ほか、計 20 名以内とする。

イ　参加選手 300 名以上 500 名未満の場合は、団長、総監督及び総務ほか、計 15 名以内とする。

ウ　参加選手 300 名未満の場合は、団長、総監督及び総務ほか、計 10 名以内とする。

⑵　上記役員のほか、５名以内の顧問を設けることができる。

⑶　上記⑴及び⑵による本部役員総数の範囲内で、スポーツドクターを帯同するものとする。

なお、帯同するスポーツドクターは日本スポーツ協会公認スポーツドクター資格を有する者とする。

⑷　上記⑴及び⑵による本部役員総数の範囲内で、原則としてアスレティックトレーナーを帯同するものとする。

なお、帯同するアスレティックトレーナーは日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー資格を有する者とする。

⑸　都道府県選手団本部役員の１日あたりの編成人数については、上記⑴及び⑵による人数を上限とする。

⑹　都道府県選手団本部役員の参加申込は、2026 年９月３日（木）午後５時までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。

13　視察員

⑴　視察員は、１都道府県３名以内とする。ただし、2027 年以降の国民スポーツ大会の開催が決定又は内定している県については、宮崎県 100 名以内、長野県及び群馬県 60 名以内、島根県及び奈良県 40 名以内とする。

⑵　都道府県の視察員の参加申込は、2026 年９月３日（木）午後５時までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。

14　参加章及び AD カードの交付

参加章及び AD カードは、次の者に交付する。

⑴　参加章

ア　都道府県選手団の本部役員、監督及び選手

イ　大会役員、競技会役員及び競技団体が指定した競技役員

ウ　公開競技及びデモンストレーションスポーツ参加者

⑵　AD カード（Accreditation　Card）

ア　都道府県選手団

イ　大会役員、競技会役員及び競技団体が指定した競技役員

ウ　大会主催者及び競技会主催者が認めた者

エ　公開競技に参加する選手、監督及び役員

15　参加上の注意

⑴　大会期間中は、交付された AD カードを携帯しなければならない。

⑵　各都道府県の代表選手は、競技に際し、「国民スポーツ大会ユニフォーム規程」に基づき、ユニフォームを着用しなければならない。

16　個人情報及び肖像権に関わる取り扱い

日本スポーツ協会、青の煌めきあおもり国スポ・障スポ実行委員会、青の煌めきあおもり国スポ・障スポ各競技会場地市町村実行委員会及び国民スポーツ大会実施競技中央競技団体（以下「国スポ関係機関・団体」という。）は、参加申込等を通じて取得する個人情報及び肖像権の取り扱いに関して以下のとおり対応するものとする。

⑴　個人情報の取り扱い

ア　利用目的

大会参加申込として国民スポーツ大会参加申込システムへ登録された個人情報は、国スポ関係機関・団体において、参加資格の確認や競技組合せなどをはじめとする大会運営業務のために利用し、目的以外に利用しない。

イ　公表の範囲と方法

個人情報のうち、所属都道府県、氏名、性別、年齢、学校名、チーム名等、所属と個人を識別するために必要な情報については、以下の方法等により公表することがある。

(ｱ)　総合プログラム及び競技別プログラムへの掲載
(ｲ)　競技会場内におけるアナウンス等による紹介
(ｳ)　競技会場内外の掲示板等への掲載
(ｴ)　大会関連ホームページへの掲載
(ｵ)　報道機関への提供

ウ　競技結果（記録）等

競技結果（記録）については、上記イで定めた個人情報とともに、以下の方法等により公表することがある。

(ｱ)　青の煌めきあおもり国スポ・障スポ実行委員会が設置する記録本部を通じた公開
(ｲ)　国スポ関係機関・団体及び報道機関等による新聞・雑誌及び関連ホームページ等への掲載
(ｳ)　国スポ関係機関・団体が作成する大会報告書等への掲載
(ｴ)　次回以降の大会プログラムへの掲載【新記録、優勝及び上位入賞結果（記録）等】

⑵　肖像権に関する取り扱い

ア　写真

国スポ関係機関・団体又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された写真が、新聞・雑誌・報告書及び関連ホームページ等で公開されることがある。

イ　写真（写真撮影企業等）

国スポ関係機関・団体に認められた写真撮影企業等によって撮影された写真等が販売されることがある。

なお、各競技・会場における販売の有無等の詳細は、当該中央競技団体を中心に対応する。

ウ　映像

国スポ関係機関・団体又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された映像が、中継・録画放映及びインターネットによって配信されることがある。また、DVD 等に編集され、販売・配付されることがある。

⑶　対応

ア　承諾の確認

大会参加申込として国民スポーツ大会参加申込システムへ登録された時点で、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

なお、各競技会における取り扱いに伴い、別途、当該中央競技団体等によって個別に承諾

を確認することがある。

イ　役員等

大会役員、競技役員、運営役員、その他各種委員や補助員、国スポ関係機関・団体と大会に関する契約をしている者及び大会運営関係者については、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

17　都道府県大会及びブロック大会

正式競技については、本大会の予選として次のとおり都道府県大会（ブロック大会）を開催しなければならない。

⑴　都道府県の主催団体は、必要に応じて日本スポーツ協会及び中央競技団体等関係団体と協議の上、本要項に基づき実施要項を作成する。

なお、日本スポーツ協会及び中央競技団体は、その内容に不備がある場合、適宜指導を行うものとする。

⑵　都道府県大会の実施にあたり、当該都道府県主催団体は、適正な手続きに則り決定した代表選手の選抜方法・選考基準について、予め関係者に周知徹底を図るものとする。

⑶　参加者は、実施要項に基づき当該主催団体に申込む。

なお、参加は、回数を同じくする大会において、冬季大会及び本大会にそれぞれ１競技に限り参加できる。

⑷　ブロック大会の申込みは、原則として国民スポーツ大会参加申込システムにより行い、様式は日本スポーツ協会及び当該主催団体が協議の上、作成する。

なお、参加申込システムを使用しない場合の様式については、当該主催団体において別途作成する。

⑸　都道府県大会の参加申込様式は、当該主催団体において作成する。

⑹　参加料を徴収する場合の金額は、当該主催団体が中央競技団体と協議の上、定める。

⑺　競技運営に差し支えない限り、青森県選手は当該競技ブロック大会を経ることなく本大会に参加することができる。

18　国民スポーツ大会参加者傷害補償制度

日本スポーツ協会及び都道府県スポーツ協会は、国民スポーツ大会参加者に対する社会的責任体制を整えるとともに、大会参加者の相互扶助の精神に基づいた補償制度として大会参加者による国民スポーツ大会参加者傷害補償制度を運営する。

⑴　本制度の対象となる参加者は、ブロック大会及び本大会に参加する本制度給付規定に定められた選手、監督、選手団本部役員（顧問を含む）、視察員並びにその他選手団役員とする。

⑵　大会参加の都道府県スポーツ協会は、国民スポーツ大会参加者傷害補償制度の対象となる参加者数に応じた制度負担金（一人あたり 1,000 円）を、日本スポーツ協会に納入する。

⑶　納入締切日及び納入先については、別途日本スポーツ協会から都道府県スポーツ協会へ通知する。

19　青の煌（きら）めきあおもり国スポの実施目標

⑴　スポーツによる感動の創出と地域へのスポーツの定着

スポーツを「する」「みる」「ささえる」など多様な場面で、感動が創出されることによ

り、県民の誰もがスポーツに関わる楽しさを感じることができる環境が整備されるとともに、県内各地で地域住民がスポーツに取り組む習慣が身につき、スポーツが地域に定着する大会とする。

⑵　自発的、積極的な県民参加による地域の活性化

県民一人ひとりが、開催準備に自発的、積極的に参加するとともに、スポーツを通した健康づくりなどに一丸となって取り組むことにより、全ての県民が心身ともに健康な状態で大会を迎え、その後も各地域が元気で活力に満ちた姿となる大会とする。

⑶　来県者への熱い心でのおもてなしとあらゆる魅力の発信

大会に参加する選手・監督・役員・応援者など数多くの来県者を熱いおもてなしの心で迎えるとともに、大会期間を通して本県のあらゆる魅力を体感していただくことにより、再び本県を訪問したいという気持ちを喚起する大会とする。

⑷　北国ならではの大会運営

北国ならではの気象条件を考慮し、総合開・閉会式を屋内開催とするとともに、競技特性も考慮の上、会期前競技を多く設定することなどにより選手ファーストを意識した大会とする。

20　その他

⑴　参加申込及び宿泊申込が、定められた締切日までに行われない場合、又は、参加負担金が定められた納入期限までに納入されない場合は、本大会への参加を認めない。

⑵　大会運営にあたり、選手・観客・大会関係者への安全を最優先に配慮し、気象状況・感染状況・交通状況・テロ行為等の各種災害に伴い、安全確保が見込めないと主催者が判断した場合は、主催者の指示に従うものとする。また、安全確保のために、参加申込システムに登録された以外の個人情報を取得する場合がある。取得した情報については、目的以外に利用しない。

⑶　その他の事項については、国民スポーツ大会開催基準要項及び同細則による。

別記１　「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」

１　成年種別年齢域の選手は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項〔国民スポーツ大会開催基準要項第８項第１号及び第 10 項第４号（参加資格及び年齢基準等）〕に基づき、下記のいずれかを拠点とした都道府県から参加することができる。

⑴　居住地を示す現住所

⑵　勤務地

⑶　ふるさと

２　「ふるさと」とは、卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県とする。

ただし、JOC エリートアカデミーに係る選手については、別に定める「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」第３項により取り扱うものとする。

３　我が国の競技力向上を支援する観点より、日本国籍を有する者及び「永住者」については、日本における滞在期間に関わらず、本制度を活用できるものとする。ただし、「日本国籍を有する者及び『永住者』」に該当しない者であっても、当該大会年の４月 30 日（冬季大会は前年の４月 30 日）以前から本大会終了時（冬季大会は各競技会終了時）まで継続的に日本に滞在している場合は、本制度を活用できるものとする。なお、やむを得ない事情により、一時的に日本を離れる場合は、総日数の半数を超えて日本で滞在していること。

４　「ふるさと選手制度」を活用し参加を希望する選手は、予め所定の方法により「ふるさと」を登録しなければならない。なお、一度登録した「ふるさと」は変更できないものとする。

５　「ふるさと」から参加する選手は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項－⑴－1）－③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。

６　ふるさと選手制度の活用については、原則として、１回につき２年以上連続とし、利用できる回数は２回までとする。

７　参加都道府県は「ふるさと選手」を所定の様式、方法により、当該大会実施要項で定めた参加申込締切期日までに、日本スポーツ協会宛てに提出する。

別記２　「『一家転住等』に伴う特例措置」

転校への特例

１　次の内容をすべて満たすことにより、国内移動選手の制限（国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項－⑴－1）－③）に抵触しないものとする。

⑴　この特例の対象は、「少年種別」への参加者に限る。

⑵　本特例を受けることができるのは、一家転住等やむを得ない理由に限ることとする。

なお「一家転住等」とは概ね次のことを言う。

ア　親の転勤による一家の転居

イ　親の結婚、離婚による一家の転居

ウ　上記以外に、やむを得ない理由による一家の転居

⑶　転居した時点に応じて、以下の手続きを終了していること。

ア　本特例を受けようとする参加者は、下記２⑴の場合は転居元、下記２⑵の場合は転居先が属する都道府県スポーツ協会及び都道府県競技団体に対し、その旨報告すること。

イ　報告を受けた都道府県スポーツ協会及び都道府県競技団体は、下記２⑴の場合は転居先、下記２⑵の場合は転居元が属する都道府県スポーツ協会及び都道府県競技団体に対し、その旨報告し了承を得ること。

２　本特例を受ける当該大会において、参加することができる都道府県は以下のとおりとする。

⑴　転居した時点において、以下に該当する場合は転居元が属する都道府県から参加することができる。

ア　転居先が属する都道府県の代表が既に決定している場合

イ　当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表として既に決定している場合

ウ　当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表選考過程にある場合

⑵　転居した時点において、以下に該当する場合は転居先が属する都道府県から参加することができる。

ア　転居元が属する都道府県において、当該大会における都道府県代表の選考が開始されていない場合

別記３　「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」

公益財団法人日本オリンピック委員会が実施する「JOC エリートアカデミー」に係る選手のうち、下記１に該当する者については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項〔国民スポーツ大会開催基準要項第８項第１号及び第 10 項第４号（参加資格及び年齢基準等）〕及び別記１「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」に関し、次の２～４の特例を適用する。

１　対象者

⑴　少年種別年齢域の選手で JOC エリートアカデミーに在籍する者

⑵　成年種別年齢域の選手で JOC エリートアカデミーを修了した者、又は同アカデミーに在籍する者

２　少年種別年齢域の選手の所属都道府県

本特例第１項ー⑴に定める少年種別年齢域の選手は、その所属都道府県について、国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項ー⑴ー2）- ②に定める「居住地を示す現住所」、「学校教育法第１条に規定する学校の所在地」、「勤務地」のほか、卒業小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

なお、同アカデミーへの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

３　成年種別年齢域の選手の「ふるさと」

本特例第１項ー⑵に定める成年種別年齢域の選手は、「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」第２項に定める卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県のほか、同アカデミーでの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を「ふるさと」とすることができる。

４　国内移動選手の制限に係る例外適用

本特例第１項ー⑴に定める少年種別年齢域の選手が前回の大会（都道府県大会を含む）と異なる都道府県から参加する場合、国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項ー⑴ー1）ー③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。

［注］　本特例第１項ー⑵に定める成年種別年齢域の選手については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項ー⑴ー1）ー③（国内移動選手の制限）の規定に従い取り扱うものとする。

５　その他

中央競技団体が国際競技力向上施策として独自に実施するアカデミー事業については、当該中央競技団体からの申請を踏まえ、当該事業の内容が JOC エリートアカデミーに準拠し実施されていることが、公益財団法人日本オリンピック委員会により確認された場合に限り、国民スポーツ大会委員会の決議を経て当該事業を本特例の対象に加えることができる。

別記４　「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

我が国の競技力向上を支援する観点より、一定の競技力を有する選手に対して、「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置（以下「本特例」という。）」を下記のとおり定める。

１　特例の対象となる選手

本特例の対象となる選手は、下記の条件のいずれかを満たす者とする。

⑴　第 33 回オリンピック競技大会（2024 年・パリ）に参加した者。

⑵　2026 年４月 30 日時点で、下記のいずれかに該当し、各中央競技団体が本特例の対象として認めた者

ア　JOC オリンピック強化指定選手

イ　各競技（種目）における国内ランキング上位 10 位以内の者

ウ　中央競技団体が定めた強化指定選手

※　強化指定ランクについては、各競技における全日本選手権大会入賞レベル以上のカテゴリーを対象とする。

２　特例の内容

⑴　予選会の免除

本特例の対象となる選手については、都道府県予選会及びブロック大会を経ずに国民スポーツ大会本大会に参加することができるものとする。ただし、ブロック大会実施競技種目・種別においては、当該都道府県代表選手又はチームがブロック大会に参加し、本大会参加枠を獲得している場合とする。

⑵　資格要件（日数要件の緩和）

本特例の対象となる選手が所属都道府県として「居住地を示す現住所」又は「勤務地」を選択する場合は、日数に関する要件を定めないこととし、以下のとおりとする。

ア　居住地を示す現住所

次の要件をいずれも満たすものとする。

（ｱ）　2026 年４月 30 日以前から大会終了時（2026 年 10 月 20 日）まで引き続き、住民票記載の住所に存する都道府県において生活している実態があり、当該都道府県以外（海外を含む）において生活している実態がないこと。

なお、生活の実態については、下記要件により判断する。

ａ　自ら所有する住居、又は自らの名義で住居を賃借していること

ｂ　当該住居に生計を一にする家族と共に住んでいること

ｃ　当該住居の水道光熱費など費用を自ら負担していること

ｄ　当該住居に主要な家財道具が存すること

（ｲ）　合宿、試合等により当該都道府県外で活動を行う場合、当該都道府県を移動の起点としていること。

イ　勤務地

次の要件をいずれも満たすものとする。

（ｱ）　2026 年４月 30 日以前から大会終了時（2026 年 10 月 20 日）まで引き続き、雇用主と雇用契約を締結した上で、当該都道府県内に存する雇用主の会社や事業所等に現実に通勤し、勤務していること。

（ｲ）　当該都道府県内で、競技普及活動等の事業に参加すること。

３　国内移動選手の制限

本特例の対象となる選手の国内移動選手の制限については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項－⑴－1）－③のとおりとする。

別記５　「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

１　特例の対象となる被災地域都道府県

震災による被害状況及び影響等を総合的に勘案し、青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県の６県を本特例の適用対象となる被災地域都道府県（以下「特例対象県」という。）とする。

なお、特例対象県以外の都道府県において対応が必要となった場合は、個別に取り扱うこととする。

２　特例の内容

⑴　特例対象県を所属都道府県とする場合の要件緩和

以下の選手及び監督については、「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」の各要件を満たしていなくとも、当該特例対象県から参加することができる。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県における「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」の各要件を満たすことができなくなった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

ア　2011 年３月 11 日（震災発生時）時点において、当該特例対象県内に居住又は勤務していた者。若しくは当該特例対象県内の「学校教育法」第１条に規定する学校に在籍していた者であること。

イ　災害が発生しなかったと仮定した場合、2026 年４月 30 日以前から大会終了時（2026 年 10 月 20 日）まで継続して当該特例対象県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする要件を満たしていたと合理的に推測される者であること。

⑵　避難等による移動先の都道府県を所属都道府県とする場合の要件緩和

ア　被災地域からの避難等により、当該特例対象県と異なる都道府県に移動した以下の選手及び監督については、移動先の都道府県から参加することができる。

なお、この場合、第 78 回又は第 79 回大会に当該特例対象県から参加していても、国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項ー⑴ー1）ー③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県から移動せざるを得なかった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

(ｱ)　2011 年３月 11 日時点において、当該特例対象県内に居住又は勤務していた者。若しくは当該特例対象県内の「学校教育法」第１条に規定する学校に在籍していた者であること。

(ｲ)　移動先の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする要件を満たしていること。

なお、移動が生じた時期が 2026 年４月 30 日以降の場合は、移動先の都道府県の予選会開始までに要件を満たしていることとする。

［注］　「居住地を示す現住所」及び「学校所在地」として参加を希望する者については、当該自治体への住所に関する届出又は学籍に係る要件を満たしていなくとも、それに準ずる公的な証明書類を提出でき、かつ移動先の都道府県に居住あるいは通学している実態を有していると日本スポーツ協会が認めた場合、移動先の都道府県から出場す

ることができる。

イ　本項アを適用して避難等による移動先の都道府県から第 79 回大会又は第 80 回大会に参加した者が、第 81 回大会において、以下のような震災にかかる理由により再度都道府県を移動して参加する場合は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項－⑴－1）－③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

＜例＞　○　避難先を離れ、当該特例対象県に戻る場合

○　避難先を離れ、他の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする場合

○　他の都道府県に避難先を移す場合

⑶　避難等による移動先の属する都道府県において学校を卒業した場合の「ふるさと」選択要件の緩和

避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校又は高等学校を卒業した者が、成年種別年齢域に達した際、「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」を活用して参加する場合、以下のいずれかを「ふるさと」として登録することができる。

ア　卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校の所在地

イ　災害の発生した時点で在籍していた小学校、中学校又は高等学校の所在地

なお、本特例を適用して上記イの学校所在地を「ふるさと」として登録した場合についても、卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校の所在地を「ふるさと」とする場合と同様、一度登録した「ふるさと」は変更できない。

【特例の対象者】

2011年度から2012年度（小学校は2015年度）までに、避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校又は高等学校を卒業した者。

別記６　「令和６年能登半島地震に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

１　特例の対象となる被災地域都道府県

震災による被害状況及び影響等を総合的に勘案し、新潟県、富山県、石川県、福井県の４県を本特例の適用対象となる被災地域都道府県（以下「特例対象県」という。）とする。

なお、特例対象県以外の都道府県において対応が必要となった場合は、個別に取り扱うこととする。

２　特例の内容

⑴　特例対象県を所属都道府県とする場合の要件緩和

以下の選手及び監督については、「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」の各要件を満たしていなくとも、当該特例対象県から参加することができる。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県における「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」の各要件を満たすことができなくなった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

ア　2024 年１月１日（震災発生時）時点において、当該特例対象県内に居住又は勤務していた者。若しくは当該特例対象県内の「学校教育法」第１条に規定する学校に在籍していた者であること。

イ　災害が発生しなかったと仮定した場合、2026 年４月 30 日以前から当該大会終了時（2026 年 10 月 20 日）まで継続して当該特例対象県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする要件を満たしていたと合理的に推測される者であること。

⑵　避難等による移動先の都道府県を所属都道府県とする場合の要件緩和

ア　被災地域からの避難等により、当該特例対象県と異なる都道府県に移動した以下の選手及び監督については、移動先の都道府県から参加することができる。

なお、この場合、第 78 回大会又は第 79 回大会に、当該特例対象県から参加していても、国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項－⑴－1）－③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県から移動せざるを得なかった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

(ｱ)　2024 年１月１日時点において、当該特例対象県内に居住又は勤務していた者。若しくは当該特例対象県内の「学校教育法」第１条に規定する学校に在籍していた者であること。

(ｲ)　移動先の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする要件を満たしていること。

なお、移動が生じた時期が 2026 年４月 30 日以降の場合は、移動先の都道府県の予選会開始までに要件を満たしていることとする。

［注］　「居住地を示す現住所」及び「学校所在地」として参加を希望する者については、当該自治体への住所に関する届出又は学籍に係る要件を満たしていなくとも、それに準ずる公的な証明書類を提出でき、かつ移動先の都道府県に居住あるいは通学してい

る実態を有していると日本スポーツ協会が認めた場合、移動先の都道府県から出場することができる。

イ　本項アを適用して避難等による移動先の都道府県から第 79 回大会又は第 80 回大会に参加した者が、第 81 回大会において、以下のような震災に係る理由により再度都道府県を移動して参加する場合は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項ー⑴ー1）ー③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

＜例＞　○　避難先を離れ、当該特例対象県に戻る場合

○　避難先を離れ、他の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする場合

○　他の都道府県に避難先を移す場合

⑶　避難等による移動先の属する都道府県において学校を卒業した場合の「ふるさと」選択要件の緩和

避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校又は高等学校を卒業した者が、成年種別年齢域に達した際、「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」を活用して参加する場合、以下のいずれかを「ふるさと」として登録することができる。

ア　卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校の所在地

イ　災害の発生した時点で在籍していた小学校、中学校又は高等学校の所在地

なお、本特例を適用して上記イの学校所在地を「ふるさと」として登録した場合についても、卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校の所在地を「ふるさと」とする場合と同様、一度登録した「ふるさと」は変更できない。

【特例の対象者】

2024年度から2025年度（小学校は2028年度）までに、避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校又は高等学校を卒業した者。

実 施 要 項

１　期　　日　　2026 年 10 月 11 日（日）から 10 月 13 日（火）まで（３日間）

種別	10 月 11 日(日)	10 月 12 日(月)	10 月 13 日(火)
成年男子	ボルダー予選 ボルダー決勝	リード予選	リード決勝
成年女子	ボルダー予選	リード予選	リード決勝 ボルダー決勝
少年男子	リード予選	ボルダー予選	ボルダー決勝 リード決勝
少年女子	リード予選	ボルダー予選 ボルダー決勝	リード決勝

２　会　　場　　青森市　　盛運輸アリーナ　（リード、ボルダー）

３　種別(種目)及び参加人員

種　別	種　目	監　督	選　手	参加都道府県	小　計	合　計 （人）
成年男子	リード ボルダー	1	2	25	75	309
成年女子	リード ボルダー	1	2	26	78	
少年男子	リード ボルダー	1	2	26	78	
少年女子	リード ボルダー	1	2	26	78	

４　競技上の規程及び方法

公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会が定めた現行の競技規則による。

５　予選方法

⑴　都道府県大会は、都道府県を代表して公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会に加盟している山岳（スポーツクライミング）連盟（協会）が主管して実施する。

⑵　都道府県連盟（協会）は、種別ごとにブロック大会に出場する代表１チームを決定する。

⑶　ブロック大会主管連盟（協会）は、本大会実施要項に準じてブロック大会を実施し、本大会に出場する代表を決定する。

ただし、下記⑷で定める各ブロック大会区分の都道府県数と代表チーム数が同数の種別については、ブロック大会を行わないで本大会に出場できる。

成年男子（北海道、東北、北信越、開催県）　成年女子（北海道、近畿、中国、開催県）

少年男子（北海道、四国、九州、開催県）　　少年女子（北海道、関東、東海、開催県）

⑷　ブロック大会区分及び代表チーム数は、下表のとおりとする。

ブロック名	都 道 府 県 名	成年男子	成年女子	少年男子	少年女子
北海道	北海道	1	1	1	1
東 北	岩手、宮城、秋田、山形、福島	5	3	2	2
関 東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨	3	3	3	8
北信越	新潟、長野、富山、石川、福井	5	1	2	2
東 海	静岡、愛知、三重、岐阜	1	2	1	4
近 畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	2	6	2	3
中 国	鳥取、島根、岡山、広島、山口	2	5	2	1
四 国	香川、徳島、愛媛、高知	2	1	4	1
九 州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	3	3	8	3
開催県	青森	1	1	1	1
計		25	26	26	26

６　参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

総則５に定めるもののほか、次による。

⑴　少年種別に参加できる選手は、2011 年４月２日から 2012 年４月１日までに生まれた中学３年生を含む。

⑵　選手と監督の兼任は認めない。

⑶　監督は、公益財団法人日本スポーツ協会指導者制度に基づく、公認スポーツクライミングコーチ１、公認スポーツクライミングコーチ２、公認スポーツクライミングコーチ３、公認スポーツクライミングコーチ４のいずれかの資格を有していなければならない。

７　総合成績決定方法

男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）は、競技得点と参加得点の合計とし、その得点の多い都道府県順に第１位から第８位までを決定する。

ただし、同点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

⑴　競技得点

天皇杯対象種別	皇后杯対象種別	競 技 得 点
成年男子 成年女子 少年男子 少年女子	成年女子 少年女子	各種別とも１位 24 点、２位 21 点、３位 18 点、４位 15 点、５位 12 点、６位９点、７位６点、８位３点の競技得点を与える。 ただし、同順位の場合は、当該都道府県でその順位を共有し、次の順位のものを加え、当該都道府県で等分する。

⑵　参加得点

大会（ブロック大会を含む）に参加した都道府県に 10 点を与える。ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

８　表　　彰

⑴　男女総合成績及び女子総合成績第１位から第８位までの都道府県に、表彰状を授与する。

⑵　男女総合成績第１位の都道府県に、大会会長トロフィーを授与する。

⑶　種別ごとに各種目の第１位から第８位までの都道府県に、賞状を授与する。賞状は、その都道府県名とチーム全員（監督も含む。）の氏名を記載したものを都道府県用に１枚、さらに同様のものをチーム全員に授与する。

９　参加申込方法

総則８に定めるもののほか、次による。

⑴　所定の Web ページ（国民スポーツ大会参加申込受付システム）へアクセスし、必要項目を記入の上、所属都道府県スポーツ協会を通じて、2026 年９月３日（木）午後５時までに申込手続を完了すること。

⑵　締切期限以降は、所定の Web ページ（国民スポーツ大会参加申込受付システム）へアクセスできなくなるので締切期限を厳守すること。

⑶　参加申込締切後の選手・監督の変更は、疾病・傷害等特別な場合のみ認めるものとし、原則として監督会議開始前までとするが、やむを得ない事情により監督会議後に参加申込をした監督が不在となる場合は、監督のみ交代（変更）を認める場合がある。

ただし、交代（変更）する監督は、2026(令和８)年４月１日時点で公認スポーツ指導者資格が『有効』であり、かつ有効期限が 2027(令和９)年３月 31 日以降であること。その取扱いについては次のとおりとする。なお、選手が「国民スポーツ大会予選会免除に関する要領」に基づく本協会が指定する世界選手権大会等の国際大会に出場する場合は、選手変更を認める。

ア　提出期限　監督会議前まで

イ　提 出 先

(ｱ)　〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町４番２号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 905
公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会
TEL 03-5843-1631　FAX 03-5843-1635

(ｲ)　〒030-8570 青森県青森市長島一丁目１番１号
青の煌めきあおもり国スポ・障スポ実行委員会事務局
（青森県国スポ・障スポ局　競技式典課　競技運営グループ）
TEL 017-734-9771　FAX 017-734-8015
E-mail　aomori2026kyougiunei@pref.aomori.lg.jp

(ｳ)　〒030-8570 青森県青森市柳川二丁目１番１号
青の煌めきあおもり国スポ・障スポ青森市実行委員会事務局
（青森市経済部　国スポ・障スポ競技課）
TEL 017-761-4462　FAX 017-761-4489
E-mail　sportclimbing2026@city.aomori.aomori.jp

なお、(ｲ) (ｳ)については、原則メールにて提出とする。また、公益財団法人日本スポーツ協会に対しては、大会終了後、別途、所定の手続きにより参加申込み情報を修正すること。

10　その他

⑴　組合せ抽選会

日　時　2026 年９月５日（土）　午後１時

場　所　JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 内会議室

〒160-0013　東京都新宿区霞ヶ丘町４番２号

TEL 03-6709-8940　FAX 03-6709-8941

⑵　競技役員全体会議

日　時　2026 年 10 月 10 日（土）　午後０時 20 分

場　所　盛運輸アリーナ

〒030-0843 青森県青森市大字浜田字豊田地内

⑶　大会会長トロフィー返還式・監督会議

日　時　2026 年 10 月 10 日（土）　午後４時

場　所　安比プラザ ２階 プラザホール

〒028-7306 岩手県八幡平市安比高原

⑷　総合成績計算委員会

日　時　2026 年 10 月 13 日（火）　午後４時 40 分

場　所　盛運輸アリーナ

〒030-0843 青森県青森市大字浜田字豊田地内

⑸　総合表彰式

日　時　2026 年 10 月 13 日（火）　午後５時 30 分

場　所　盛運輸アリーナ

〒030-0843 青森県青森市大字浜田字豊田地内

競 技 日 程

競技役員全体会議　10月10日（土）　12:20～	盛運輸アリーナ
監　督　会　議　10月10日（土）　16：20～	岩手県八幡平市安比高原　安比プラザ ２階　プラザホール

会場：盛運輸アリーナ

	前　日	第1日	第2日	第3日	表彰式
	10月10日(土)	10月11日(日)	10月12日(月)	10月13日(火)	
成年男子	選手・監督受付 14：30～15：30 (安比プラザ ２階 プラザホール) 大会会長 トロフィー返還式 16：00～16：15 監督会議 16：20～17：00 (安比プラザ ２階 プラザホール)	ボルダー競技(B) 予　　選 9：30～11：57 ボルダー競技(B) 決　　勝 17：10～18：20	リード競技(L) 予　　選 11：30～16：35	リード競技(L) 決　　勝 11：00～11：50	ボルダー(B)表彰式 10/12(月) 16：50～17:10 リード(L)表彰式 10/13(火) 12：10～12：30
成年女子		ボルダー競技(B) 予　　選 13：15～15：48	リード競技(L) 予　　選 11：30～16：46	リード競技(L) 決　　勝 11：00～11：50 ボルダー競技(B) 決　　勝 14:00～15:10	リード(L)表彰式 10/13(火) 15：30～15：50 ボルダー(B)表彰式 10/13(火) 15：50～16：10
少年男子		リード競技(L) 予　　選 11：30～16：46	ボルダー競技(B) 予　　選 13：20～15：53	ボルダー競技(B) 決　　勝 9：30～10：40 リード競技(L) 決　　勝 15:30～16:20	ボルダー(B)表彰式 10/13(火) 11：00～11：20 リード(L)表彰式 10/13(火) 17：00～17：20
少年女子		リード競技(L) 予　　選 11：30～16：46	ボルダー競技(B) 予　　選 9：30～12：03 ボルダー競技(B) 決　　勝 17：15～18：25	リード競技(L) 決　　勝 15:30～16:20	ボルダー(B)表彰式 10/12(月) 18:40～19:00 リード(L)表彰式 10/13(火) 16:40～17:00

総合成績計算委員会	10月13日（火）	16：40～17：00	盛運輸アリーナ
総　合　表　彰　式	10月13日（火）	17：30～18：00	盛運輸アリーナ

大会会長トロフィー返還式・監督会議

開　催　日　　令和 8 年 10 月 10 日（土）
会　　場　　安比プラザ 2F プラザホール
受付時間　　14 時 30 分～15 時 30 分
開催時間　　16 時 00 分～17 時 00 分
出　席　者　　監督、競技会役員、競技役員
　　青の煌めきあおもり国スポ・障スポ青森市実行委員会

次　　第　　【大会会長トロフィー返還式】16 時 00 分～16 時 15 分
1. 開式通告
2. 大会会長トロフィー返還
3. レプリカ授与
4. 挨拶 (1) 競技会会長　　町田　幸男
(2) 青の煌めきあおもり国スポ・障スポ青森市実行委員会
会長　　西　秀記
(3) 競技会副会長　　服部　一雄

5. 競技開始宣言
6. 閉式通告

【監督会議】16 時 20 分～17 時 00 分
1. 開会
2. 競技会全般に係る事項
3. 競技運営に係る事項
4. 宿泊輸送に係る事項
5. 閉会
6. 諸連絡

種目別表彰式

会　　場　　盛運輸アリーナボルダーウォール前、盛運輸サンドーム
出　席　者　　選手・監督、競技会役員、競技役員
　　青の煌めきあおもり国スポ・障スポ青森市実行委員会
次　　第　　1.開式通告
　　2.成績発表
　　3.賞状、メダル授与
　　4.閉式通告

開　催　日

期日	種別	種目	時間	場所
10月12日(月)	成年男子	ボルダー	16時50分～17時10分	盛運輸サンドーム
	少年女子	ボルダー	18時40分～19時00分	
10月13日(火)	少年男子	ボルダー	11時00分～11時20分	
	成年男子	リード	12時10分～12時30分	
	成年女子	リード	15時30分～15時50分	
	成年女子	ボルダー	15時50分～16時10分	
	少年女子	リード	16時40分～17時00分	盛運輸アリーナ ボルダーウォール前
	少年男子	リード	17時00分～17時20分	

総合表彰式

開　催　日　　令和8年10月13日(火)
会　　場　　盛運輸アリーナボルダーウォール前
開催時間　　17時30分～18時00分
出　席　者　　選手、監督、競技会役員、競技役員
　　青の煌めきあおもり国スポ・障スポ青森市実行委員会
次　　第　　1. 開式通告
　　2. 総合成績発表
　　3. 表彰状授与
　　4. 大会会長トロフィー授与
　　5. 閉会のあいさつ
　　6. 歓送のことば
　　7. 競技会終了宣言
　　8. 国旗・大会旗・日本山岳・スポーツクライミング協会旗儀礼
　　9. 日本山岳・スポーツクライミング協会旗引き継ぎ
　　10. 次期開催県山岳連盟(会長)あいさつ
　　11. 閉式通告

競技の味方

スポーツクライミング競技会は、2名で1チームの団体競技です。競技は「リード競技」と「ボルダー競技」の2種目があり、2名がそれぞれ2種目を競技し、種目ごとにチーム順位をつけて競います。

リード競技

●競技概要

高さ12m以上、幅3m以上のクライミングウォール（人工壁）にルートセッターにより設定されたルートを登り、所定の時間内に到達した高さで順位が決まります。ルートを作成するために使用するホールド数は最大55～60個ほどで、途中の支点にロープをかけ安全を確保しながら登り、トップホールドに到達して最後の支点にロープをかけると「完登」となります。持久力が勝敗を分けるため、疲労をためない効率的な動きが結果を左右します。

●競技の進め方

選手全員が、競技の前に6分間だけルートを観察する「オブザベーション（下見）」を行います。その間にどう攻略するか考えなければなりません。予選においては、他の選手の登りを見ることや、予め撮影したデモンストレーションビデオを見ることができるフラッシュ方式が採用されています。決勝においては、他の選手の登りを見ることや外部との連絡によって情報を得ることは一切できないオンサイト方式で本番を待ちます。制限時間（6分）の間にスタートホールドから、トップホールド（終了点のホールド）まで登り、最後の支点にロープをかければ「完登」となります。途中で落下した場合は、その到達高度で終了となります。

●順位の決定方法

それぞれの選手の到達高度から個人順位を算出し、2名の個人順位を相乗し、その値が小さいチームが上位となります。

クライミング用語の解説

◇「ルートセッター」ウォールにホールドを取付、選手が登るルートを作成する人を指します。
◇「ホールド」壁から突起した手掛かり、足掛かりとなるもの。色や形も多種多様。持ちやすいもの、持ちづらいものがあり、これで課題の難しさを演出します。
◇「ハーネス」ロープを結ぶ安全ベルトのこと。
◇「課題」人工壁にホールドで構成された登るためのコースのこと。
◇「グレード」課題の難易度。ボルダーにおいて日本では主に段級位制が使われ、初級者の方は８～７級からで数が減ることで難易度が上がります。１級の次は初段、二段と段数が増えていきます。リードでは１１，１２，１３・・・と数字が大きくなると難しくなり、更に数字にａ～ｄが付き１１ａよりも１１ｄの方が難易度が高くなります。
◇「フラッシュ方式」下見をしたうえで登ること。
◇「オンサイト方式」初めて見たコースを一度で完登すること。

ボルダー競技

●競技概要

ボルダー競技は、高さ5m以下、幅6m程度のクライミングウォール2基（壁の傾斜や形状が異なる4面）の壁に取り付けられたホールドで構成される4つの課題をいくつ「完登」できるかを競います。リードクライミング競技（リード競技）と異なりロープを使わないので、地面には落下時の衝撃を緩衝するマットを敷いて競技を行います。

●競技の進め方

国スポでは1チーム2人1組で行います。中央から左に1基2課題、右に1基2課題が設定されており、2名の選手は、制限時間（5分間）の中でまず左側2課題を登ります。休憩を挟んで右側の2基目の2課題を同様に5分間で登ります。スタートホールドは、それぞれの課題によって異なる配置となっており、4点支持（四肢）によってスタートを切ります。トップホールドに両手で触れて姿勢を安定させれば「完登」となります。

●順位の決定方法

スタートのホールドから、終了点のホールドを両手で保持出来れば「完登」となります。完登が出来なくても、途中に設定してあるゾーンポイントのホールドを保持することによってゾーンポイントを得ることが出来ます。制限時間内であれば、途中で落ちても何度でも挑むこと（アテンプトすること）が出来ますが、同じ完登でもアテンプト数が少ないほど優位になります。チームの選手2名が4つの課題を登り、獲得した「完登数」「ゾーンポイント数」で順位が決まります。2名の個人順位を相乗し、その値が小さいチームが上位となります。

●特徴

ボルダー競技は、課題ごとに様々な動きが要求され、選手は瞬時の判断力と対応力が求められます。また、チームの選手同士で相談したり、登った選手がアドバイスすることもできるため、チーム力も必要になります。



リード



ボルダー

種　目　別　編　成　表

成年男子	1 北海道	2 青森県	3 岩手県	4 宮城県	5 秋田県	6 山形県	7 福島県	8 茨城県	9 栃木県	11 埼玉県	16 新潟県	17 長野県	18 富山県	19 石川県	20 福井県	23 三重県	27 大阪府	29 奈良県	31 鳥取県	35 山口県	25チーム
	37 徳島県	38 愛媛県	40 福岡県	41 佐賀県	46 鹿児島県															
成年女子	1 北海道	2 青森県	3 岩手県	4 宮城県	7 福島県	8 茨城県	11 埼玉県	12 千葉県	17 長野県	22 愛知県	23 三重県	25 滋賀県	26 京都府	27 大阪府	28 兵庫県	29 奈良県	30 和歌山県	31 鳥取県	32 島根県	33 岡山県	26チーム
	34 広島県	35 山口県	38 愛媛県	40 福岡県	41 佐賀県	45 宮崎県														
少年男子	1 北海道	2 青森県	3 岩手県	6 山形県	11 埼玉県	13 東京都	14 神奈川県	17 長野県	20 福井県	22 愛知県	27 大阪府	28 兵庫県	31 鳥取県	33 岡山県	36 香川県	37 徳島県	38 愛媛県	39 高知県	40 福岡県	41 佐賀県	26チーム
	42 長崎県	43 熊本県	44 大分県	45 宮崎県	46 鹿児島県	47 沖縄県														
少年女子	1 北海道	2 青森県	4 宮城県	5 秋田県	8 茨城県	9 栃木県	10 群馬県	11 埼玉県	12 千葉県	13 東京都	14 神奈川県	15 山梨県	17 長野県	19 石川県	21 静岡県	22 愛知県	23 三重県	24 岐阜県	26 京都府	27 大阪府	26チーム
	28 兵庫県	34 広島県	38 愛媛県	40 福岡県	41 佐賀県	42 長崎県														

都道府県別参加人員一覧表

地区	番号	都道府県	成年男子		成年女子		少年男子		少年女子		合計		総計
			監督	選手	監督	選手	監督	選手	監督	選手	監督	選手	
北	1	北海道	1	2	1	2	1	2	1	2	4	8	12
東北	2	青森県	1	2	1	2	1	2	1	2	4	8	12
	3	岩手県	1	2	1	2	1	2			3	6	9
	4	宮城県	1	2	1	2			1	2	3	6	9
	5	秋田県	1	2					1	2	2	4	6
	6	山形県	1	2			1	2			2	4	6
	7	福島県	1	2	1	2					2	4	6
関東	8	茨城県	1	2	1	2			1	2	3	6	9
	9	栃木県	1	2					1	2	2	4	6
	10	群馬県							1	2	1	2	3
	11	埼玉県	1	2	1	2	1	2	1	2	4	8	12
	12	千葉県			1	2			1	2	2	4	6
	13	東京都					1	2	1	2	2	4	6
	14	神奈川県					1	2	1	2	2	4	6
	15	山梨県							1	2	1	2	3
北信越	16	新潟県	1	2							1	2	3
	17	長野県	1	2	1	2	1	2	1	2	4	8	12
	18	富山県	1	2							1	2	3
	19	石川県	1	2					1	2	2	4	6
	20	福井県	1	2			1	2			2	4	6
東海	21	静岡県							1	2	1	2	3
	22	愛知県			1	2	1	2	1	2	3	6	9
	23	三重県	1	2	1	2			1	2	3	6	9
	24	岐阜県							1	2	1	2	3
近畿	25	滋賀県			1	2					1	2	3
	26	京都府			1	2			1	2	2	4	6
	27	大阪府	1	2	1	2	1	2	1	2	4	8	12
	28	兵庫県			1	2	1	2	1	2	3	6	9
	29	奈良県	1	2	1	2					2	4	6
	30	和歌山県			1	2					1	2	3
中国	31	鳥取県	1	2	1	2	1	2			3	6	9
	32	島根県			1	2					1	2	3
	33	岡山県			1	2	1	2			2	4	6
	34	広島県			1	2			1	2	2	4	6
	35	山口県	1	2	1	2					2	4	6
四国	36	香川県					1	2			1	2	3
	37	徳島県	1	2			1	2			2	4	6
	38	愛媛県	1	2	1	2	1	2	1	2	4	8	12
	39	高知県					1	2			1	2	3
九州	40	福岡県	1	2	1	2	1	2	1	2	4	8	12
	41	佐賀県	1	2	1	2	1	2	1	2	4	8	12
	42	長崎県					1	2	1	2	2	4	6
	43	熊本県					1	2			1	2	3
	44	大分県					1	2			1	2	3
	45	宮崎県			1	2	1	2			2	4	6
	46	鹿児島県	1	2			1	2			2	4	6
	47	沖縄県					1	2			1	2	3
合計			25	50	26	52	26	52	26	52	103	206	309

スポーツクライミング競技組合せ表

種目別組合せ表（競技順）

成年男子

	11日(日)		12日(月)	13日(火)
	ボルダー予選	ボルダー決勝	リード予選	リード決勝
受付開始	7:30	15:10	9:30	9:30
受付終了	9:00	16:10	10:30	10:30
選手紹介・オブザベーション	9:15	16:55	―	10:45
競技開始	9:30	17:10	11:30	11:00

予選/決勝	予選競技順	決勝競技順	予選Aルート競技順	予選Bルート競技順	決勝競技順
組合せ	1 山形県 2 鹿児島県 3 埼玉県 4 石川県 5 富山県 6 新潟県 7 茨城県 8 福島県 9 岩手県 10 鳥取県 11 奈良県 12 大阪府 13 宮城県 14 北海道 15 秋田県 16 三重県 17 福岡県 18 愛媛県 19 長野県 20 福井県 21 佐賀県 22 山口県 23 青森県 24 徳島県 25 栃木県	1 2 3 予選成績 4 により 5 1～8位 6 まで 7 8	1 愛媛県-1 26 福島県-2 2 長野県-1 27 鳥取県-2 3 宮城県-1 28 岩手県-2 4 山形県-1 29 奈良県-2 5 埼玉県-1 30 栃木県-2 6 福井県-1 31 秋田県-2 7 石川県-1 32 山口県-2 8 佐賀県-1 33 富山県-2 9 青森県-1 34 鹿児島県-2 10 福岡県-1 35 新潟県-2 11 北海道-1 36 茨城県-2 12 三重県-1 37 大阪府-2 13 福島県-1 38 徳島県-2 14 鳥取県-1 39 愛媛県-2 15 岩手県-1 40 長野県-2 16 奈良県-1 41 宮城県-2 17 栃木県-1 42 山形県-2 18 秋田県-1 43 埼玉県-2 19 山口県-1 44 福井県-2 20 富山県-1 45 石川県-2 21 鹿児島県-1 46 佐賀県-2 22 新潟県-1 47 青森県-2 23 茨城県-1 48 福岡県-2 24 大阪府-1 49 北海道-2 25 徳島県-1 50 三重県-2	1 福島県-2 26 愛媛県-1 2 鳥取県-2 27 長野県-1 3 岩手県-2 28 宮城県-1 4 奈良県-2 29 山形県-1 5 栃木県-2 30 埼玉県-1 6 秋田県-2 31 福井県-1 7 山口県-2 32 石川県-1 8 富山県-2 33 佐賀県-1 9 鹿児島県-2 34 青森県-1 10 新潟県-2 35 福岡県-1 11 茨城県-2 36 北海道-1 12 大阪府-2 37 三重県-1 13 徳島県-2 38 福島県-1 14 愛媛県-2 39 鳥取県-1 15 長野県-2 40 岩手県-1 16 宮城県-2 41 奈良県-1 17 山形県-2 42 栃木県-1 18 埼玉県-2 43 秋田県-1 19 福井県-2 44 山口県-1 20 石川県-2 45 富山県-1 21 佐賀県-2 46 鹿児島県-1 22 青森県-2 47 新潟県-1 23 福岡県-2 48 茨城県-1 24 北海道-2 49 大阪府-1 25 三重県-2 50 徳島県-1	1 2 3 予選成績 4 により 5 1～8位 6 まで 7 8

スポーツクライミング競技組合せ表

種目別組合せ表（競技順）

成年女子

	11日（日）	12日（月）	13日（火）	
	ボルダー予選	リード予選	リード決勝	ボルダー決勝
受付開始	11:15	9:30	9:30	12:00
受付終了	12:45	10:30	10:30	13:00
選手紹介・オブザベーション	13:00	―	10:45	13:45
競技開始	13:15	11:30	11:00	14:00

組合せ

予選/決勝	予選競技順	予選Aルート競技順		予選Bルート競技順		決勝競技順	決勝競技順
組合せ	1 岡山県	1 大阪府 -1	27 佐賀県 -2	1 佐賀県 -2	27 大阪府 -1	1	1
	2 北海道	2 三重県 -1	28 埼玉県 -2	2 埼玉県 -2	28 三重県 -1	2	2
	3 長野県	3 宮崎県 -1	29 島根県 -2	3 島根県 -2	29 宮崎県 -1	3 予選成績	3 予選成績
	4 奈良県	4 北海道 -1	30 山口県 -2	4 山口県 -2	30 北海道 -1	4 により	4 により
	5 岩手県	5 岩手県 -1	31 奈良県 -2	5 奈良県 -2	31 岩手県 -1	5 1～8位	5 1～8位
	6 滋賀県	6 福島県 -1	32 宮城県 -2	6 宮城県 -2	32 福島県 -1	6 まで	6 まで
	7 大阪府	7 茨城県 -1	33 愛媛県 -2	7 愛媛県 -2	33 茨城県 -1	7	7
	8 兵庫県	8 長野県 -1	34 福岡県 -2	8 福岡県 -2	34 長野県 -1	8	8
	9 京都府	9 鳥取県 -1	35 愛知県 -2	9 愛知県 -2	35 鳥取県 -1		
	10 福島県	10 青森県 -1	36 兵庫県 -2	10 兵庫県 -2	36 青森県 -1		
	11 千葉県	11 滋賀県 -1	37 千葉県 -2	11 千葉県 -2	37 滋賀県 -1		
	12 愛知県	12 和歌山県 -1	38 京都府 -2	12 京都府 -2	38 和歌山県 -1		
	13 青森県	13 広島県 -1	39 岡山県 -2	13 岡山県 -2	39 広島県 -1		
	14 宮城県	14 佐賀県 -1	40 大阪府 -2	14 大阪府 -2	40 佐賀県 -1		
	15 三重県	15 埼玉県 -1	41 三重県 -2	15 三重県 -2	41 埼玉県 -1		
	16 山口県	16 島根県 -1	42 宮崎県 -2	16 宮崎県 -2	42 島根県 -1		
	17 茨城県	17 山口県 -1	43 北海道 -2	17 北海道 -2	43 山口県 -1		
	18 愛媛県	18 奈良県 -1	44 岩手県 -2	18 岩手県 -2	44 奈良県 -1		
	19 福岡県	19 宮城県 -1	45 福島県 -2	19 福島県 -2	45 宮城県 -1		
	20 鳥取県	20 愛媛県 -1	46 茨城県 -2	20 茨城県 -2	46 愛媛県 -1		
	21 和歌山県	21 福岡県 -1	47 長野県 -2	21 長野県 -2	47 福岡県 -1		
	22 島根県	22 愛知県 -1	48 鳥取県 -2	22 鳥取県 -2	48 愛知県 -1		
	23 宮崎県	23 兵庫県 -1	49 青森県 -2	23 青森県 -2	49 兵庫県 -1		
	24 広島県	24 千葉県 -1	50 滋賀県 -2	24 滋賀県 -2	50 千葉県 -1		
	25 埼玉県	25 京都府 -1	51 和歌山県 -2	25 和歌山県 -2	51 京都府 -1		
	26 佐賀県	26 岡山県 -1	52 広島県 -2	26 広島県 -2	52 岡山県 -1		

スポーツクライミング競技組合せ表

種目別組合せ表（競技順）

少年男子

	11日(日)		12日(月)	13日(火)	
	リード予選		ボルダー予選	リード決勝	ボルダー決勝
受付開始	9:30		11:20	14:00	7:30
受付終了	10:30		12:50	15:00	8:30
選手紹介・オブザベーション	ー		13:05	15:15	9:15
競技開始	11:30		13:20	15:30	9:30
予選/決勝	予選Aルート競技順	予選Bルート競技順	予選競技順	決勝競技順	決勝競技順
組合せ	1 沖縄県 -1 2 大分県 -1 3 長崎県 -1 4 愛知県 -1 5 徳島県 -1 6 大阪府 -1 7 鹿児島県 -1 8 山形県 -1 9 佐賀県 -1 10 岡山県 -1 11 熊本県 -1 12 兵庫県 -1 13 宮崎県 -1 14 青森県 -1 15 福井県 -1 16 福岡県 -1 17 北海道 -1 18 神奈川県 -1 19 埼玉県 -1 20 岩手県 -1 21 愛媛県 -1 22 高知県 -1 23 東京都 -1 24 香川県 -1 25 鳥取県 -1 26 長野県 -1 27 青森県 -2 28 福井県 -2 29 福岡県 -2 30 北海道 -2 31 神奈川県 -2 32 埼玉県 -2 33 岩手県 -2 34 愛媛県 -2 35 高知県 -2 36 東京都 -2 37 香川県 -2 38 鳥取県 -2 39 長野県 -2 40 沖縄県 -2 41 大分県 -2 42 長崎県 -2 43 愛知県 -2 44 徳島県 -2 45 大阪府 -2 46 鹿児島県 -2 47 山形県 -2 48 佐賀県 -2 49 岡山県 -2 50 熊本県 -2 51 兵庫県 -2 52 宮崎県 -2	1 青森県 -2 2 福井県 -2 3 福岡県 -2 4 北海道 -2 5 神奈川県 -2 6 埼玉県 -2 7 岩手県 -2 8 愛媛県 -2 9 高知県 -2 10 東京都 -2 11 香川県 -2 12 鳥取県 -2 13 長野県 -2 14 沖縄県 -2 15 大分県 -2 16 長崎県 -2 17 愛知県 -2 18 徳島県 -2 19 大阪府 -2 20 鹿児島県 -2 21 山形県 -2 22 佐賀県 -2 23 岡山県 -2 24 熊本県 -2 25 兵庫県 -2 26 宮崎県 -2 27 沖縄県 -1 28 大分県 -1 29 長崎県 -1 30 愛知県 -1 31 徳島県 -1 32 大阪府 -1 33 鹿児島県 -1 34 山形県 -1 35 佐賀県 -1 36 岡山県 -1 37 熊本県 -1 38 兵庫県 -1 39 宮崎県 -1 40 青森県 -1 41 福井県 -1 42 福岡県 -1 43 北海道 -1 44 神奈川県 -1 45 埼玉県 -1 46 岩手県 -1 47 愛媛県 -1 48 高知県 -1 49 東京都 -1 50 香川県 -1 51 鳥取県 -1 52 長野県 -1	1 長野県 2 山形県 3 愛知県 4 愛媛県 5 福井県 6 鳥取県 7 香川県 8 佐賀県 9 宮崎県 10 鹿児島県 11 熊本県 12 岡山県 13 徳島県 14 兵庫県 15 大分県 16 埼玉県 17 青森県 18 大阪府 19 北海道 20 東京都 21 長崎県 22 高知県 23 神奈川県 24 福岡県 25 岩手県 26 沖縄県	1 2 3 予選成績 4 により 5 1～8位 6 まで 7 8	1 2 3 予選成績 4 により 5 1～8位 6 まで 7 8

スポーツクライミング競技組合せ表

種目別組合せ表（競技順）

少年女子

	11日（日）	12日（月）		13日（火）
	リード予選	ボルダー予選	ボルダー決勝	リード決勝
受付開始	9:30	7:30	15:15	14:00
受付終了	10:30	9:00	16:15	15:00
選手紹介・オブザベーション	―	9:15	17:00	15:15
競技開始	11:30	9:30	17:15	15:30

組合せ

予選Aルート競技順				予選Bルート競技順				予選競技順		決勝競技順		決勝競技順	
1	千葉県	-1	27 群馬県 -2	1	群馬県	-2	27 千葉県 -1	1	三重県	1		1	
2	宮城県	-1	28 北海道 -2	2	北海道	-2	28 宮城県 -1	2	宮城県	2		2	
3	茨城県	-1	29 広島県 -2	3	広島県	-2	29 茨城県 -1	3	長野県	3	予選成績	3	予選成績
4	佐賀県	-1	30 兵庫県 -2	4	兵庫県	-2	30 佐賀県 -1	4	群馬県	4	により	4	により
5	埼玉県	-1	31 石川県 -2	5	石川県	-2	31 埼玉県 -1	5	長崎県	5	1～8位	5	1～8位
6	大阪府	-1	32 山梨県 -2	6	山梨県	-2	32 大阪府 -1	6	愛知県	6	まで	6	まで
7	神奈川県	-1	33 栃木県 -2	7	栃木県	-2	33 神奈川県 -1	7	大阪府	7		7	
8	長崎県	-1	34 三重県 -2	8	三重県	-2	34 長崎県 -1	8	東京都	8		8	
9	愛媛県	-1	35 青森県 -2	9	青森県	-2	35 愛媛県 -1	9	静岡県				
10	福岡県	-1	36 静岡県 -2	10	静岡県	-2	36 福岡県 -1	10	千葉県				
11	長野県	-1	37 東京都 -2	11	東京都	-2	37 長野県 -1	11	兵庫県				
12	岐阜県	-1	38 愛知県 -2	12	愛知県	-2	38 岐阜県 -1	12	福岡県				
13	京都府	-1	39 秋田県 -2	13	秋田県	-2	39 京都府 -1	13	京都府				
14	群馬県	-1	40 千葉県 -2	14	千葉県	-2	40 群馬県 -1	14	佐賀県				
15	北海道	-1	41 宮城県 -2	15	宮城県	-2	41 北海道 -1	15	愛媛県				
16	広島県	-1	42 茨城県 -2	16	茨城県	-2	42 広島県 -1	16	青森県				
17	兵庫県	-1	43 佐賀県 -2	17	佐賀県	-2	43 兵庫県 -1	17	栃木県				
18	石川県	-1	44 埼玉県 -2	18	埼玉県	-2	44 石川県 -1	18	岐阜県				
19	山梨県	-1	45 大阪府 -2	19	大阪府	-2	45 山梨県 -1	19	石川県				
20	栃木県	-1	46 神奈川県 -2	20	神奈川県	-2	46 栃木県 -1	20	北海道				
21	三重県	-1	47 長崎県 -2	21	長崎県	-2	47 三重県 -1	21	広島県				
22	青森県	-1	48 愛媛県 -2	22	愛媛県	-2	48 青森県 -1	22	山梨県				
23	静岡県	-1	49 福岡県 -2	23	福岡県	-2	49 静岡県 -1	23	茨城県				
24	東京都	-1	50 長野県 -2	24	長野県	-2	50 東京都 -1	24	神奈川県				
25	愛知県	-1	51 岐阜県 -2	25	岐阜県	-2	51 愛知県 -1	25	埼玉県				
26	秋田県	-1	52 京都府 -2	26	京都府	-2	52 秋田県 -1	26	秋田県				

参加選手・監督一覧表

【成年男子】

◎印・・・監督

都道府県名 県番号		氏　名	勤務先・学校名
1	北海道	◎ 竹内　悠真	北海道警察
		1 坂本　大河	Next Gen Bouldering
		2 三浦　桜育	酪農学園大学
2	青森県	◎ 成田　純也	ストラグル
		1 松沢　修斗	青森県山岳連盟
		2 田澤　璃乙	青森大学
3	岩手県	◎ 畠山　晃	盛岡市立永井小学校（教）
		1 坂本　裕樹	クライミングジム ウォルラス
		2 本明　佳	岩手県立大学
4	宮城県	◎ 佐藤　優哉	IWANOKO
		1 佐々木　美怜	東北文化学園大学
		2 竹野　竜	東北管区警察局
5	秋田県	◎ 鈴木　大	トドクライミング
		1 佐々木　望雅	秋田県立秋田明徳館高等学校
		2 益子　駿	秋田大学
6	山形県	◎ 野間　啓太	山形県山岳連盟
		1 林　孝太朗	東北芸術工科大学
		2 栗田　瑛真	山形県山岳連盟
7	福島県	◎ 佐々木　香	Diverse Rock Climbing
		1 佐々木　玲偉	Diverse Rock Climbing
		2 橋本　桜欄	合同会社ロックランズ
8	茨城県	◎ 広畠　裕士	ヤマト科学株式会社
		1 今泉　結太	茨城県山岳連盟
		2 田中　慧樹	早稲田大学
9	栃木県	◎ 藤沼　秀行	(一社)栃木県山岳・スポーツクライミング連盟
		1 船木　陽	宇都宮スポーツ医療専門学校
		2 川又　玲瑛	(一社)栃木県山岳・スポーツクライミング連盟
11	埼玉県	◎ 道浦　陽司	久喜中央行政書士総合法務事務所
		1 百合クサ　碧皇	日新火災海上保険株式会社
		2 本間　大晴	小原歯車工業
16	新潟県	◎ 田中　勉	新潟県山岳協会
		1 田中　修太	新潟県山岳協会
		2 渡辺　颯海	株式会社博進堂
17	長野県	◎ 橋詰　正興	有限会社　鳥喜代
		1 岡本　怜大	長野県山岳協会
		2 京屋　仁	長野県山岳協会
18	富山県	◎ 中橋　沙羅	Blue・Sky株式会社
		1 畠山　奏大	平野電業株式会社
		2 伊藤　英視	平野電業株式会社

都道府県名 県番号		氏　名	勤務先・学校名
19	石川県	◎ 佐々木　拓	白山市立石川小学校（教）
		1 佐々木　亮太朗	トヨタ自動車株式会社
		2 小林　弘英	株式会社トランテックス
20	福井県	◎ 佐伯　和真	日栄商事㈱福井支店
		1 天笠　颯太	東洋染工株式会社
		2 楢﨑　明智	福井県山岳連盟
23	三重県	◎ 下總　彰仁	ClimbingSchoolHachuwall
		1 渡部　桂太	watalabo
		2 杉本　侑翼	近畿大学工業高等専門学校
27	大阪府	◎ 山田　航	ヤマテック・クライミング
		1 山口　賢人	一般社団法人大阪府山岳連盟
		2 藤脇　祐二	一般社団法人大阪府山岳連盟
29	奈良県	◎ 奥畑　勝康	キーボルダリング
		1 吉田　智音	摂南大学
		2 西田　秀聖	奈良県山岳連盟
31	鳥取県	◎ 西田　海斗	鳥取中部ふるさと広域連合琴浦消防署
		1 藤田　楓	摂南大学
		2 山根　柊馬	日本体育大学
35	山口県	◎ 村谷　卓之	山口県山岳・スポーツクライミング連盟
		1 石津　元崇	周南公立大学
		2 村田　昊輝	福岡市消防局南消防署
37	徳島県	◎ 山根　卓也	徳島県山岳連盟
		1 増田　凛世	阿南高専
		2 中山　勇希	近畿大学
38	愛媛県	◎ 青木　亮二	アスリートサポートジャパン
		1 清水　裕登	愛媛県競技力向上対策本部
		2 大政　涼	ダイキアクシス
40	福岡県	◎ 江上　泰浩	(株)タカギ
		1 緒方　良行	福岡県山岳・スポーツクライミング連盟
		2 緒方　万佐也	(公財)福岡県スポーツ協会
41	佐賀県	◎ 平川　直徳	唐津郵便局かんぽサービス部
		1 樋口　純裕	クライミングジム「PUMP2」
		2 中上　太斗	Team SAGA SPORT PYRAMID
46	鹿児島県	◎ 江口　智	鹿児島県立曽於高等学校(教)
		1 土肥　圭太	鹿児島県山岳・スポーツクライミング連盟
		2 川畑　イサム	鹿児島県山岳・スポーツクライミング連盟

参加選手・監督一覧表

【成年女子】

◎印・・・監督

都道府県名 県番号		氏　名	勤務先・学校名
1	北海道	◎ 高野　祐輔	HOMIE
		1 菊地　小百合	北海道山岳・スポーツクライミング連盟
		2 鈴木　花歩	北海道大学病院
2	青森県	◎ 中村　弘道	青森県山岳連盟
		1 関川　愛音	青森県競技力向上対策本部
		2 今井　春菜	ストラグル
3	岩手県	◎ 長谷川　健太	岩手県予防医学協会
		1 伊藤　ふたば	株式会社デンソー岩手
		2 中村　暖	岩手県立大学
4	宮城県	◎ 二郷　康範	クライミングジムビーナッツ　大崎古川
		1 濵田　絵里菜	宮城県山岳・スポーツクライミング協会
		2 萩澤　桂華	宮城県山岳・スポーツクライミング協会
7	福島県	◎ 國分　一樹	MOVEMENT Climbing Space
		1 滝口　萌	株式会社サンキュー
		2 氏家　沙耶香	公益財団法人星総合病院
8	茨城県	◎ 飯田　薫	茨城県山岳連盟
		1 村越　佳歩	筑波大学
		2 伊藤　悠	茨城県山岳連盟
11	埼玉県	◎ 川端　久美子	株式会社鷺宮製作所
		1 小池　はな	日本大学
		2 野部　七海	埼玉県山岳・スポーツクライミング協会
12	千葉県	◎ 阿部　雅史	千葉県立幕張総合高等学校（教）
		1 二宮　凜	Base Camp
		2 竹内　亜衣	筑波大学
17	長野県	◎ 小林　大祐	climbing center ARTWALL
		1 中嶋　諒	長野県山岳協会
		2 山田　泉都	東洋大学
22	愛知県	◎ 伊藤　千尋	名古屋学院大学(職)
		1 倉　菜々子	新東工業株式会社
		2 髙尾　知那	中京大学
23	三重県	◎ 小林　春彦	株式会社LIXIL
		1 小林　舞	摂南大学
		2 山　真奈実	（公財）三重県スポーツ協会
25	滋賀県	◎ 坪野　明日香	一般社団法人近畿健康管理センター
		1 石井　未来	公益財団法人滋賀県スポーツ協会
		2 張替　夢乃	公益財団法人滋賀県スポーツ協会
26	京都府	◎ 戸田　和樹	京都府立朱雀高等学校通信制（教）
		1 三浦　愛佳	京都大学大学院
		2 清水　萌翔	国立大学法人群馬大学

都道府県名 県番号		氏　名	勤務先・学校名
27	大阪府	◎ 赤尾　潤美	きのこケアプランセンター
		1 小田　菜摘	摂南大学
		2 中川　瑠	株式会社INPEX
28	兵庫県	◎ 方山　文生	兵庫県山岳連盟
		1 阪上　和香	関西学院大学
		2 加茂　優里	同志社大学
29	奈良県	◎ 岡本　季大	奈良県山岳連盟
		1 小倉　紗奈	奈良県山岳連盟
		2 抜井　美緒	摂南大学
30	和歌山県	◎ 大園　敬秀	日本製鉄　和歌山製鉄所
		1 右田　梨香子	株式会社　電算
		2 松本　梓穂	恩加島木材工業株式会社
31	鳥取県	◎ 瀬戸　啓太	鳥取中部ふるさと広域連合消防局
		1 高田　こころ	キャノンITソリューションズ株式会社
		2 高力　日南子	鳥取県立厚生病院
32	島根県	◎ 落合　浩司	島根イーグル（株）
		1 大谷　咲花	安田女子大学
		2 毛利　有希	中電環境テクノス（株）
33	岡山県	◎ 勝野　宏美	（公財）岡山県産業振興財団
		1 塚野　萌美	岡山大学(職)
		2 田畑　由希子	合同会社ココナッツ
34	広島県	◎ 錦織　宏美	中国電力ネットワーク㈱
		1 山下　真由	無印良品
		2 錦織　美里	呉市保健所
35	山口県	◎ 山縣　茜	山口県山岳・スポーツクライミング連盟
		1 大田　理裟	山口県山岳・スポーツクライミング連盟
		2 橋尾　芽依	周南公立大学
38	愛媛県	◎ 麻島　大悟	株式会社フジワラコーポレーション
		1 谷井　菜月	愛媛県競技力向上対策本部
		2 青柳　未愛	愛媛県競技力向上対策本部
40	福岡県	◎ 廣瀬　政廣	福岡県山岳・スポーツクライミング連盟
		1 田島　瑞歩	久留米大学
		2 太田　柚紀	北九州工業高等専門学校
41	佐賀県	◎ 陣内　健太	ひらまつ病院
		1 大河内　芹香	Team SAGA SPORT PYRAMID
		2 梶　絢香	医療福祉専門学校緑生館
45	宮崎県	◎ 川西　智子	川西牧場
		1 久米　乃ノ華	公益財団法人宮崎県スポーツ協会
		2 濵砂　想叶	（株）ANAラインメンテナンステクニクス

参加選手・監督一覧表

【少年男子】

◎印・・・監督

都道府県名 県番号		氏　名	勤務先・学校名
1	北海道	◎ 丸尾　高士朗	北海道山岳・スポーツクライミング連盟
		1 吉田　稀羅	北海道小樽桜陽高等学校
		2 下山　士和	札幌市立札幌清田高等学校
2	青森県	◎ 長畑　慶春	ストラグル
		1 濵谷　綾	青森県立弘前高等学校
		2 川守田　莉久	八戸工業大学第一高等学校
3	岩手県	◎ 舘岡　瑛	岩手県庁
		1 倉本　心温	岩手高等学校
		2 日野　徳治朗	岩手高等学校
6	山形県	◎ 本田　達	特定非営利活動法人アクションパーク米沢
		1 栗田　知世	山形県天童市立第二中学校
		2 青山　輝星	山形県立東桜学館高等学校
11	埼玉県	◎ 池田　俊吾	株式会社 Base Camp
		1 長森　晴	N高等学校
		2 石田　奏	星槎国際高等学校
13	東京都	◎ 渋谷　愛	東京都山岳連盟
		1 笹原　蓉翠	東京都立篠崎高等学校
		2 竹柴　勇吹	明治大学付属世田谷高等学校
14	神奈川県	◎ 高梨　護	(株)エスピージーフコク
		1 濱田　琉誠	県立鎌倉高等学校
		2 仲田　和樹	横浜高等学校
17	長野県	◎ 川嶋　一暢	白馬村地域包括支援センター
		1 鏑木　大河	佐久長聖高等学校
		2 佐藤　陽輝	松本県ケ丘高等学校
20	福井県	◎ 花村　岳志	信越マグネット
		1 古川　大智	福井県立武生高等学校
		2 八田　泰成	福井精華学園啓新高等学校
22	愛知県	◎ 伊藤　孝雄	小牧市消防署
		1 三宅　創樹	愛知県立天白高等学校
		2 中田　岳	愛知県立知多翔洋高等学校
27	大阪府	◎ 中貝　次郎	ナカガイクライミング株式会社
		1 中山　拓弥	近畿大学附属高等学校
		2 森芳　莉久	常翔啓光学園高等学校
28	兵庫県	◎ 中山　伸一	クライミングジムCOCOMO
		1 水谷　生	神戸山手グローバル高等学校
		2 坪井　大和	兵庫県立龍野高等学校
31	鳥取県	◎ 桑本　洋志	株式会社JA中央サービス琴浦自動車センター
		1 遠藤　笙源	鳥取県立米子南高等学校
		2 橋本　晟	鳥取城北高等学校

都道府県名 県番号		氏　名	勤務先・学校名
33	岡山県	◎ 古矢　拓真	津山工業高等専門学校(職)
		1 小野田　侑朔	山陽学園高等学校
		2 江見　昇真	津山市立津山東中学校
36	香川県	◎ 増田　辰文	四国電力送配電(株)
		1 長尾　一護	尽誠学園高等学校
		2 池田　輝士	高松中央高等学校
37	徳島県	◎ 小濱　愛	徳島県山岳連盟
		1 富永　楓	城西高校
		2 東條　海翔	城西高校
38	愛媛県	◎ 松友　崇浩	株式会社幸燿
		1 尾崎　莉王	愛媛県立松山工業高等学校
		2 木野本　恵輔	宇和島市立吉田中学校
39	高知県	◎ 山本　隆志	クライミングジム ストーンラブ
		1 角　泰知	高知県立高知国際高等学校
		2 角　介斗	高知市立義務教育学校 土佐山学舎
40	福岡県	◎ 富久　勝司	シンワライズ(株)
		1 竹下　慎太郎	福岡県立筑紫中央高等学校
		2 大石　須遥	福岡県立小郡高等学校
41	佐賀県	◎ 通谷　明徳	株式会社名村造船所
		1 河端　航大	佐賀県立多久高等学校
		2 通谷　幹	佐賀県立多久高等学校
42	長崎県	◎ 野田　政宏	長崎大学病院
		1 野田　蒼馬	長崎南山高等学校
		2 岩下　煌星	長崎県立佐世保工業高等学校
43	熊本県	◎ 松永　美穂	熊本県立かもと稲田支援学校(教)
		1 小西　充晃	熊本国府高等学校
		2 河津　椿人	飛鳥未来きずな高等学校熊本キャンパス
44	大分県	◎ 森　桂子	大分県山岳連盟
		1 森　葵	大分県立大分工業高等学校
		2 原　丈琉	大分県立別府鶴見丘高等学校
45	宮崎県	◎ 兼城　尚子	宮崎県スポーツクライミング協会
		1 谷　志琉	県立延岡工業高等学校
		2 兼城　清志朗	クラーク記念国際高等学校
46	鹿児島県	◎ 竹下　美紗紀	岸本博仁税理士事務所
		1 草宮　昊斗	鹿児島市立鹿児島玉龍高等学校
		2 鉾之原　英汰	学校法人神村学園高等部
47	沖縄県	◎ 大宜見　朝太	沖縄県山岳・スポーツクライミング連盟
		1 平良　拓磨	沖縄尚学高等学校
		2 宮城　昊	興南中学校

参加選手・監督一覧表

【少年女子】

◎印・・・監督

都道府県名 県番号		氏　名	勤務先・学校名
1	北海道	◎ 吉田　亜紀子	北海道山岳・スポーツクライミング連盟
		1 村上　和奏	北海道函館西高等学校
		2 星川　音希	函館市立五稜郭中学校
2	青森県	◎ 蒔苗　徹也	青森県高等学校体育連盟登山専門部
		1 中村　ほのか	八戸市立下長中学校
		2 濵谷　紗英	弘前大学教育学部附属中学校
4	宮城県	◎ 佐藤　祥満	東北高等学校（教）
		1 永山　凜乃	仙台市立柳生中学校
		2 菱沼　佳恵	東北高等学校
5	秋田県	◎ 斉藤　元	株式会社石井スポーツ
		1 木元　彩寧	秋田県立横手高等学校
		2 大山　真愛	秋田県立秋田南高等学校
8	茨城県	◎ 佐藤　正彦	茨城県山岳連盟
		1 山根　嘉穂	茨城県立牛久栄進高等学校
		2 中村　まりん	茨城県立勝田中等教育学校
9	栃木県	◎ 小菅　雅之	(株)ゼロクライム
		1 齋藤　紗里依	作新学院高等学校
		2 齋藤　真里依	宇都宮市立泉ヶ丘中学校
10	群馬県	◎ 白石　裕也	クライミングジム・ウォールストリート
		1 小柳　舞依	群馬県立前橋南高等学校
		2 小山　愛美	高崎市立佐野中学校
11	埼玉県	◎ 池田　弥沙	パーソルビジネスプロセスデザイン株式会社
		1 塗木　りん	狭山市立入間川中学校
		2 芋田　みつき	越谷市立北中学校
12	千葉県	◎ 西田　朱李	(一社)千葉県山岳・スポーツクライミング協会
		1 村杉　汐里	千葉県立幕張総合高等学校
		2 的場　朱杜	千葉県立国府台高等学校
13	東京都	◎ 美谷島　ももか	日本大学高等学校・中学校（職）
		1 山﨑　彩葉	成立学園高等学校
		2 松浦　朱希	東京都立芦花高等学校
14	神奈川県	◎ 仲村　賀央	日本調剤（株）
		1 木村　夏渚	横浜隼人中学校
		2 高橋　葉	横浜創英高校
15	山梨県	◎ 樗林　秀倫	山梨県山岳連盟
		1 勝俣　香乃	富士学苑高等学校
		2 渡邊　琥珀	河口湖南中学校組合立河口湖南中学校
17	長野県	◎ 橋本　今史	ウェルシア薬局株式会社
		1 徳嵩　悠乃	東京都市大学塩尻高等学校
		2 山田　娃和	松本美須々ケ丘高等学校

都道府県名 県番号		氏　名	勤務先・学校名
19	石川県	◎ 山本　俊和	ニッコー株式会社
		1 林　有沙	金沢学院大学附属高等学校
		2 新谷　和花	石川県立金沢錦丘高等学校
21	静岡県	◎ 岩田　幸裕	浜松学芸高等学校（教）
		1 狩野　凪	浜松学芸高等学校
		2 堀内　優里	おおぞら高等学院
22	愛知県	◎ 大山　史洋	（一社）愛知県山岳・スポーツクライミング連盟
		1 麦島　心花	中部大学春日丘高等学校
		2 長谷　美咲	安城市立篠目中学校
23	三重県	◎ 水谷　清彦	株式会社ADDICT
		1 本田　真央	大橋学園高等学校
		2 山口　怜美	鈴鹿市立千代崎中学校
24	岐阜県	◎ 堀田　太哉	株式会社日本環境管理センター
		1 岩田　のぶ葉	岐阜東高等学校
		2 竹中　華	池田町立池田中学校
26	京都府	◎ 清水　雅章	ローム株式会社
		1 西田　和桜	京都つくば開成高等学校
		2 村上　和香	京都精華学園高等学校
27	大阪府	◎ 堀　智忠	株式会社中野自動車
		1 西　美柚奈	四天王寺中学校
		2 横道　花凛	常翔啓光学園高等学校
28	兵庫県	◎ 田井　健太	兵庫県山岳連盟
		1 為則　星凛	兵庫県立姫路東高等学校
		2 玉水　希	N高等学校
34	広島県	◎ 妹尾　涼子	福山市スポーツ協会
		1 三宅　果乃	広島県立広島商業高等学校
		2 黒崎　結月	広島大学附属福山中学校
38	愛媛県	◎ 松木　康祐	公益財団法人えひめ海づくり基金
		1 渡邉　奏奈	今治精華高等学校
		2 久米　春衣	西条市立小松中学校
40	福岡県	◎ 白水　明美	森のぽかぽか保育園
		1 柳井　香凛	東福岡高等学校
		2 金生　心春	九州産業大学付属九州高等学校
41	佐賀県	◎ 楠田　淳史	株式会社三井化学オペレーションサービス 大牟田事業所
		1 樫山　愛未	佐賀県立多久高等学校
		2 中川内　心	佐賀県立多久高等学校
42	長崎県	◎ 安達　淳子	長崎県立諫早特別支援学校（教）
		1 長崎　恋羽	長崎県立長崎北高等学校
		2 西島　杏美	長崎県立長崎西高等学校

総 合 成 績 決 定 方 法 と 手 順

男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）は、競技得点と参加得点の合計とし、その多い都道府県に第１位から８位までを決定する。

ただし、同点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

（１） 競技得点

各種目とも、１位 24 点、２位 21 点、３位 18 点、４位 15 点、５位 12 点、６位９点、７位６点、８位３点の競技得点を与える。ただし、同点の場合は、その順位を共有し次の順位を欠位とする。なお、得点は次の順位のものを加え、当該都道府県で等分する。

（２） 参加得点

参加得点は 10 点とし、大会（ブロック大会を含む。）に参加した都道府県に与える。

ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

詳細は、JSPO が定める「大会参加得点の考え方について」（令和５年４月１日改正）のとおり。

決定の手順

種　別	種　目	天皇杯 種　別	皇后杯 種　別
成年男子	リード ボルダー	○ ○	－ －
成年女子	リード ボルダー	○ ○	○ ○
少年男子	リード ボルダー	○ ○	－ －
少年女子	リード ボルダー	○ ○	○ ○

種目順位及び得点

種目の高順位を決定する。ただし、同順位の場合はその順位を共有し、次の順位を欠位とする。
種目順位により
１位＝24 点　　２位＝21 点
３位＝18 点　　４位＝15 点
５位＝12 点　　６位＝ ９点
７位＝ ６点　　８位＝ ３点
を該当都道府県に与える。ただし、同点の場合は当該都道府県でその順位を共有し次の順位を欠位とする。
この場合次順位の得点を加えて当該都道府県で等分する。

参加都道府県（ブロック大会予選会を含む）に 10 点を与える。

参加得点

全競技得点

都道府県の種目得点を合計して、全競技得点とし、その得点順位により順位を決定する。ただし、同順位の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

合計

総 合 得 点

全競技得点に参加得点を加え、総合得点とする。したがって男女総合（天皇杯）得点の最高は 202 点、女子総合（皇后杯）得点の最高は 106 点となる。

※ 男女総合（天皇杯）得点　最高 202 点
※ 女子総合（皇后杯）得点　最高 106 点

種目得点表

【成年男子】

	区分 / 都道府県	リード			ボルダー		
		得点	順位	競技得点	得点	順位	競技得点
1	北海道						
2	青森県						
3	岩手県						
4	宮城県						
5	秋田県						
6	山形県						
7	福島県						
8	茨城県						
9	栃木県						
10	群馬県						
11	埼玉県						
12	千葉県						
13	東京都						
14	神奈川県						
15	山梨県						
16	新潟県						
17	長野県						
18	富山県						
19	石川県						
20	福井県						
21	静岡県						
22	愛知県						
23	三重県						
24	岐阜県						
25	滋賀県						
26	京都府						
27	大阪府						
28	兵庫県						
29	奈良県						
30	和歌山県						
31	鳥取県						
32	島根県						
33	岡山県						
34	広島県						
35	山口県						
36	香川県						
37	徳島県						
38	愛媛県						
39	高知県						
40	福岡県						
41	佐賀県						
42	長崎県						
43	熊本県						
44	大分県						
45	宮崎県						
46	鹿児島県						
47	沖縄県						

【成年女子】

	区分 / 都道府県	リード			ボルダー		
		得点	順位	競技得点	得点	順位	競技得点
1	北海道						
2	青森県						
3	岩手県						
4	宮城県						
5	秋田県						
6	山形県						
7	福島県						
8	茨城県						
9	栃木県						
10	群馬県						
11	埼玉県						
12	千葉県						
13	東京都						
14	神奈川県						
15	山梨県						
16	新潟県						
17	長野県						
18	富山県						
19	石川県						
20	福井県						
21	静岡県						
22	愛知県						
23	三重県						
24	岐阜県						
25	滋賀県						
26	京都府						
27	大阪府						
28	兵庫県						
29	奈良県						
30	和歌山県						
31	鳥取県						
32	島根県						
33	岡山県						
34	広島県						
35	山口県						
36	香川県						
37	徳島県						
38	愛媛県						
39	高知県						
40	福岡県						
41	佐賀県						
42	長崎県						
43	熊本県						
44	大分県						
45	宮崎県						
46	鹿児島県						
47	沖縄県						

種目得点表

【少年男子】

	区分 / 都道府県	リード			ボルダー		
		得点	順位	競技得点	得点	順位	競技得点
1	北海道						
2	青森県						
3	岩手県						
4	宮城県						
5	秋田県						
6	山形県						
7	福島県						
8	茨城県						
9	栃木県						
10	群馬県						
11	埼玉県						
12	千葉県						
13	東京都						
14	神奈川県						
15	山梨県						
16	新潟県						
17	長野県						
18	富山県						
19	石川県						
20	福井県						
21	静岡県						
22	愛知県						
23	三重県						
24	岐阜県						
25	滋賀県						
26	京都府						
27	大阪府						
28	兵庫県						
29	奈良県						
30	和歌山県						
31	鳥取県						
32	島根県						
33	岡山県						
34	広島県						
35	山口県						
36	香川県						
37	徳島県						
38	愛媛県						
39	高知県						
40	福岡県						
41	佐賀県						
42	長崎県						
43	熊本県						
44	大分県						
45	宮崎県						
46	鹿児島県						
47	沖縄県						

【少年女子】

	区分 / 都道府県	リード			ボルダー		
		得点	順位	競技得点	得点	順位	競技得点
1	北海道						
2	青森県						
3	岩手県						
4	宮城県						
5	秋田県						
6	山形県						
7	福島県						
8	茨城県						
9	栃木県						
10	群馬県						
11	埼玉県						
12	千葉県						
13	東京都						
14	神奈川県						
15	山梨県						
16	新潟県						
17	長野県						
18	富山県						
19	石川県						
20	福井県						
21	静岡県						
22	愛知県						
23	三重県						
24	岐阜県						
25	滋賀県						
26	京都府						
27	大阪府						
28	兵庫県						
29	奈良県						
30	和歌山県						
31	鳥取県						
32	島根県						
33	岡山県						
34	広島県						
35	山口県						
36	香川県						
37	徳島県						
38	愛媛県						
39	高知県						
40	福岡県						
41	佐賀県						
42	長崎県						
43	熊本県						
44	大分県						
45	宮崎県						
46	鹿児島県						
47	沖縄県						

総合成績一覧表

区分 / 都道府県		成年男子 競技得点		成年女子 競技得点		少年男子 競技得点		少年女子 競技得点		競技得点合計	男女総合成績（天皇杯得点）				女子総合成績（皇后杯得点）			
		リード	ボルダー	リード	ボルダー	リード	ボルダー	リード	ボルダー		算出基礎 競技得点	算出基礎 参加得点	合計	順位	算出基礎 競技得点	算出基礎 参加得点	合計	順位
1	北海道											10				10		
2	青森県											10				10		
3	岩手県											10				10		
4	宮城県											10				10		
5	秋田県											10				10		
6	山形県											10				10		
7	福島県											10				10		
8	茨城県											10				10		
9	栃木県											10				10		
10	群馬県											10				10		
11	埼玉県											10				10		
12	千葉県											10				10		
13	東京都											10				10		
14	神奈川県											10				10		
15	山梨県											10				10		
16	新潟県											10				10		
17	長野県											10				10		
18	富山県											10				10		
19	石川県											10				10		
20	福井県											10				10		
21	静岡県											10				10		
22	愛知県											10				10		
23	三重県											10				10		
24	岐阜県											10				10		
25	滋賀県											10				10		
26	京都府											10				10		
27	大阪府											10				10		
28	兵庫県											10				10		
29	奈良県											10				10		
30	和歌山県											10				10		
31	鳥取県											10				10		
32	島根県											10				10		
33	岡山県											10				10		
34	広島県											10				10		
35	山口県											10				10		
36	香川県											10				10		
37	徳島県											10				10		
38	愛媛県											10				10		
39	高知県											10				10		
40	福岡県											10				10		
41	佐賀県											10				10		
42	長崎県											10				10		
43	熊本県											10				10		
44	大分県											10				10		
45	宮崎県											10				10		
46	鹿児島県											10				10		
47	沖縄県											10				10		

過去の成績一覧表（天皇杯・皇后杯順位）

順位 開催県	区分	1　位	2　位	3　位	4　位	5　位	6　位	7　位	8　位
第５４回 （熊本県）	天皇杯	熊本県	広島県	山口県	長崎県	京都府	福島県	三重県	岩手県
	皇后杯	熊本県	京都府	山口県	三重県	福島県 広島県	・・・・	宮城県 長崎県	・・・・
第５５回 （富山県）	天皇杯	富山県	京都府	広島県	山口県	岩手県	静岡県	神奈川県	福島県
	皇后杯	富山県	京都府	広島県	山口県	東京都	福島県	大阪府 長崎県	・・・・
第５６回 （宮城県）	天皇杯	宮城県	福島県	京都府	神奈川県	山口県	長崎県	岩手県 広島県	・・・・
	皇后杯	宮城県	京都府	福島県	広島県	長崎県	神奈川県 富山県	・・・・	山口県
第５７回 （高知県）	天皇杯	山口県	静岡県	京都府	岩手県	神奈川県	千葉県 東京都 高知県	・・・・	・・・・
	皇后杯	京都府	東京都 高知県	・・・・	山口県	千葉県	神奈川県 広島県	・・・・	山形県 香川県
第５８回 （静岡県）	天皇杯	静岡県	千葉県 京都府	・・・・	鳥取県	熊本県	新潟県 大阪府	・・・・	神奈川県 山口県 長崎県
	皇后杯	静岡県	京都府	熊本県	鳥取県	長崎県	茨城県 千葉県 岡山県 山口県	・・・・	・・・・
第５９回 （埼玉県）	天皇杯	埼玉県	長崎県	千葉県	神奈川県	京都府 鳥取県	・・・・	北海道	茨城県 山口県
	皇后杯	埼玉県	京都府	長崎県	千葉県	鳥取県 山口県	・・・・	北海道 神奈川県	・・・・
第６０回 （岡山県）	天皇杯	岡山県	千葉県	京都府	長崎県	宮城県	鳥取県	熊本県	愛知県 山口県
	皇后杯	京都府	岡山県	千葉県	長崎県	鳥取県 山口県	・・・・	熊本県	兵庫県
第６１回 （兵庫県）	天皇杯	兵庫県	千葉県	秋田県	京都府	宮城県	神奈川県	高知県 長崎県	・・・・
	皇后杯	千葉県 兵庫県 高知県	・・・・	・・・・	秋田県 熊本県	・・・・	宮城県 長崎県	・・・・	北海道 鳥取県
第６２回 （秋田県）	天皇杯	宮城県 秋田県	・・・・	長崎県	鳥取県	山口県	千葉県 静岡県	・・・・	神奈川県
	皇后杯	山口県 長崎県	・・・・	宮城県 秋田県	・・・・	静岡県	千葉県 鳥取県 熊本県	・・・・	・・・・
第６３回 （大分県）	天皇杯	宮城県	千葉県	北海道	山口県	神奈川県	佐賀県	茨城県	愛知県
	皇后杯	茨城県	山口県	富山県	北海道	宮城県	愛知県	埼玉県	大分県
第６４回 （新潟県）	天皇杯	千葉県	宮城県	茨城県	山口県	神奈川県	大阪府	栃木県	北海道 長野県
	皇后杯	茨城県	山口県	千葉県	宮城県	大阪府	山梨県	神奈川県	静岡県
第６５回 （千葉県）	天皇杯	千葉県	宮城県	山口県	北海道	神奈川県	山梨県	埼玉県	栃木県 岡山県
	皇后杯	千葉県	山口県	宮城県	茨城県 大阪府	・・・・	埼玉県 神奈川県	・・・・	北海道 岩手県 山梨県 兵庫県
第６６回 （山口県）	天皇杯	千葉県	山口県	長崎県	岐阜県	北海道 兵庫県	・・・・	茨城県 東京都 岡山県 広島県	・・・・
	皇后杯	山口県	千葉県	岐阜県	兵庫県	長崎県	東京都	北海道 福岡県	・・・・
第６７回 （岐阜県）	天皇杯	千葉県	北海道	山口県	埼玉県	岐阜県	栃木県 長崎県	・・・・	長野県
	皇后杯	千葉県	北海道	茨城県 埼玉県 岐阜県	・・・・	・・・・	兵庫県 山口県	・・・・	栃木県
第６８回 （東京都）	天皇杯	埼玉県 東京都	・・・・	千葉県	山口県	北海道	長崎県	長野県 三重県	・・・・
	皇后杯	東京都	山口県	北海道 三重県	・・・・	埼玉県	千葉県	栃木県	山梨県
第６９回 （長崎県）	天皇杯	千葉県	三重県	岐阜県	山口県	北海道 大阪府	・・・・	埼玉県 長野県 長崎県	・・・・
	皇后杯	千葉県	長崎県 三重県	・・・・	宮城県 東京都	・・・・	山口県	山梨県 岐阜県	・・・・
第７０回 （和歌山県）	天皇杯	埼玉県	山口県	千葉県	長崎県	北海道	大阪府	栃木県	福岡県 佐賀県
	皇后杯	長崎県	埼玉県	愛知県	山口県	東京都	千葉県 静岡県 鳥取県	・・・・	・・・・

順位 開催県	区分	1　位	2　位	3　位	4　位	5　位	6　位	7　位	8　位
第７１回 (岩手県)	天皇杯	埼玉県	茨城県	長崎県	千葉県	大阪府	岩手県 鳥取県	・・・・	東京都
	皇后杯	長崎県	埼玉県	茨城県	鳥取県	山口県	東京都	宮城県 千葉県 大阪府	・・・・
第７２回 (愛媛県)	天皇杯	埼玉県	大阪府	東京都	福岡県	福井県 愛知県	・・・・	岩手県 栃木県	・・・・
	皇后杯	東京都	福井県	岩手県	山口県	大阪府	北海道 愛知県	・・・・	三重県 長崎県
第７３回 (福井県)	天皇杯	茨城県	埼玉県	福井県	東京都	神奈川県	大阪府	栃木県 愛知県	・・・・
	皇后杯	茨城県	東京都	福井県	大阪府	愛知県 三重県 長崎県	・・・・	・・・・	神奈川県
第７4回 (茨城県)	天皇杯	茨城県	埼玉県	愛知県	東京都 岐阜県	・・・・	大阪府	北海道	福井県
	皇后杯	茨城県	東京都 愛知県	・・・・	大阪府	福島県	埼玉県	山口県	福井県 長崎県
第７５回 (鹿児島県)	天皇杯	延期							
	皇后杯								
第７６回 (三重県)	天皇杯	中止							
	皇后杯								
第７７回 (栃木県)	天皇杯	千葉県	東京都	栃木県	大阪府	佐賀県	茨城県	三重県	埼玉県
	皇后杯	千葉県	埼玉県 東京都	・・・・	茨城県 静岡県 大阪府	・・・・	・・・・	福井県	佐賀県
特　別 (鹿児島)	天皇杯	佐賀県	東京都	大阪府	奈良県	栃木県	埼玉県	三重県	愛知県
	皇后杯	東京都	大阪府	埼玉県 愛知県	・・・・	佐賀県	静岡県 三重県	・・・・	茨城県 滋賀県
第７8回 (佐賀県)	天皇杯	東京都	佐賀県	神奈川県	埼玉県 奈良県	・・・・	三重県	千葉県	栃木県
	皇后杯	東京都	千葉県	埼玉県	滋賀県	静岡県	大阪府	長野県	神奈川県 佐賀県
第７9回 (滋賀県)	天皇杯	東京都	三重県 奈良県	・・・・	大阪府	静岡県	神奈川県 千葉県 滋賀県 佐賀県	・・・・	・・・・
	皇后杯	東京都	大阪府	滋賀県	千葉県	長野県	静岡県	三重県	奈良県

過去の成績一覧表（種別・種目別順位）

区	分			1位	2位	3位
第５４回（熊本県）	種別		成年男子	熊本県	岩手県	山口県
			成年女子	熊本県	京都府	三重県
			少年男子	熊本県	広島県	福島県
						長崎県
			少年女子	山口県	熊本県	京都府
	種目別	縦走競技	成年男子	群馬県	福島県	熊本県
			成年女子	京都府	熊本県	山形県
			少年男子	熊本県	長野県	広島県
			少年女子	京都府	熊本県	山口県
		踏査競技	成年男子	熊本県	山口県	神奈川県
			成年女子	熊本県	京都府	宮城県
			少年男子	広島県	熊本県	長崎県
			少年女子	山口県	福岡県	熊本県
		登攀競技	成年男子	埼玉県	千葉県	岩手県
			成年女子	千葉県	群馬県	兵庫県
第５５回（富山県）	種別		成年男子	岩手県	広島県	富山県
			成年女子	広島県	東京都	・・・
					京都府	
			少年男子	富山県	山口県	岩手県
						京都府
			少年女子	富山県	山口県	福島県
	種目別	縦走競技	成年男子	群馬県	神奈川県	大分県
			成年女子	広島県	京都府	東京都
			少年男子	富山県	山口県	福島県
			少年女子	富山県	山口県	福島県
		踏査競技	成年男子	長崎県	福井県	群馬県
			成年女子	京都府	広島県	東京都
			少年男子	富山県	山口県	京都府
			少年女子	富山県	山口県	福島県
		登攀競技	成年男子	埼玉県	石川県	広島県
			成年女子	大阪府	群馬県	富山県
第５６回（宮城県）	種別		成年男子	福島県	岩手県	宮城県
			成年女子	宮城県	広島県	京都府
			少年男子	宮城県	・・・	山口県
				福島県		
			少年女子	宮城県	京都府	長崎県
	種目別	縦走競技	成年男子	福島県	徳島県	大分県
			成年女子	京都府	神奈川県	広島県
			少年男子	宮城県	福島県	熊本県
			少年女子	京都府	宮城県	福島県
		踏査競技	成年男子	宮城県	福島県	群馬県
			成年女子	宮城県	京都府	福島県
			少年男子	群馬県	山口県	福島県
			少年女子	宮城県	長崎県	京都府
		登攀競技	成年男子	埼玉県	千葉県	大阪府
			成年女子	宮城県	富山県	神奈川県
第５７回（高知県）	種別		成年男子	福島県	静岡県	山口県
			成年女子	東京都	・・・	神奈川県
				京都府		広島県
			少年男子	山口県	静岡県	岩手県
						埼玉県
			少年女子	京都府	山口県	千葉県
	種目別	縦走競技	成年男子	神奈川県	群馬県	福島県
			成年女子	広島県	高知県	神奈川県
			少年男子	鳥取県	岩手県	静岡県
			少年女子	京都府	高知県	熊本県
		クライミング競技	成年男子	千葉県	大阪府	埼玉県
			成年女子	東京都	山形県	静岡県
			少年男子	埼玉県	山口県	滋賀県
			少年女子	千葉県	香川県	京都府

区	分			1位	2位	3位
第５８回（静岡県）	種目別	縦走競技	成年男子	福島県	神奈川県	群馬県
			成年女子	岡山県	長野県	広島県
			少年男子	新潟県	宮崎県	岩手県
			少年女子	鳥取県	京都府	熊本県
		クライミング競技	成年男子	千葉県	東京都	大阪府
			成年女子	静岡県	大阪府	埼玉県
			少年男子	京都府	千葉県	静岡県
			少年女子	茨城県	静岡県	山口県
第５９回（埼玉県）	種目別	縦走競技	成年男子	群馬県	福島県	静岡県
			成年女子	京都府	山口県	埼玉県
			少年男子	長崎県	神奈川県	鳥取県
			少年女子	鳥取県	京都府	高知県
		クライミング競技	成年男子	千葉県	埼玉県	茨城県
			成年女子	埼玉県	福岡県	千葉県
			少年男子	埼玉県	佐賀県	北海道
			少年女子	北海道	茨城県	長崎県
第６０回（岡山県）	種目別	縦走競技	成年男子	香川県	群馬県	熊本県
			成年女子	岡山県	山口県	千葉県
			少年男子	岡山県	秋田県	鳥取県
			少年女子	鳥取県	岡山県	新潟県
		クライミング競技	成年男子	千葉県	愛知県	宮城県
			成年女子	京都府	千葉県	長崎県
			少年男子	京都府	埼玉県	宮城県
			少年女子	京都府	北海道	兵庫県
第６１回（兵庫県）	種目別	縦走競技	成年男子	神奈川県	福島県	兵庫県
			成年女子	秋田県	長崎県	神奈川県
			少年男子	岩手県	静岡県	兵庫県
			少年女子	高知県	鳥取県	熊本県
		クライミング競技	成年男子	愛知県	千葉県	宮城県
			成年女子	兵庫県	宮城県	京都府
			少年男子	栃木県	京都府	山口県
			少年女子	千葉県	埼玉県	熊本県
第６２回（秋田県）	種目別	縦走競技	成年男子	秋田県	山梨県	静岡県
			成年女子	秋田県	山口県	神奈川県
			少年男子	岡山県	秋田県	神奈川県
			少年女子	鳥取県	秋田県	長崎県
		クライミング競技	成年男子	千葉県	岡山県	愛知県
			成年女子	宮城県	長崎県	千葉県
			少年男子	栃木県	北海道	宮城県
			少年女子	山口県	静岡県	富山県
第６３回（大分県）	種目別	リード競技	成年男子	宮城県	千葉県	栃木県
			成年女子	茨城県	愛知県	宮城県
			少年男子	佐賀県	千葉県	長野県
			少年女子	富山県	山口県	大分県
		ボルダリング競技	成年男子	宮城県	滋賀県	山口県
			成年女子	茨城県	北海道	埼玉県
			少年男子	神奈川県	北海道	岩手県
			少年女子	山口県	千葉県	山梨県
第６４回（新潟県）	種目別	リード競技	成年男子	栃木県	千葉県	宮城県
			成年女子	大阪府	宮城県	神奈川県
			少年男子	岩手県	千葉県	長野県
			少年女子	山口県	茨城県	山梨県
		ボルダリング競技	成年男子	宮城県	栃木県	広島県
			成年女子	茨城県	宮城県	大阪府
			少年男子	長野県	千葉県	北海道
			少年女子	山口県	茨城県	山梨県

区分				1位	2位	3位
第６５回（千葉県）	種目別	リード競技	成年男子	宮城県	千葉県	栃木県
			成年女子	神奈川県	宮城県	大阪府
			少年男子	千葉県	山口県	静岡県
			少年女子	山口県	千葉県	茨城県
		ボルダリング競技	成年男子	栃木県	北海道	宮城県
			成年女子	北海道	岩手県	宮城県
			少年男子	千葉県	山梨県	神奈川県
			少年女子	山口県	千葉県	埼玉県
第６６回（山口県）	種目別	リード競技	成年男子	千葉県	佐賀県	岡山県
			成年女子	兵庫県	千葉県	山口県
			少年男子	千葉県	山口県	茨城県
			少年女子	山口県	千葉県	岐阜県
		ボルダリング競技	成年男子	北海道	長崎県	滋賀県
			成年女子	北海道	兵庫県	東京都
			少年男子	千葉県	山口県	和歌山県
			少年女子	山口県	岐阜県	千葉県
第６７回（岐阜県）	種目別	リード競技	成年男子	長野県	千葉県	長崎県
			成年女子	岐阜県	茨城県	長崎県
			少年男子	埼玉県	千葉県	岐阜県
			少年女子	千葉県	埼玉県	北海道
		ボルダリング競技	成年男子	佐賀県	長野県	北海道
			成年女子	山口県	茨城県	北海道
			少年男子	山口県	千葉県	鳥取県
			少年女子	千葉県	埼玉県	栃木県
第６８回（東京都）	種目別	リード競技	成年男子	長野県	長崎県	神奈川県
			成年女子	山口県	千葉県	長崎県
			少年男子	埼玉県	千葉県	茨城県
			少年女子	三重県	東京都	栃木県
		ボルダリング競技	成年男子	愛知県	長野県	神奈川県
			成年女子	東京都	山口県	山梨県
			少年男子	埼玉県	大阪府	岐阜県
			少年女子	埼玉県	三重県	東京都
第６９回（長崎県）	種目別	リード競技	成年男子	長野県	神奈川県	静岡県
			成年女子	山口県	千葉県	宮城県
			少年男子	福岡県	栃木県	埼玉県
			少年女子	三重県	千葉県	東京都
		ボルダリング競技	成年男子	長野県	大阪府	三重県
			成年女子	宮城県	千葉県	北海道
			少年男子	栃木県	埼玉県	岐阜県
			少年女子	東京都	三重県	長崎県
第７０回（和歌山県）	種目別	リード競技	成年男子	千葉県	佐賀県	栃木県
			成年女子	山口県	埼玉県	静岡県
			少年男子	埼玉県	福岡県	大阪府
			少年女子	愛知県	東京都	千葉県
		ボルダリング競技	成年男子	大分県	栃木県	千葉県
			成年女子	埼玉県	長崎県	山口県
			少年男子	福岡県	埼玉県	大阪府
			少年女子	長崎県	鳥取県	愛知県
第７１回（岩手県）	種目別	リード競技	成年男子	埼玉県	茨城県	千葉県
			成年女子	茨城県	山口県	埼玉県
			少年男子	岩手県	東京都	埼玉県
			少年女子	長崎県	鳥取県	大阪府
		ボルダリング競技	成年男子	千葉県	福岡県	栃木県
			成年女子	茨城県	東京都	山口県
			少年男子	大阪府	岩手県	埼玉県
			少年女子	鳥取県	長崎県	埼玉県

区分				1位	2位	3位
第７２回（愛媛県）	種目別	リード競技	成年男子	愛媛県	大阪府	埼玉県
			成年女子	福井県	三重県	山口県
			少年男子	栃木県	福岡県	新潟県
			少年女子	大阪府	岩手県	東京都
		ボルダリング競技	成年男子	大阪府	和歌山県	岐阜県
			成年女子	福井県	山口県	北海道
			少年男子	埼玉県	栃木県	茨城県
			少年女子	岩手県	東京都	愛知県
第７３回（福井県）	種目別	リード競技	成年男子	埼玉県	佐賀県	茨城県
			成年女子	茨城県	三重県	福井県
			少年男子	愛媛県	滋賀県	埼玉県
			少年女子	東京都	茨城県	大阪府
		ボルダリング競技	成年男子	埼玉県	福井県	岐阜県
			成年女子	長崎県	東京都	茨城県
			少年男子	栃木県	埼玉県	北海道
			少年女子	神奈川県	愛知県	大阪府
第７4回（茨城県）	種目別	リード競技	成年男子	佐賀県	埼玉県	福井県
			成年女子	大阪府	茨城県	愛知県
			少年男子	岐阜県	滋賀県	奈良県
			少年女子	東京都	茨城県	大阪府
		ボルダリング競技	成年男子	岐阜県	北海道	三重県
			成年女子	愛知県	茨城県	長崎県
			少年男子	栃木県	埼玉県	岐阜県
			少年女子	東京都	茨城県	福島県
第７５回（鹿児島県）	延期					
第７６回（三重県）	中止					
第７７回（栃木県）	種目別	リード競技	成年男子	千葉県	佐賀県	鳥取県
			成年女子	茨城県	東京都	千葉県
			少年男子	山口県	東京都	千葉県
			少年女子	大阪府	埼玉県	静岡県
		ボルダリング競技	成年男子	大阪府	鹿児島県	栃木県
			成年女子	東京都	千葉県	佐賀県
			少年男子	東京都	三重県	佐賀県
			少年女子	埼玉県	静岡県	栃木県
特別（鹿児島県）	種目別	リード競技	成年男子	佐賀県	千葉県	奈良県
			成年女子	東京都	愛知県	佐賀県
			少年男子	山口県	佐賀県	神奈川県
			少年女子	大阪府	東京都	静岡県
		ボルダー競技	成年男子	栃木県	大阪府	奈良県
			成年女子	東京都	埼玉県	愛知県
			少年男子	佐賀県	兵庫県	三重県
			少年女子	茨城県	大阪府	青森県
第７８回（佐賀県）	種目別	リード競技	成年男子	佐賀県	新潟県	奈良県
			成年女子	東京都	大阪府	千葉県
			少年男子	佐賀県	栃木県	高知県
			少年女子	大阪府	埼玉県	静岡県
		ボルダー競技	成年男子	栃木県	三重県	愛媛県
			成年女子	滋賀県	神奈川県	千葉県
			少年男子	神奈川県	佐賀県	三重県
			少年女子	東京都	埼玉県	静岡県

区分				1位	2位	3位
第７９回（滋賀県）	種目別	リード競技	成年男子	佐賀県	奈良県	埼玉県
			成年女子	東京都	愛媛県	滋賀県
			少年男子	神奈川県	東京都	福井県
			少年女子	千葉県	大阪府	三重県
		ボルダー競技	成年男子	福井県	三重県	栃木県
			成年女子	奈良県	東京都	滋賀県
			少年男子	神奈川県	東京都	三重県
			少年女子	長野県	静岡県	兵庫県

関係機関連絡先（青森市）

実行委員会事務局

名称	所在地	電話番号
青の煌めきあおもり国スポ・ 障スポ青森市実行委員会	青森市柳川二丁目１－１	017-761-4462

競技会場

名称	所在地	電話番号
盛運輸アリーナ	青森市浜田字豊田地内	017-739-9500

警察・消防・保健所

名称	所在地	電話番号
青森県警察　青森警察署	青森市安方二丁目１５－９	017-723-0110
青森地域広域事務組合 消防本部	青森市長島二丁目１－１	017-775-0853
青森市保健所	青森市佃二丁目１９－１３	017-765-5280

医療

名称	備考	ＱＲコード
医療情報ネット（ナビィ）	右記ＱＲコードまたは、 「医療情報ネット（ナビィ）」で検索	

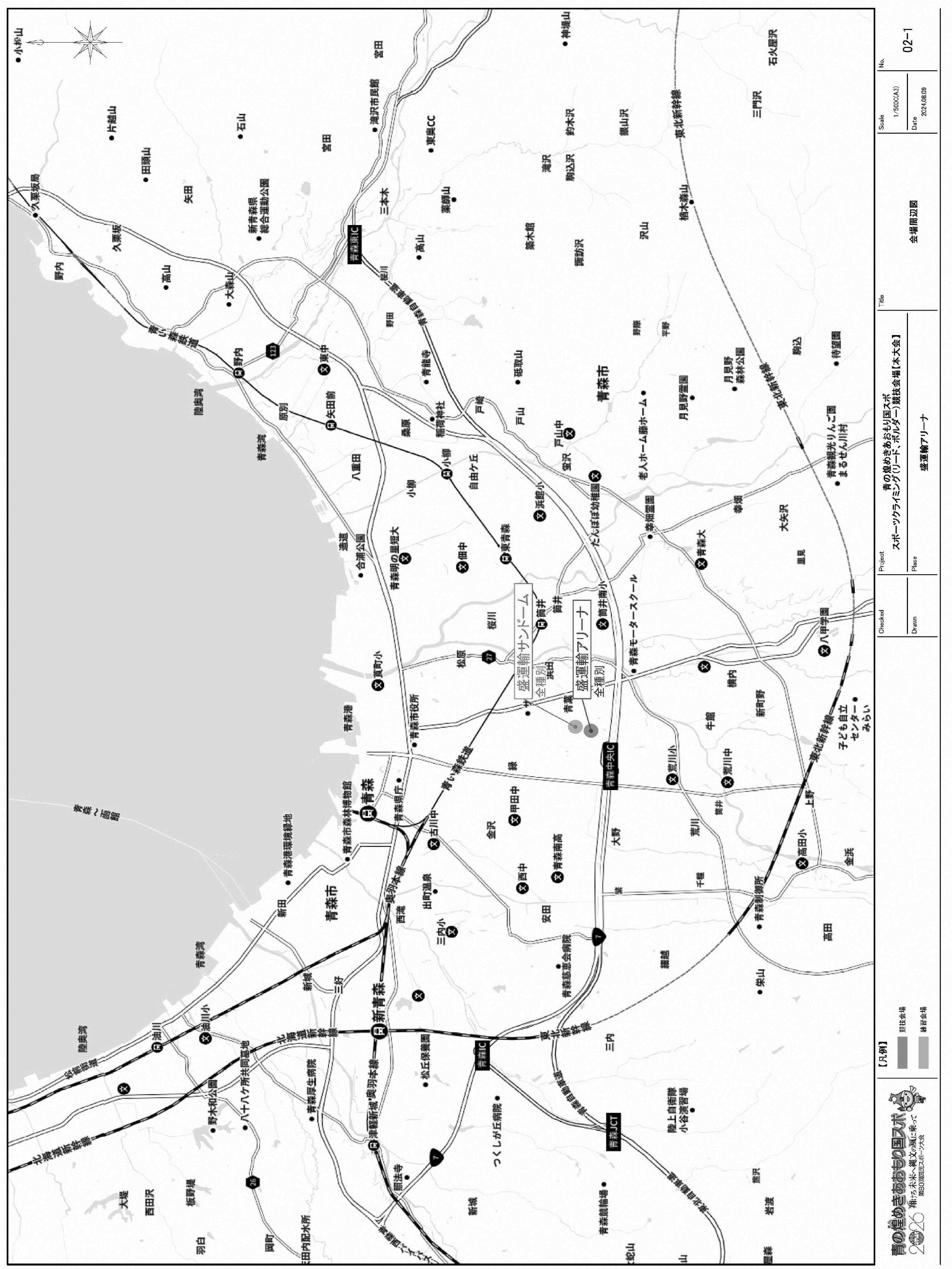
輸送

名称	所在地	電話番号
青の煌めきあおもり国スポ 青森市輸送センター	青森市安方一丁目３－２４ 一二三ビル２Ｆ	017-715-5700

宿泊

名称	所在地	電話番号
青の煌めきあおもり国スポ 配宿センター	青森市安方一丁目１－４０ 青森県観光物産館４階	017-711-8682

競技会場周辺地図

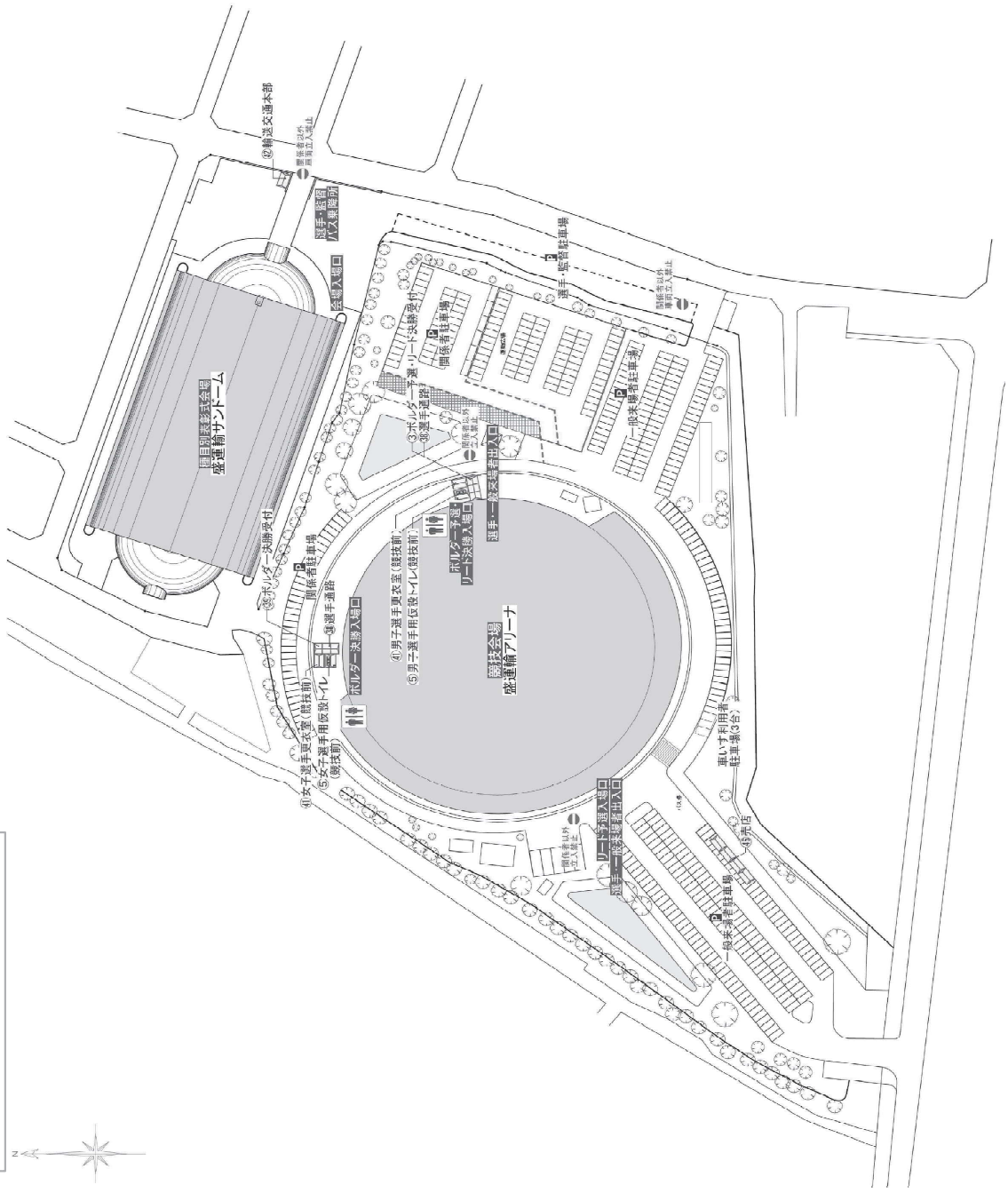


盛運輸サンドーム
全種別
盛運輸アリーナ
全種別
青森中央IC
青森東IC
青森IC
青森JCT
新青森
青森
青森市
青森湾
陸奥湾
【凡例】
会場周辺図
青の煌めきあおもり国スポ
スポーツクライミング(リード、ボルダー)競技会場【本大会】
盛運輸アリーナ
02-1

スポーツクライミング競技会場図

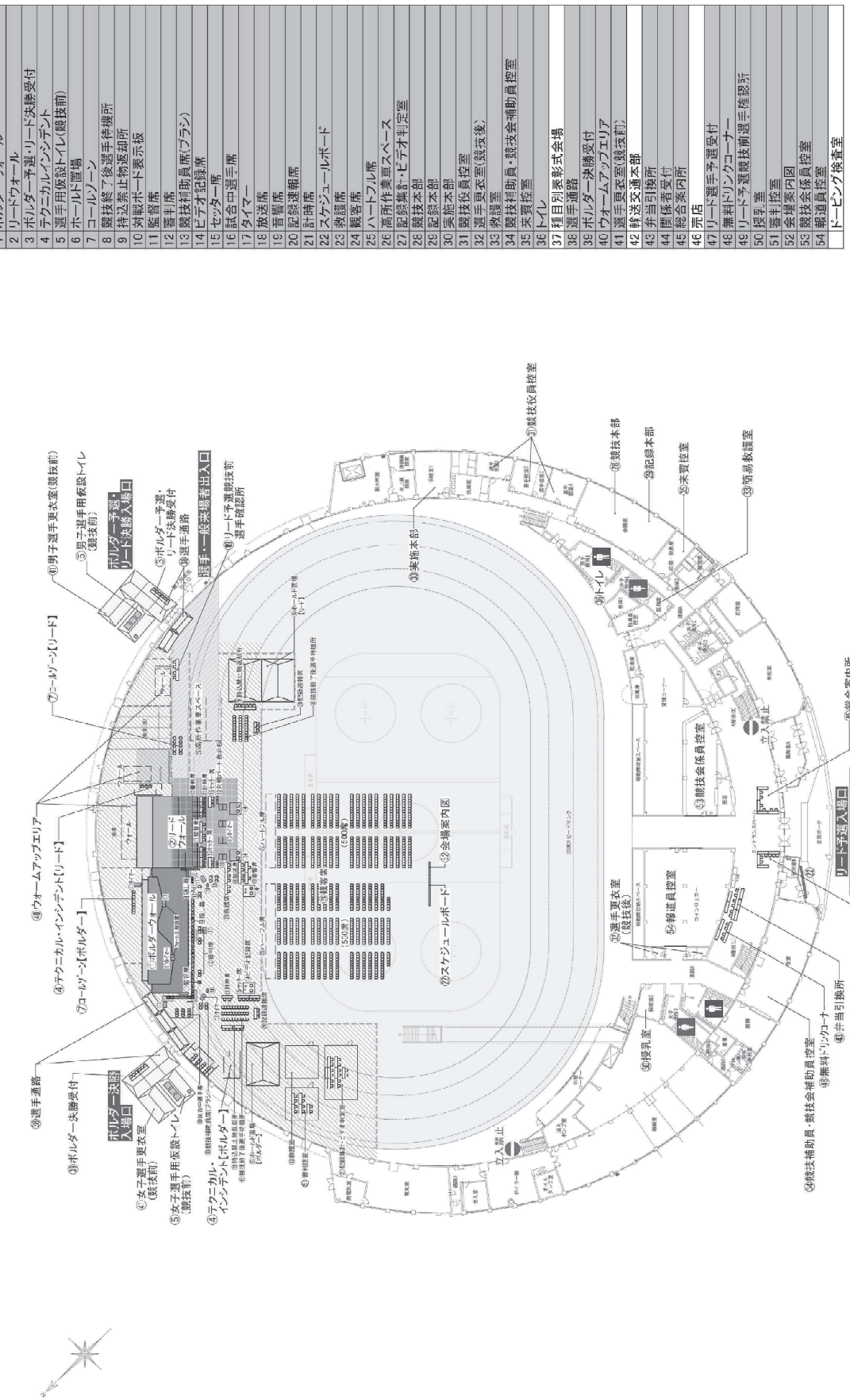
全体図

1	ボルダーウォール
2	リードウォール
3	ボルダー予選・リード決勝受付
4	テクニカルインシデント
5	選手用仮設トイレ(競技前)
6	ホールド置場
7	コールゾーン
8	競技終了後選手待機所
9	持込禁止物返却所
10	対戦ボード表示板
11	監督席
12	審判席
13	競技補助員席(ブラシ)
14	ビデオ記録席
15	セッター席
16	試合中選手席
17	タイマー
18	放送席
19	音響席
20	記録速報席
21	計時席
22	スケジュールボード
23	救護席
24	観客席
25	ハートフル席
26	高所作業車スペース
27	記録集計・ビデオ判定室
28	競技本部
29	記録本部
30	実施本部
31	競技役員控室
32	選手更衣室(競技後)
33	救護室
34	競技補助員・競技会補助員控室
35	災害控室
36	トイレ
37	種目別表彰式会場
38	選手通路
39	ボルダー決勝受付
40	ウォームアップエリア
41	選手更衣室(競技前)
42	輸送交通本部
43	弁当引換所
44	関係者受付
45	総合案内所
46	売店
47	リード選手予選受付
48	無料ドリンクコーナー
49	リード予選競技前選手確認所
50	授乳室
51	審判控室
52	会場案内図
53	競技会係員控室
54	報道員控室
	ドーピング検査室



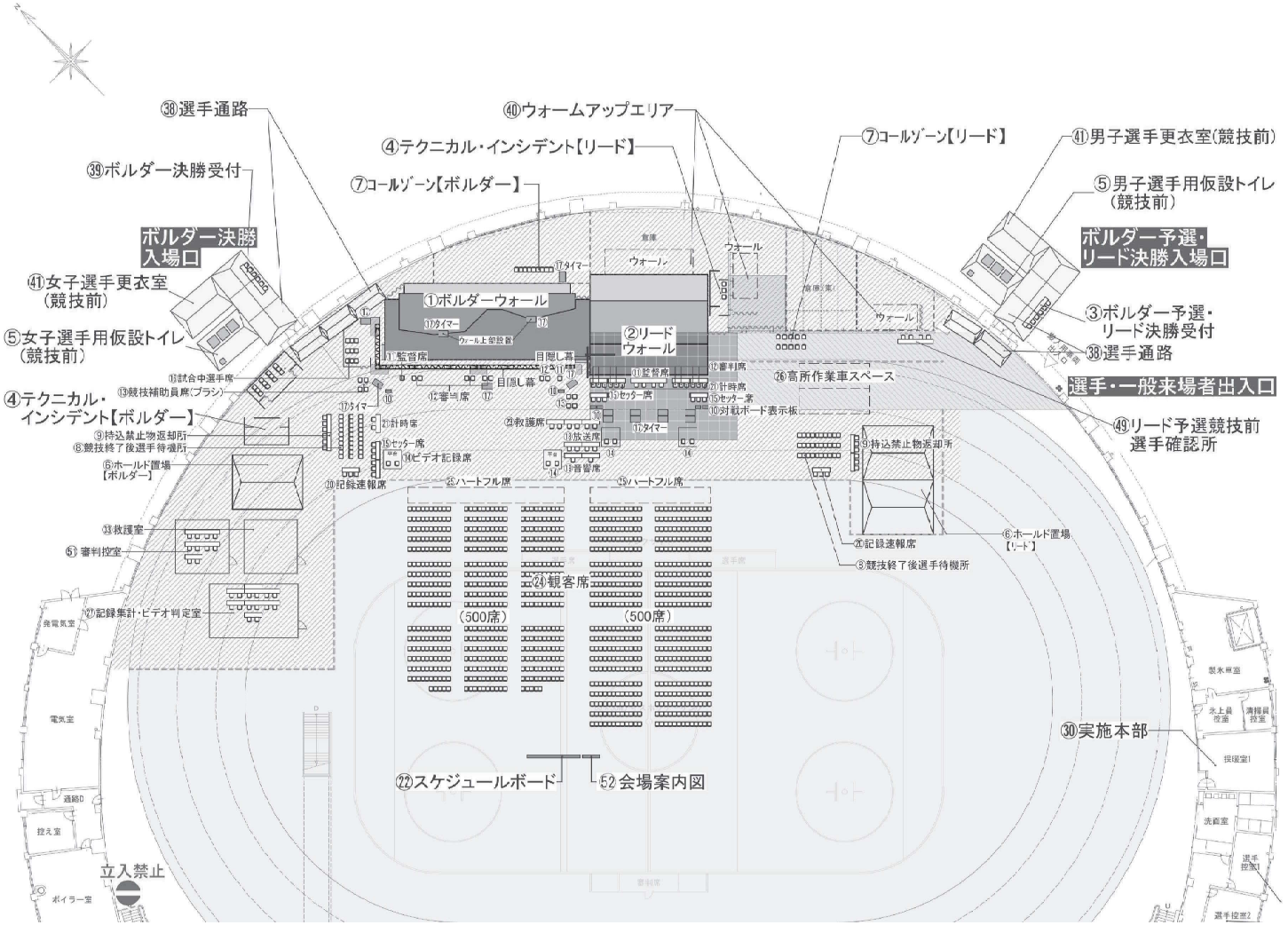
スポーツクライミング競技会場図

盛運輸アリーナ1階



スポーツクライミング競技会場図

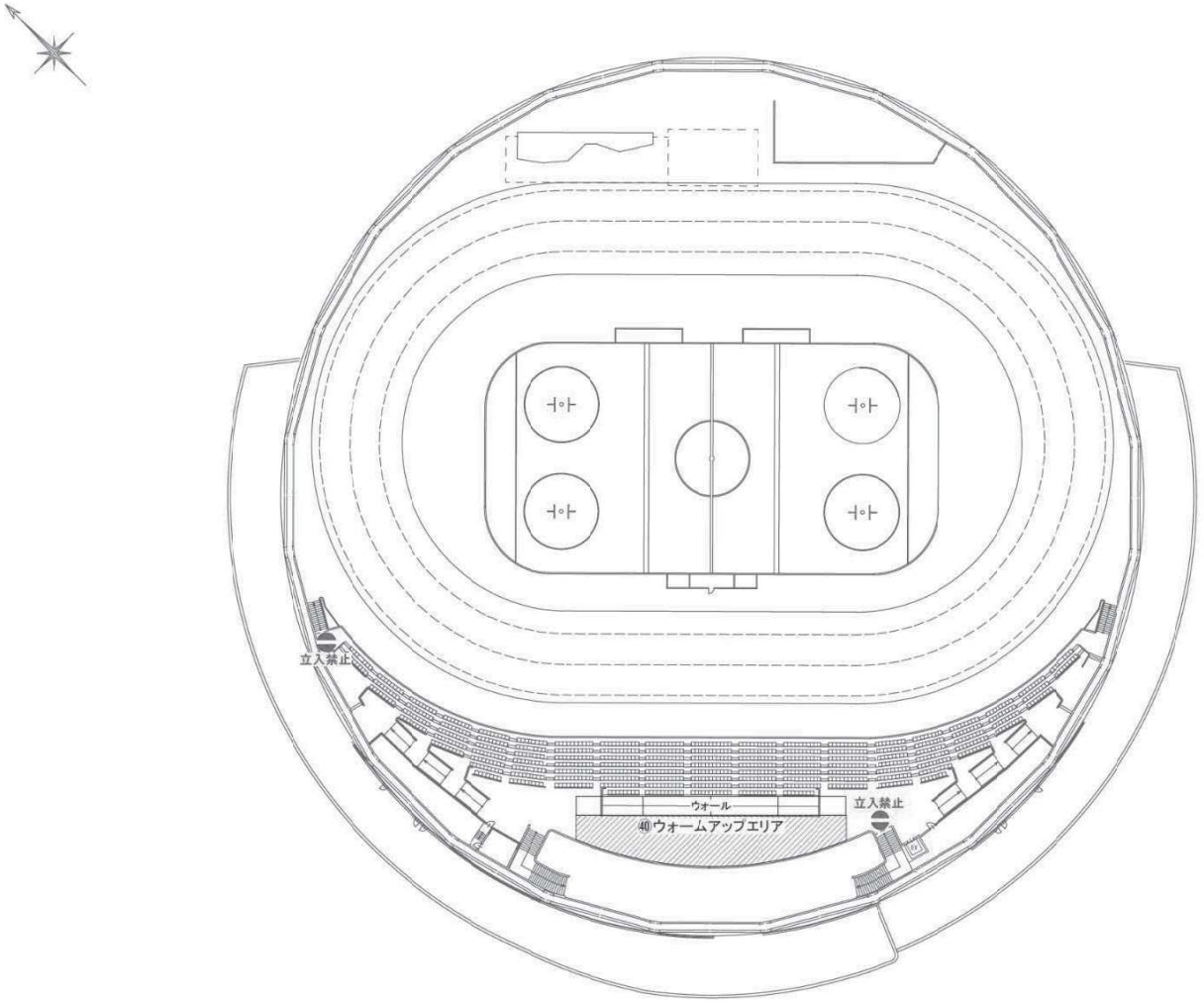
盛運輸アリーナ1階詳細図



1	ボルダーウォール
2	リードウォール
3	ボルダー予選・リード決勝受付
4	テクニカルインシデント
5	選手用仮設トイレ(競技前)
6	ホールド置場
7	コールゾーン
8	競技終了後選手待機所
9	持込禁止物返却所
10	対戦ボード表示板
11	監督席
12	審判席
13	競技補助員席(ブラシ)
14	ビデオ記録席
15	セッター席
16	試合中選手席
17	タイマー
18	放送席
19	音響席
20	記録速報席
21	計時席
22	スケジュールボード
23	救護席
24	観客席
25	ハートフル席
26	高所作業車スペース
27	記録集計・ビデオ判定室
28	競技本部
29	記録本部
30	実施本部
31	競技役員控室
32	選手更衣室(競技後)
33	救護室
34	競技補助員・競技会補助員控室
35	来賓控室
36	トイレ
37	種目別表彰式会場
38	選手通路
39	ボルダー決勝受付
40	ウォームアップエリア
41	選手更衣室(競技前)
42	輸送交通本部
43	弁当引換所
44	関係者受付
45	総合案内所
46	売店
47	リード選手予選受付
48	無料ドリンクコーナー
49	リード予選競技前選手確認所
50	授乳室
51	審判控室
52	会場案内図
53	競技会係員控室
54	報道員控室
	ドーピング検査室

スポーツクライミング競技会場図

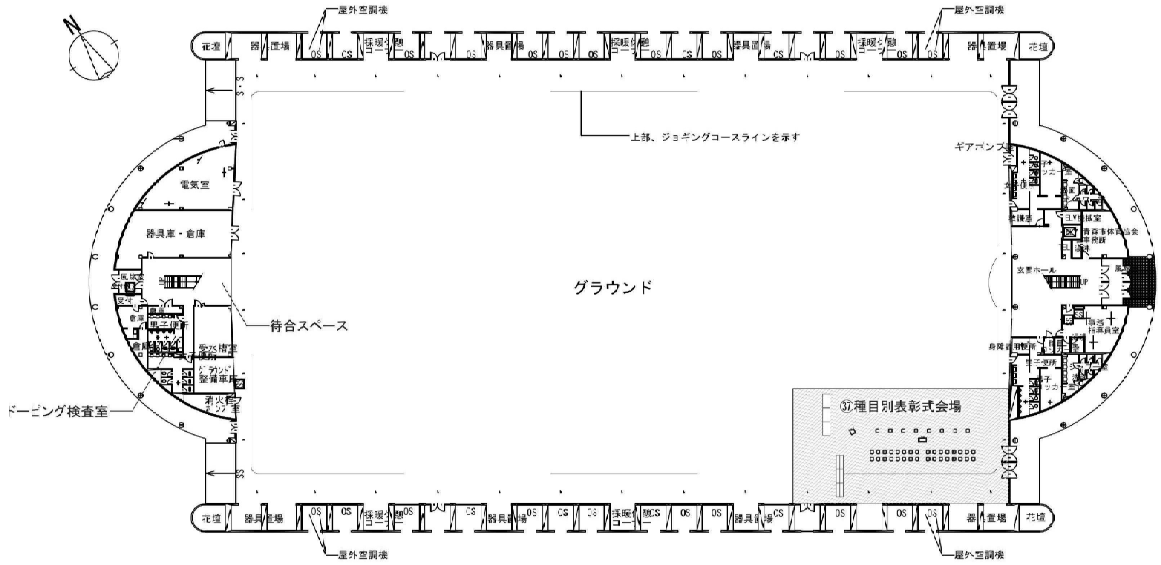
盛運輸アリーナ2階



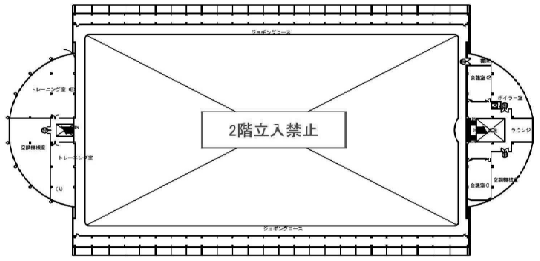
1	ボルダーウォール
2	リードウォール
3	ボルダー予選・リード決勝受付
4	テクニカルインシデント
5	選手用仮設トイレ(競技前)
6	ホールド置場
7	コールゾーン
8	競技終了後選手待機所
9	持込禁止物返却所
10	対戦ボード表示板
11	監督席
12	審判席
13	競技補助員席(ブラシ)
14	ビデオ記録席
15	セッター席
16	試合中選手席
17	タイマー
18	放送席
19	音響席
20	記録速報席
21	計時席
22	スケジュールボード
23	救護席
24	観客席
25	ハートフル席
26	高所作業車スペース
27	記録集計・ビデオ判定室
28	競技本部
29	記録本部
30	実施本部
31	競技役員控室
32	選手更衣室(競技後)
33	救護室
34	競技補助員・競技会補助員控室
35	来賓控室
36	トイレ
37	種目別表彰式会場
38	選手通路
39	ボルダー決勝受付
40	ウォームアップエリア
41	選手更衣室(競技前)
42	輸送交通本部
43	弁当引換所
44	関係者受付
45	総合案内所
46	売店
47	リード選手予選受付
48	無料ドリンクコーナー
49	リード予選競技前選手確認所
50	授乳室
51	審判控室
52	会場案内図
53	競技会係員控室
54	報道員控室
	ドーピング検査室

スポーツクライミング競技会場図

盛運輸サンドーム



1階 平面図　S=1:600



2階 平面図　S=1:1200

1	ボルダーウォール
2	リードウォール
3	ボルダー予選・リード決勝受付
4	テクニカルインシデント
5	選手用仮設トイレ(競技前)
6	ホールド置場
7	コールゾーン
8	競技終了後選手待機所
9	持込禁止物返却所
10	対戦ボード表示板
11	監督席
12	審判席
13	競技補助員席(ブラシ)
14	ビデオ記録席
15	セッター席
16	試合中選手席
17	タイマー
18	放送席
19	音響席
20	記録速報席
21	計時席
22	スケジュールボード
23	救護席
24	観客席
25	ハートフル席
26	高所作業車スペース
27	記録集計・ビデオ判定室
28	競技本部
29	記録本部
30	実施本部
31	競技役員控室
32	選手更衣室(競技後)
33	救護室
34	競技補助員・競技会補助員控室
35	来賓控室
36	トイレ
37	種目別表彰式会場
38	選手通路
39	ボルダー決勝受付
40	ウォームアップエリア
41	選手更衣室(競技前)
42	輸送交通本部
43	弁当引換所
44	関係者受付
45	総合案内所
46	売店
47	リード選手予選受付
48	無料ドリンクコーナー
49	リード予選競技前選手確認所
50	授乳室
51	審判控室
52	会場案内図
53	競技会係員控室
54	報道員控室
	ドーピング検査室

青森市協賛企業・団体のご紹介

（順不同・敬称略）

青森トヨタ自動車株式会社
青森三菱自動車販売株式会社
株式会社マツダアンフィニ青森
有限会社タイムプラン
青森市新町商店街振興組合
創創舎
有限会社オフィスオー・シー
青森市緑化事業協同組合
青森市造園協同組合
株式会社テクノル
株式会社オカモト
青森市アメニティ事業協同組合
A・Zコーポレーション株式会社

合同会社丸髙興業
青森県産米需要拡大推進本部
ヤマモト食品株式会社
鐘屋産業株式会社
二分団ねぶた会
株式会社アイティフォー
青森おでんの会
大和リース株式会社
一般社団法人公縁クロス機構
株式会社吉田工機
株式会社Sky Next
赤平設備工業株式会社
大塚製薬株式会社東北支店

株式会社エイ・ワンド
有限会社松栄堂
小田桐錦石研究所合同会社
成邦商事株式会社
株式会社しじみちゃん本舗

株式会社CUTE UP
株式会社翁屋
全国農業協同組合連合会青森県本部
イオン東北株式会社

私たちは、青の煌（きら）めきあおもり国スポ・障スポ
青森市開催競技を応援しています！

青の煌（きら）めきあおもり国スポ・障スポ
2026 AOMORI CITY

MIZUNO SPORTS PROMOTION FOUNDATION

1970 ▷▷▷▷▷▷ 56TH ▷▷▷▷▷▷ 2026



スポーツを愛する人たちへ

私たち、ミズノスポーツ振興財団は、

スポーツの普及、振興に必要な事業を行い、

スポーツを愛する人たちを応援しています。

公益財団法人
ミズノスポーツ振興財団



スポーツ・ハラスメント（暴力、暴言、ハラスメントなど）に、
みんなが『NO ！』と言う社会を目指して

『スポハラ（スポーツ・ハラスメント）』とは？

「スポハラ（スポーツ・ハラスメント）」とは、スポーツの現場において、「暴力」、「暴言」、「ハラスメント」、「差別」など“安全・安心にスポーツを楽しむことを害する行為”のことです。

指導者と指導を受ける者との関係のみならず、スポーツの現場における関係者の誰によっても、また誰に対してであっても、スポハラは起こりえます。

JSPO Japan Sport Association
TEAM JAPAN Japanese Olympic Committee
JPSA
UNIVAS

JSPO
Japan Sport Association

スポーツにおける暴力行為等相談窓口



どなたでもご利用可能！

お気軽にご相談ください

「スポハラ」をなくすためには

「いかなる理由でも、指導者・コーチによる不適切な行為はあってはならない」

とスポーツに携わるすべての人が思うことが重要です。

スポーツにおける暴力行為等根絶宣言・スポーツ・インテグリティ確保に関する協力覚書≫≫

JSPO
Japan Sport Association

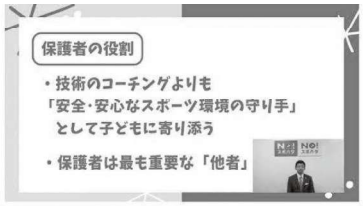
JSPO事業概要パンフレット「スポーツと、望む未来へ。」≫≫

『スポハラ』根絶に向けた取組み

JSPO
Japan Sport Association

① 教材・動画の公開

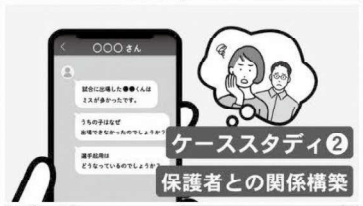


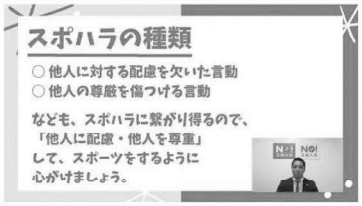


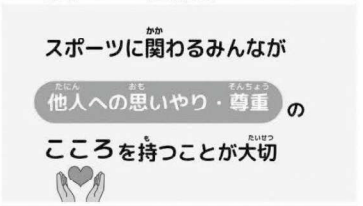


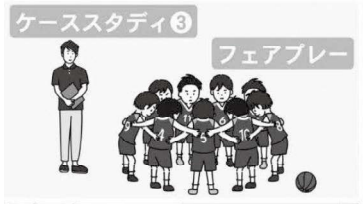


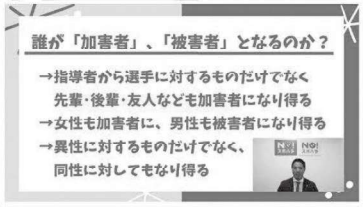






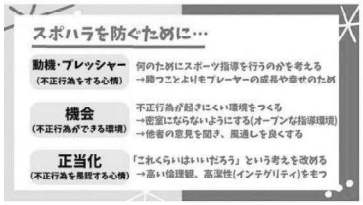




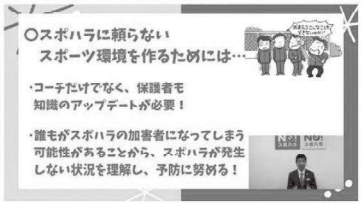














② 普及啓発活動の実施・イベントの開催























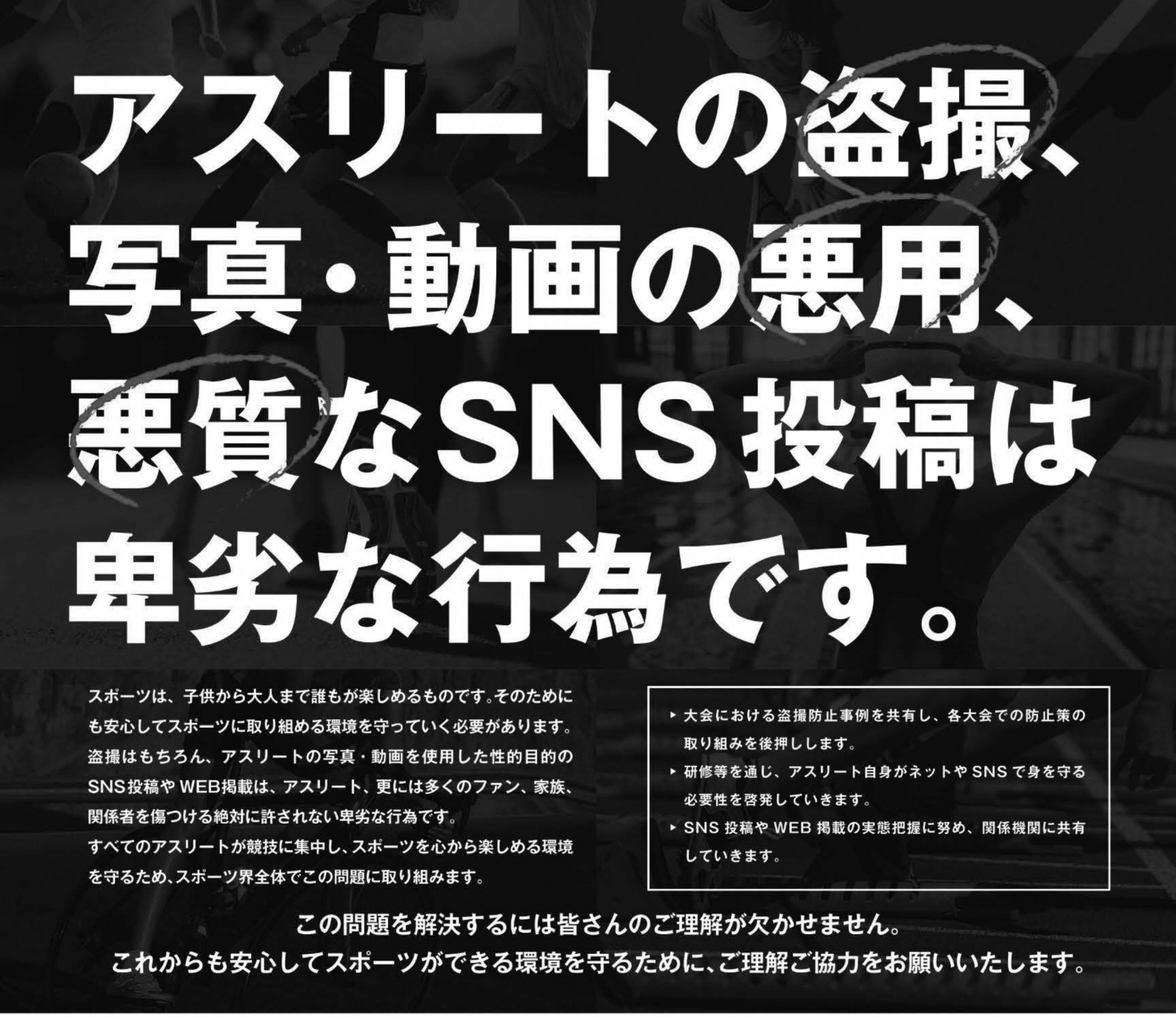












アスリートの盗撮、写真・動画の悪用、悪質なSNS投稿は卑劣な行為です。

スポーツは、子供から大人まで誰もが楽しめるものです。そのためにも安心してスポーツに取り組める環境を守っていく必要があります。
盗撮はもちろん、アスリートの写真・動画を使用した性的目的のSNS投稿やWEB掲載は、アスリート、更には多くのファン、家族、関係者を傷つける絶対に許されない卑劣な行為です。
すべてのアスリートが競技に集中し、スポーツを心から楽しめる環境を守るため、スポーツ界全体でこの問題に取り組みます。

- 大会における盗撮防止事例を共有し、各大会での防止策の取り組みを後押しします。
- 研修等を通じ、アスリート自身がネットやSNSで身を守る必要性を啓発していきます。
- SNS投稿やWEB掲載の実態把握に努め、関係機関に共有していきます。

この問題を解決するには皆さんのご理解が欠かせません。
これからも安心してスポーツができる環境を守るために、ご理解ご協力をお願いいたします。

安全な環境を、すべてのスポーツ愛好者のために。

SAVE ATHLETES, SAVE SPORT.

大会会場で盗撮等が疑われる行為を見かけましたら大会主催者にお知らせください。

アスリートを傷つける性的目的のSNS投稿やWEB掲載を見かけましたら下記サイトよりご連絡ください。
今後の対応に活用するとともに、悪質な事例については当局への通報も検討します。

https://www.joc.or.jp/about/savesport/

- 盗撮は迷惑防止条例で犯罪として処罰される可能性があります。
- SNS等で本人の名誉を傷つける書き込みは犯罪（名誉毀損罪）として処罰される可能性があります。
- 匿名による投稿であっても、法的手続により、投稿者が特定され、損害賠償請求の対象になる可能性があります。

公益財団法人 日本オリンピック委員会　公益財団法人 日本スポーツ協会　公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会　一般社団法人 大学スポーツ協会
公益財団法人 全国高等学校体育連盟　公益財団法人 日本中学校体育連盟　独立行政法人 日本スポーツ振興センター

FAIR PRIDE

勝利を超える価値がある

私たちは信じる。

正々堂々と競いあう潔さを。

相手をリスペクトすることで生まれる友情や感動を。

まっすぐ挑戦しつづける、そこに、

自分や、仲間や、社会さえ変える力があることを。

さあ、すべては、私たちの中にある

フェアネスの心からはじまる。

スポーツのフェアネスが、社会のフェアネスを支えるために。

JADA PLAY TRUE Japan Anti-Doping Agency

青の煌めきあおもり国スポ 2026 翔ける未来へ縄文の風に乗って 第80回国民スポーツ大会

公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構

Copyright © JAPAN Anti-Doping Agency All Rights Reserved.



JSPO
Japan Sport Association

スポーツと、望む未来へ。

わたしたちは、JAPAN GAMES を応援しています。

Otsuka 大塚製薬　Mizuno　三井住友海上 MS&AD INSURANCE GROUP

セレスポ　時事通信

MEMO

競技会場地マップ Venue map

県内全40市町村と県外3市町において、国スポ・障スポ合わせて104競技を開催！

国スポ　正式競技（37）　特別競技（1）　公開競技（7）　デモンストレーションスポーツ（39）　冬季正式競技（3）

障スポ　正式競技（14）　オープン競技（3）

（身）身体障がい者が出場できる競技　（知）知的障がい者が出場できる競技
（精）精神障がい者が出場できる競技

東青地域

青森市

- 国スポ総合開・閉会式
- 障スポ開・閉会式
- 陸上競技
- 水泳（競泳）
- 水泳（水球）
- 水泳（アーティスティックスイミング）
- 水泳（オープンウォータースイミング）
- テニス
- バレーボール（6人制）
- バレーボール（ビーチバレーボール）
- ハンドボール
- ソフトテニス
- 卓球
- 軟式野球
- ライフル射撃（25m）
- ラグビーフットボール（15人制）
- スポーツクライミング（リード・ボルダー）
- アーチェリー
- ゴルフ
- トライアスロン
- ウォークビンゴ
- カーリング
- ソフトバレーボール
- ターゲット・バードゴルフ
- ドッジボール
- 年齢別ソフトテニス
- 年齢別テニス
- ふれあいボウリング
- ユニバーサルホッケー
- ラージボール卓球
- ダンススポーツ
- 陸上競技（身・知）
- 水泳（身・知）
- アーチェリー（身）
- 卓球（身・知・精）
  サウンドテーブルテニス（身）を含む。

平内町

- ゴルフ
- 綱引

今別町

- 年齢別バドミントン

蓬田村

- モルック

外ヶ浜町

- ペタンク

下北地域

むつ市

- ローイング
- バスケットボール
- セーリング
- フェンシング
- フライングディスク
- バスケットボール（知）

大間町

- ウオーキング

風間浦村

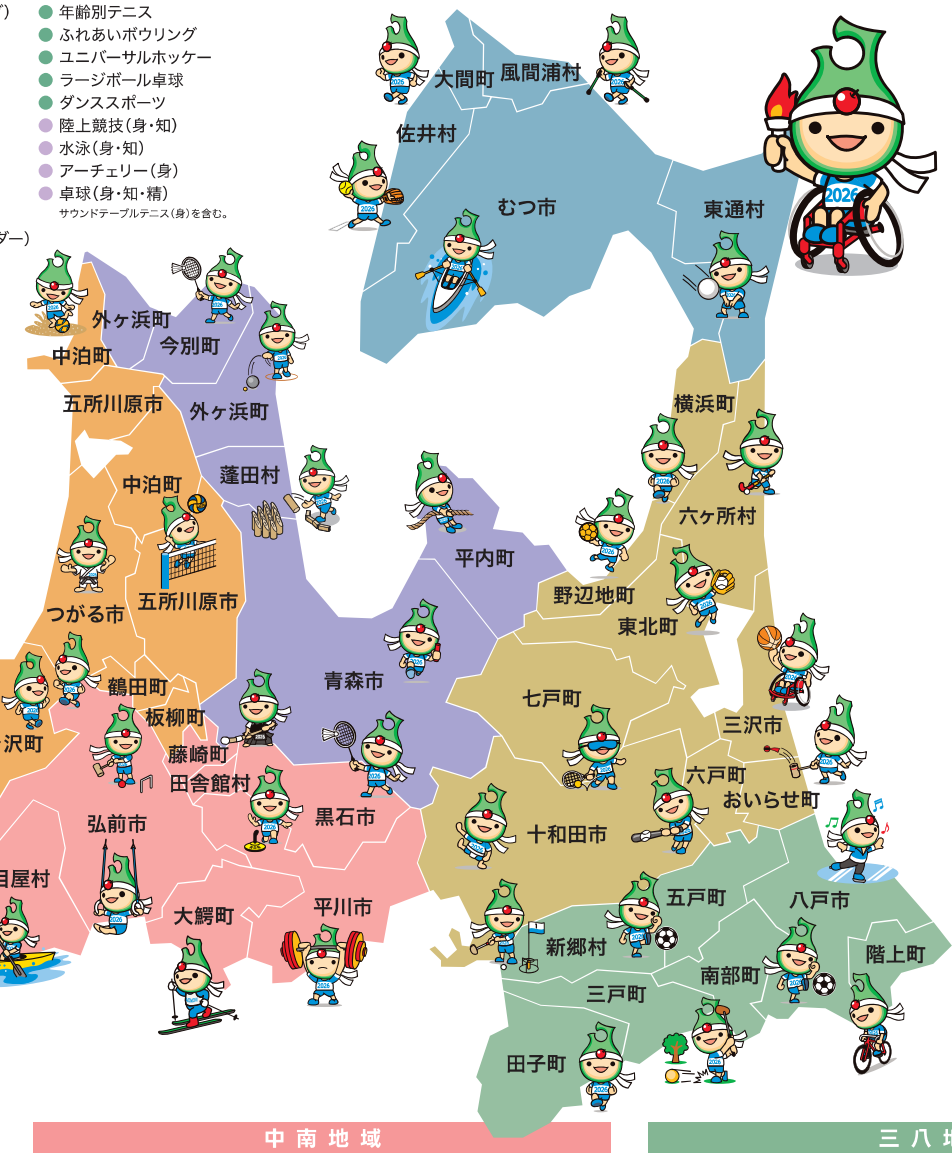
- ノルディックウォーキング

東通村

- ソフトバレーボール

佐井村

- ふれあいソフトボール



上北地域

十和田市

- サッカー
- バスケットボール
- 相撲
- ゲートボール
- バウンドテニス
- パークゴルフ
- Let's Enjoy バウンドテニス
- バレーボール（身）

三沢市

- ホッケー
- バスケットボール
- 軟式野球
- ソフトボール
- 銃剣道
- 武術太極拳
- いきいき太極拳
- スケート（ショートトラック）
- アイスホッケー
- ボウリング（知）
- 車いすバスケットボール（身）
- デフボウリング（身）

野辺地町

- ハンドボール

七戸町

- 剣道
- ブラインドテニス（身）

六戸町

- 軟式野球

横浜町

- マラソン

東北町

- ソフトボール
- 女子ソフトボール
- ソフトボール（知）

六ヶ所村

- ホッケー
- 軟式野球

おいらせ町

- 軟式野球
- スポーツチャンバラ
- ファイン・ボール
- ブラインドベースボール（身）
- ファイン・ボール（身）

西北地域

五所川原市

- バレーボール（6人制）
- バレーボール（精）

つがる市

- バレーボール（6人制）
- 柔道
- バレーボール（知）

鰺ヶ沢町

- マスターズスイミング

深浦町

- ノルディックウォーキング

板柳町

- ふれあいゲートボール
- ウオーキング

鶴田町

- マラソン&ウォーキング

中泊町

- ビーチサッカー

中南地域

弘前市

- 体操（競技）
- 体操（新体操）
- 体操（トランポリン）
- ソフトボール
- 弓道（近的・遠的）
- ライフル射撃（50m、10m、BR・BP）
- 空手道
- クレー射撃（トラップ・スキート）
- 高等学校野球（硬式・軟式）
- マスターズ陸上競技
- ビリヤード
- フライングディスク（身・知）
- ボッチャ（身）

黒石市

- バドミントン

西目屋村

- カヌー（スプリント）
- カヌー（スラローム・ワイルドウォーター）

大鰐町

- パラグライディング
- オリエンテーリング
- スキー（ジャイアントスラローム）
- スキー（クロスカントリー）

平川市

- ウエイトリフティング
- グラウンド・ゴルフ
- エアロビック
- インディアカ

藤崎町

- なぎなた
- パワーリフティング
- スポーツウエルネス吹矢

田舎館村

- ユニカール

三八地域

八戸市

- サッカー
- バスケットボール
- レスリング
- 自転車（トラックレース）
- ソフトボール
- ラグビーフットボール（7人制）
- ボウリング
- 空道
- スケート（スピード）
- スケート（フィギュア）
- アイスホッケー
- サッカー（知）
- フットソフトボール（知）

三戸町

- パークゴルフ

五戸町

- サッカー

田子町

- マラソン

南部町

- サッカー

階上町

- 自転車（ロードレース）
- フロアボール

新郷村

- エンジョイ！グラウンド・ゴルフ

県外

宮城県利府町

- 水泳（飛込）

山梨県北杜市

- 馬術

秋田県鹿角市

- スキー（スペシャルジャンプ）
- スキー（コンバインド）

青の煌めきあおもり国スポ

翔けろ未来へ縄文の風に乗って



競技記録・速報二次元コード

第 80 回国民スポーツ大会　スポーツクライミング競技会

青の煌めきあおもり国スポ・障スポ青森市実行委員会